



G-Series

製品マニュアル

G50i

DOMINO

著作権保護により、Domino Printing Sciences plc から事前に許可を得ることなく、電子的、機械的、写真複写、録音などのいかなる形式や手段を用いた、本マニュアルの一部または全ての複製、検索システムへの保存、または転送はできません。

弊社は、常に製品改良に努めるという方針に基づき、予告なしに本書に記載されている仕様を変更する場合があります。

© Domino Printing Sciences plc. 2023.

販売、修理、保守、およびインクについての問い合わせは、下記までご連絡ください。

www.buydomino.com

www.domino-printing.com

Domino UK Limited

Trafalgar Way
Bar Hill
Cambridge CB23 8TU
United Kingdom
Tel: +44 (0)1954 782551
Fax: +44 (0)1954 782874
Email: enquiries@domino-uk.com

ブラザーインダストリアル プリンティング株式会社

東京都大田区西蒲田 8-20-8
アゼル 3 号館
電話 : 03-3736-2731
FAX : 03-3736-2734

Brother Industrial Printing Co., Ltd.

Azel No.3 Bldg., 20-8 Nishi-
Kamata 8-chome, Ohta-ku,
Tokyo
144-0051 Japan
Tel: 03-3736-2731
Fax: 03-3736-2734

改正記録

改訂

第 1 版のすべて

第 2 版のすべて

日付

2022 年 10 月

2023 年 8 月

序文 製品マニュアル

本書 (Domino 品番 EPT080368) は、Domino G-Series サーマルインクジェットユニットのインストール、操作、保守、リサイクルを行う手順が記載された、正式なマニュアルです。

製品で利用可能なトレーニングプログラムを強化、補完する場合は、本書を使用する必要があります。当該トレーニングプログラムの代わりとなるものではありません。

この製品マニュアルは、機械指令に対応することを目的とした「説明書の原本」の翻訳版です。

Domino は、サーマルインクジェット熱転写プリンターの不正または不適切な使用によって発生した、機器の損傷または作業員の負傷について、一切の責任を負いません。

Domino のトレーニングを受けたエンジニアのみが、修理、調整、またはその他の方法で設定や機械部品を変更する必要があります。品質とパフォーマンスを確保するため、常に Domino の純正部品を使用する必要があります。

本機器の使用にあたっては、「第 1 章: 健康と安全」に記載されている内容を読んで理解し、その内容に基づいて機器を使用する必要があります。また、第 1 章では本書に使用されている記号についても説明しています。これらの記号は、特別な注意事項および必要事項に対する注意を促すことを目的としています。記号について理解し、記載内容に従ってください。

以下の事柄を守ってください。

- 機器の耐用期間にわたって本書を保管してください。
- 今後の機器の管理者またはユーザーに、本書を継承してください。

FCC 通知

本機器は、米連邦通信委員会 (FCC) 規則の第 15 節に準じるクラス A デジタル装置の制限事項に準拠することが試験により確認されています。本制限内容は、機器が商業環境で操作されたときの有害な電波干渉に対して正当な保護を行うためのものです。本機器は、高周波エネルギーを発生させて使用し、それらを放射する場合があります。本機器は、マニュアルの指示に従って取り付けと使用を行わなければ、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。本機器を住宅地で使用すると、有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。このような電波干渉が発生した場合、ユーザーは自己負担で対処する必要があります。

弊社の明示的な許諾なしに、変更あるいは改造を行った場合、機器の使用権が無効になることがあります。

欧州 EMC 指令

本製品を住宅地で使用すると、電波干渉を引き起こす場合があります。ラジオやテレビ電波干渉を防ぐために、電磁放射を低減する特別な対策を行っていない場合は、住宅地で使用してはなりません。

プリンタの用途

本書に記載されている機器は、さまざまな印字対象物や製品に印字するための専門環境で、屋内で使用することを目的として設計された産業用プリンタです。Domino によって承認された場合を除き、規定の用途以外で使用しないでください。Domino が指定する方法以外で機器が使用された場合、機器に備わる保護機能が損なわれる可能性があります。

ソフトウェアクレジット

TEC-IT によるバーコードエンジン - www.tec-it.com

この製品は以下のライブラリを使用しています。ライブラリとその使用については、GNU Lesser General Public License バージョン 2.1 に記載されています。

バックエンド			
GNU C ライブラリ	2.28-10	Libevent	2.1.8
Libusb	1.0.22-2	Libxml2	2.9.4
Libhiredis	1.0.2	Libpixman	0.36.0
Redis	5.0.5	Libpangocairo	1.42.4-8
Chromium	88.0.4324.187	Librsvg	2.44.10-2
Libcairo	1.16.0-4	Libicu	63.1-6
Libpango	1.42.4-8	gir1.2-glib-2.0	1.58.3-2
Libpng	1.6.36-6	Libcsvg	1.0
Libjpeg	1.5.2-2	Libbcm2835	1.69
Libtiff	4.1.0	Zip	3.0-11
Libfontconfig	2.13.1-2	Unzip	6.0-23
Libfreetype	2.9.1-3	feh	3.1.3-1
Libjson-c	0.12.1	Libthai	0.1.28-2
libgdk-pixbuf2.0	2.38.1	libgudev	232.2
libglib2.0	2.58.3-2	libcroco3	0.6.12-3
UI			
Nodejs	14.17.1		
Redis	3.1.2		
Socket.io	2.4.1		
express	4.17.1		
multer	1.4.2		
express-sessions	1.7.2		
compression	1.7.4		
Fabricjs	4.6.0		

目次

	ページ
- Domino.....	2
改正記録.....	2
序文 製品マニュアル.....	3
FCC 通知.....	4
欧州 EMC 指令.....	4
プリンタの用途.....	4
ソフトウェアクレジット.....	5
章 1 - 本製品をお使いいただく前にお読みください.....	10
はじめに.....	10
警告、注意、注記.....	11
本マニュアルで使用する記号.....	11
インクと溶剤に関する情報.....	12
インクの保管.....	12
火災防止.....	13
こぼれたインクの処理と廃棄.....	13
静電気放電.....	14
製品 / バッテリーの寿命.....	14
米国カリフォルニア州におけるバッテリーの廃棄に関する情報.....	15
章 2 - システムの説明.....	16
概要.....	16
全般事項.....	16
説明.....	16
概要.....	17
G50i コントローラの概要.....	17
GP プリントヘッドの概要.....	19
EXT プリントヘッドの概要.....	20
ユーザーインターフェース.....	21
仕様.....	22
コントローラの仕様.....	22
GP プリントヘッドの仕様.....	23

GP プリントヘッド速度表.....	24
EXT プリントヘッドの仕様.....	25
EXT プリントヘッド速度表.....	26
プレインストールされているフォント.....	27
コントローラ IO ソケットの説明.....	28
最大ラベル幅.....	30
ユーザーインターフェースの概要.....	31
メインインターフェースのツールバー.....	31
ホーム画面の印字情報.....	34
ラベルテンプレートデザイナー.....	37
章 3 - 設置.....	40
開梱.....	40
設置場所.....	40
垂直方向の設置.....	41
水平方向の設置.....	45
耐衝撃クランプ (オプション) の取り付け.....	49
プリントヘッドの向き.....	50
側面図.....	50
正面図.....	51
プリントヘッド接続.....	52
インクカートリッジの取り付け.....	53
コントローラの電源供給.....	55
プリントヘッド製品検出センサキャリブレーション.....	56
外部デバイスの接続.....	57
外部製品検出センサ.....	57
外部シャフトエンコーダ.....	59
警報ビーコン.....	60
IO 接続.....	61
プリントヘッド設定.....	62
印字品質.....	62
調整.....	63
システム設定.....	64
エンコーダ入力 - 内部.....	64
エンコーダ入力 - 外部.....	65
印字トリガ - 連続.....	66
印字トリガ - センサ.....	67
両方向.....	68

自動切り替えチャンネル.....	69
高速.....	69
静的画像の印字.....	70
傾斜角度.....	70
自動ジェット (ノズルのパージ).....	71
リアルタイム.....	72
高度な設定.....	73
表示設定.....	73
ユーザーモード (セキュリティ).....	74
リモート.....	79
高品質.....	80
IO 信号.....	81
バックアップと復元.....	82
共通.....	83
印字制御の設定.....	84
VDC 設定.....	85
VDC (可変データ接続).....	85
ルール.....	88
モニタ.....	92
ネットワーク設定.....	93
IP アドレス.....	93
DNS サーバーアドレス.....	94
Web ブラウザ経由でプリンタを制御.....	95
省電力設定.....	96
モニタ.....	96
言語設定.....	97
言語をインポート.....	97
言語をエクスポート.....	98
言語の削除.....	98
フォント設定.....	99
フォントのインポート.....	99
フォントを削除.....	99
章 4 - 操作.....	100
起動.....	100
印字するラベルのロード.....	103
印字の開始.....	104
印字の停止.....	104
シャットダウン.....	105
ラベルテンプレートのデザイン.....	107

オブジェクトのラベルテンプレートへの追加.....	108
テキストオブジェクトの追加.....	108
連番オブジェクトの追加.....	110
データベースオブジェクトの追加.....	113
バーコードオブジェクトの追加.....	124
静的なグラフィックオブジェクトの追加.....	127
動的なグラフィックオブジェクトの追加.....	129
クロックオブジェクトの追加.....	138
シフトコードオブジェクトの追加.....	143
ラインオブジェクトの追加.....	145
Boxlot オブジェクトの追加.....	146
ラベルテンプレートの保存.....	149
ラベルテンプレートを別の名前で保存する.....	149
オブジェクトプロパティの編集.....	150
ラベルテンプレートの削除.....	150
ラベルテンプレートのインポート.....	151
ラベルテンプレートのエクスポート.....	152
ログ.....	153
ログのエクスポート.....	154
統計情報カウンタ.....	155
章 5 - 保守とトラブルシューティング.....	156
エラーの説明.....	156
印字品質に関するエラー.....	157
ソフトウェア / ファームウェアの更新.....	158
インクカートリッジの交換.....	159
カートリッジのノズル詰まりのページ.....	163
カートリッジのノズルの洗浄.....	164
プリントヘッドのクリーニング.....	167
コントローラの洗浄.....	170

章 1 本製品をお使いいただく前にお読みください

はじめに



製造元の指示に反する方法で機器が使用されると、機器が備える保護機能の効力が損なわれるおそれがあります。

安全な作業方法は環境に応じて変化します。以下の基本原則に従い必要な予防策を講じてください。

- 屋外でプリンタを操作しないでください。また、指定された動作範囲内の環境で使用してください。本製品は室内専用です。
- 以下に示す電源アダプタのみを使用してください。
 - 製造者: MEAN WELL ENTERPRISES CO. LTD
 - モデル: GST60A24
- 水にさらされる可能性のある環境で、プリンタを設置または操作しないでください。
- 粉塵の多い環境でプリンタを使用したり、保管したりしないでください。
- インクカートリッジの保管、操作、運搬、使用前に、安全データシート (SDS) をお読みください。
- UPS (無停電電源装置) を使用して、電圧異常や低電圧状態からプリンタを保護してください。
- 配線の接続を行う前にプリンタの電源を切り、切断してください。
- プrintヘッドを接続したり外したりする場合は、その前に、プリンタの電源を切り、電源から切り離してください。
- すべてのケーブルが稼働中の製造ラインの部品と接触していないことを確認してください。
- インクカートリッジの挿入や取り外しを行う前に、印字を停止してください。
- インクカートリッジのノズルをクリーニングする際は、必ず糸くずの出ない布巾を使用してください。
- インクカートリッジのノズルは付属マニュアルの指示に従ってクリーニングしてください。
- サイドレールや印字対象物ガイドレールを正しい位置に調整し、プリントヘッドを衝撃から守ってください。
- 内部の部品は取り出さないでください。ユーザーでは保守できない部品が含まれています。
- 弊社が許諾した付属品のみを使用してください。
- バッテリー、電気および電子製品は、適切な廃棄物収集場所に分別して廃棄してください。バッテリー、電気および電子製品は、通通常の家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。

警告、注意、注記

本マニュアルに記載の警告、注意、注記には、国際的なハザードシンボルを用いています。これら3つの通知に関する以下の定義は、いずれも、本書の記載の形式で記載されています。

	警告 危険なもの。傷害を負う恐れがあります。
	注意 起こりうる危険な事態。機器に損傷をもたらす恐れがあります。

注記は、重要な情報について読者に注意を促すために使用されます。

本マニュアルで使用する記号

本書では、操作手順に関する特定の警告や注意を強調するために以下の記号を使用しています。



警告または注意。怪我や機器および環境への損害を避けるため、警告と注意をよく読んでその説明に従ってください。



可燃性物質の発火による火災の恐れがあります。



感電の恐れがあります。



静電気放電 (ESD) にご注意ください。静電気に対する予防措置を講じる必要があります。

- 装置の電源を切ってください。
- アース接続されたリストバンドを着用してください。
- 静電気を帯電する衣服の着用は避けてください。
- PCB (電子基板) の輸送時は ESD 保護袋を使用してください。
- PCB は静電電圧を放散する素材で作られた、アース接続されているマットの上でのみ配置してください。



防護眼鏡をかけてください。



防護服を着用してください。適切な保護手袋を着用してください。関連する安全データシート (SDS) を参照してください。



保守点検や修理作業を行う前に電源を切断してください。



製品からアース端子を接続してください。



この手順を実行する前に、マニュアルをお読みください。

インクと溶剤に関する情報

弊社ではインクごとに具体的な安全情報が記載された安全データシート (SDS) を提供しています。安全データシートは弊社 Web サイトの MSDS セクションで入手できます。

印字インクは、正しく使用すれば問題を起すことはありません。ただし、使用者全員が適切な安全基準を熟知し、必要な予防措置に配慮する必要があります。以下に、基本要件を示します。

- 業界標準に従って適切な衛生環境を維持してください。
- インクやその容器の保管および取り扱いに十分注意してください。
- インクまたは溶剤の付近は非常に危険なため、喫煙したり火気 (またはその他点火源) を近づけたりしないようにしてください。
- インクに触れる可能性のあるすべての作業員は、インクの使用法について適切な指示を受ける必要があります。
- インクが口に入らないようにしてください。飲食、喫煙など、インクが口に入るおそれのある行為は避ける必要があります。
- インクが目に入らないようにしてください。インクの飛散や噴霧の危険がある場合は、必ず適切な防護眼鏡を着用してください。インクが目に入った場合は、応急措置として生理食塩水に目を 15 分間浸します。生理食塩水がない場合は浄水を使用します。もう片方の目に水が入らないように注意してください。その後、ただちに医師の診断を受けてください。
- ほとんどのインクには肌を傷つける可能性のある溶剤が含まれています。常に適切な方法で作業し、リスクアセスメントを実施する必要があります。安全データシートには作業員の保護具に関する情報が記載されています。多くの手袋は長期間の使用に対応していません。手袋は頻繁に交換するようにし、飛散物がかかった場合はすぐに交換してください。
- 多くのインクには揮発性が高く吸入されやすい成分が含まれています。十分な換気が必要です。
- 使用済みのクリーニング用素材 (クロス、ペーパーワイプなど) は火災を発生させる場合があります。これらの素材は使用後に回収して安全な方法で廃棄する必要があります。インクに触れた場合は最寄りの洗浄設備でインクをすばやく洗い流し、できるだけ残らないようにする必要があります。

インクの保管

印字インクは十分に喚起された建物、または火災が発生しても影響を受けない場所に保管する必要があります。すべての溶剤は地域の規制に従って保管する必要があります。

火災防止

装置に関するすべての警告および以下の安全指示に従ってください。

電気火災が発生した場合は、水による消火活動を行わないでください。

乾燥したインクが蓄積している場合は、金属製のスクレーパで除去しないでください。火花が生じる場合があります。

印字インクを保管および使用する際は、火災のおそれについて最も注意する必要があります。火災の危険度は、使用するインクや洗浄液の種類によって大きく異なります。


水ベースのインクは燃えませんが、水とアルコールが混在しているインクでは、アルコールの含有量が高いと燃える場合があります。

水ベースのシステムを高温の状態に長時間さらすと、水が蒸発して可燃性の残留物が残る場合があります。

溶剤ベースのインクは、特定の溶剤または溶剤の組み合わせに応じて危険度が高くなります。特定の危険性が考えられる場合は、SDSで適切な情報を参照してください。

火災が起きた場合、印字インクから危険な煙が発生する可能性があります。このため、インクは消防士がすぐにアクセスできる場所に保管する必要があります。また、保管場所以外に火災が拡大しないようにする必要があります。

こぼれたインクの処理と廃棄

警告	
可燃性物質です。火災が発生する恐れがあります。	
	インクを乾燥させたり、乾燥したインクが蓄積したりしないようにしてください。 - 乾燥したインクは、非常に燃え易くなっています。インクがこぼれた場合は、速やかに掃除してください。

インクがこぼれた場合は、作業員の安全を確保しながら、適切な溶剤を使用してできるだけすぐに拭き取ってください。洗浄による流出物や残留物が排水溝や排水管に流れ込まないようにする必要があります。



インクや洗浄液等は導電性物質です。したがって、こぼれたインクを拭き取る場合は、プリンタの電源をオフにする必要があります。

印字インクや洗浄液等は一般廃棄物として処分してはいけません。地域の規制に従い、認可された方法で廃棄する必要があります。

静電気放電

印字ラインの機器からの静電気放電を防ぐため、機器や機器上の全部品を正しく接地してください。Domino はお客様の機器の保守について責任を負いません。また接地の重要性についてはお客様において十分ご理解ください。プリンタの設置時には、Domino (または Domino 正規代理店) の技術者が、プリンタ設置先印字ラインの接地の適切性について確認します。プリントヘッドの設置場所から 300mm (12 in) 以内の場所にある金属製部品はいずれも安全に接地されていなければなりません。プリントヘッドシャーシの接地状況は、電気抵抗計、DVM または他の適切な装置を用いて確認してください。接地状況については必ず定期的に点検してください。またプリンタを別の印字ラインに移動する場合は、必ず新しい印字ラインを適切に接地してください。印字ラインには、静電気除去ブラシに代表される静電気放散装置を追加することをお勧めします。

製品 / バッテリーの寿命

警告 可燃性物質です。火災や爆発の恐れがあります。	
	バッテリーを機械で粉碎または切断し、火中や加熱炉に廃棄しないでください。 バッテリーを廃棄する場合は、地域の廃棄物処理に関する規制に従ってください。 極度に高温な場所や低温な場所にバッテリーを保管または放置しないでください。 標高が高く気圧の低い場所にバッテリーを保管または放置しないでください。
注意 有害物質です。機器や環境に損害をもたらすおそれがあります。	
	バッテリーは取り外すことができません。バッテリーの交換が必要な場合は、バッテリーが取り付けられている PCB を交換してください。バッテリーや PCB を廃棄する場合は、地域の廃棄物処理に関する規制に従ってください。

WEEE 指令およびバッテリー指令に基づくリサイクル情報



製品マーク



バッテリーマーク

EU のみ

製品 / バッテリーには、上記のいずれかのリサイクルシンボルのマークが付いています。製品やバッテリーが寿命を迎えたら、分別し、適切な廃棄物収集場所に廃棄してください。家庭から出る通常の廃棄物と一緒に廃棄しないでください。

本製品をお使いいただく前にお読みください

米国カリフォルニア州におけるバッテリーの廃棄に関する 情報

過塩素酸物質 — 特別な取り扱いを要する場合があります。

詳細は、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate を参照してください。

章 2 システムの説明

概要

全般事項

本書は以下について説明します。

- Domino G-Series の基本的な概要。
- ユーザーインターフェースの詳細。
- ラベル作成の手順。
- 予防的な保守点検。
- 障害の検出と診断。
- ソフトウェアの更新の詳細。

説明

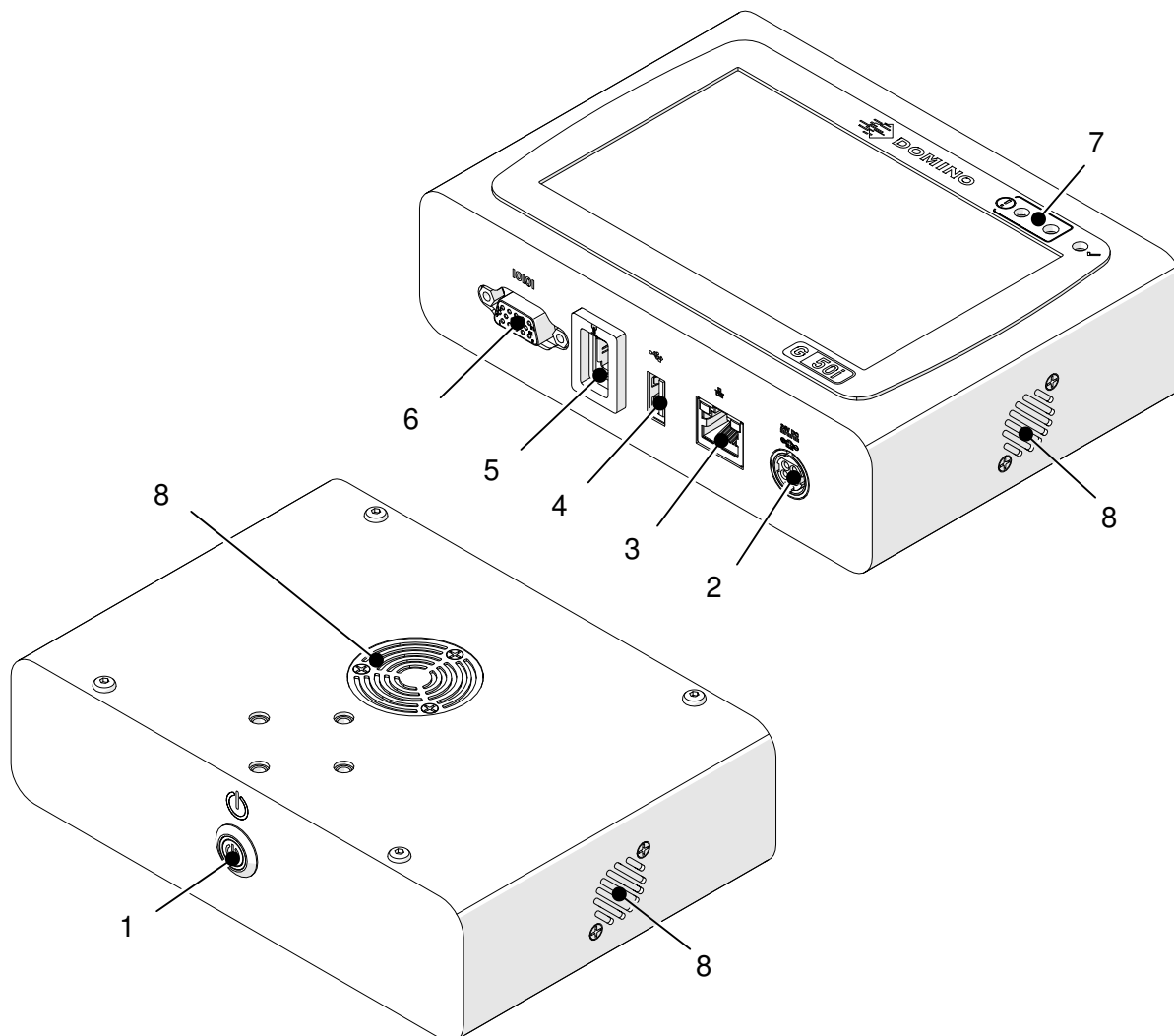
Domino G-Series は製造ライン上を流れる製品に固定データや変数データを印字するサーマルインクジェットプリンタです。仕様に関する詳細は、お近くのサポートオフィスまでお問い合わせください。

各 G50i の構成内容は以下のとおりです。

- プリントヘッド 1 個、プリントヘッドとコントローラを接続するケーブル付属。
- 電子制御システムを含むコントローラ。

概要

G50i コントローラの概要

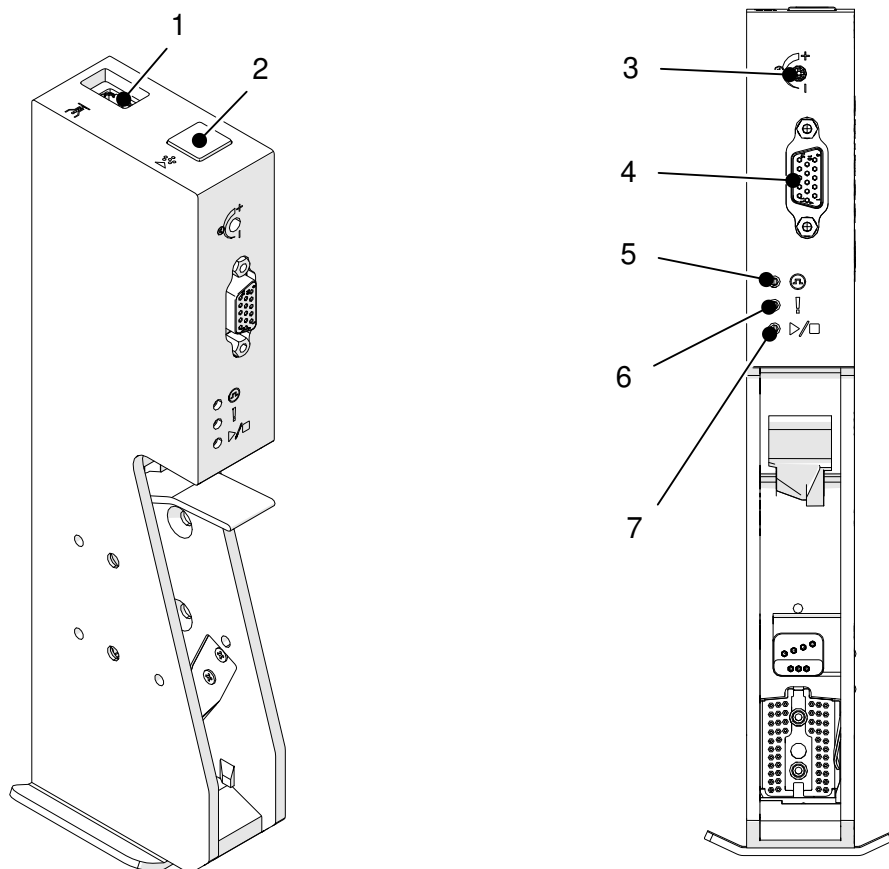


#	名称	説明
1	スタンバイボタン	<p>注記 このボタンは、電源の切断 / 接続を行うものではありません。</p> <p>以下のいずれかの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボタンを押して、プリンタを起動 ボタンを2秒間長押しして、プリンタをシャットダウン
2	電源供給入力	24 VDC、2.5 A
3	イーサネットソケット	プリンタをネットワークまたは PC に接続し、データを転送します。

システムの説明

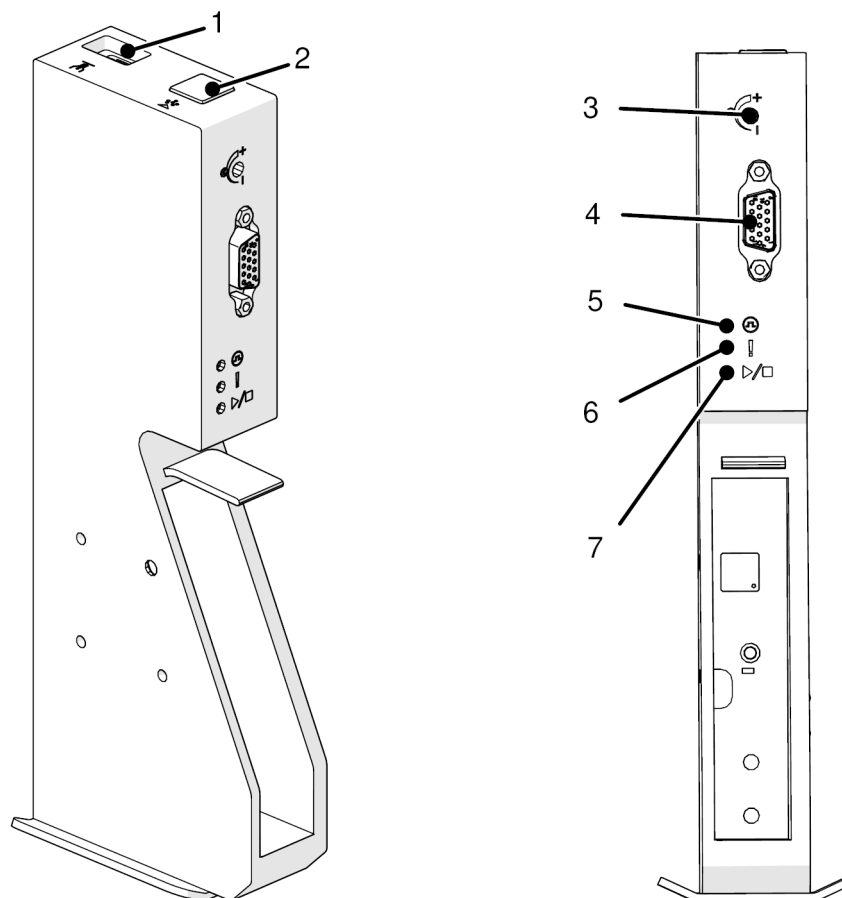
#	名称	説明
4	USB ソケット	以下のいずれかを接続します。 <ul style="list-style-type: none"> • キーボード • マウス • データ転送用のメモリデバイス
5	プリントヘッドソケット	プリントヘッドを接続します。
6	IO ソケット	以下のいずれかを接続します。 <ul style="list-style-type: none"> • 外部センサ (製品検出センサ) • 外部エンコーダ (シャフトエンコーダ) • 警報ビーコン
7	状態表示灯	状態: <ul style="list-style-type: none"> • 停止 (赤) - 電源が接続され、コントローラが起動すると点灯します。 • 警報 (黄) - エラーが発生した場合に点灯します。 • 開始 (緑) - 印字中に点灯します。
8	ファン	コントローラを冷却します。ファンの吹き出し口を塞がないでください。

GP プリントヘッドの概要



#	名称	説明
1	データソケット	プリントヘッドをコントローラに接続します。
2	パージボタン	このボタンを押すと、プリントヘッドノズルのパージが実行されます。
3	感度	製品検出センサの感度を調整します。
4	拡張ソケット	使用しないでください。
5	センサ LED	製品検出センサがトリガされた場合に点灯します。
6	警告 LED	エラーが発生した場合に点灯します。
7	開始 / 停止 LED	印字中に点灯します。

EXT プリントヘッドの概要

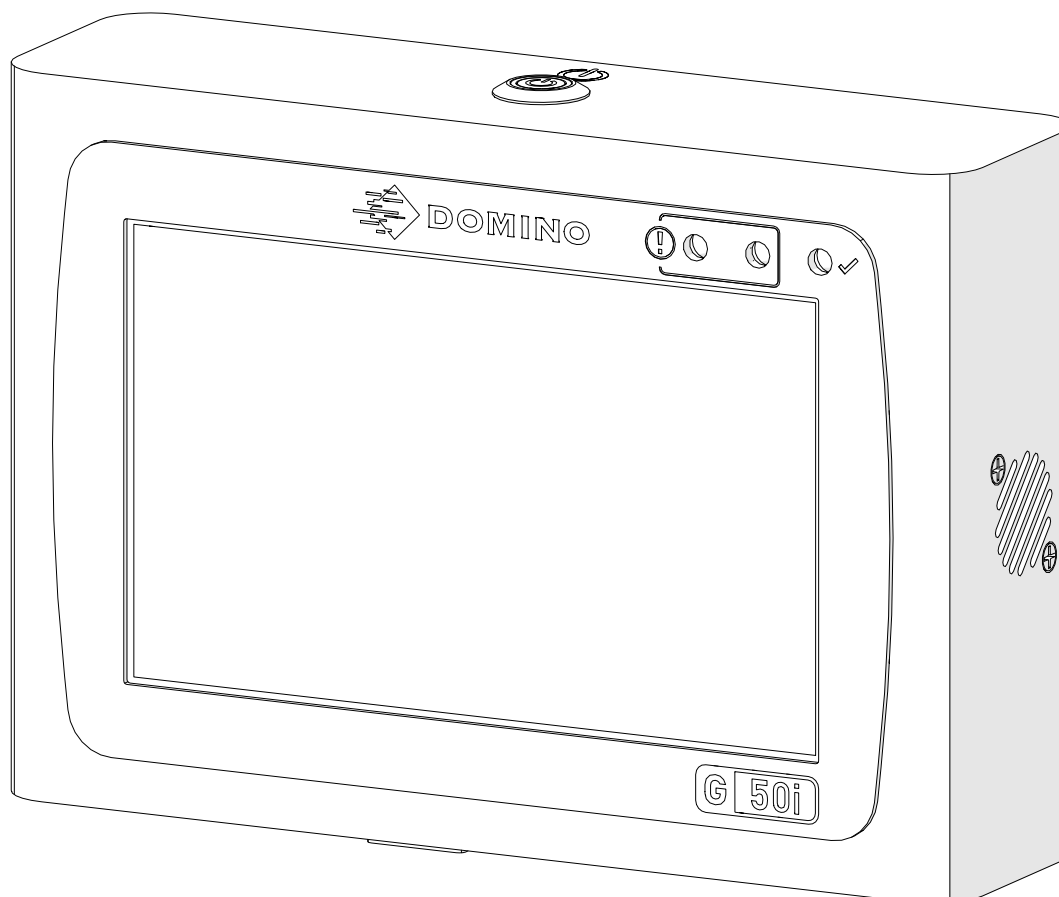


#	名称	説明
1	データソケット	プリントヘッドをコントローラに接続します。
2	パージボタン	このボタンを押すと、プリントヘッドノズルのパージが実行されます。
3	感度	製品検出センサの感度を調整します。
4	拡張ソケット	使用しないでください。
5	センサ LED	製品検出センサがトリガされた場合に点灯します。
6	警告 LED	エラーが発生した場合に点灯します。
7	開始 / 停止 LED	印字中に点灯します。

ユーザーインターフェース

コントローラの5インチのタッチスクリーンには、ユーザーインターフェースが表示されます。設定、構成、ラベルの作成 / 編集は、タッチスクリーンで直接行うことができます (外部ソフトウェアは不要です)。

また、PC、ラップトップまたはモバイルデバイス (スマートフォン) の Web ブラウザを使用してプリンタを制御することもできます。詳しくは [[Web ブラウザ経由でプリンタを制御 ページ 95](#)] をご覧ください。



仕様

コントローラの仕様

項目	詳細
寸法:	幅: 155 mm 高さ: 111.6 mm 奥行き: 44.65 mm
重量:	622 g
動作温度:	5 °C ~ 50 °C
作動相対湿度:	90%以下 (結露なきこと)
IP 保護等級	N/A (濡れた場所での使用は不可)
ユーザーインターフェース:	5 インチのタッチスクリーン
メッセージメモリ:	4 GB
プリントヘッドの最大数:	1
印字可能文字:	Windows True Type フォント
電源供給アダプタ:	入力: 100-240 V AC、1.4 A、50/60 Hz 出力: 24 V DC、2.5 A、60 W
最大消費電力:	60 W
外部接続:	<ul style="list-style-type: none"> • 外部センサ (製品検出センサ) • 外部エンコーダ (シャフトエンコーダ) • 警報ビーコン • RS485 • RJ45 (イーサネット) • USB
最大動作標高	2000 m
稼動環境:	屋内のみ

GP プリントヘッドの仕様

項目	詳細
最高印字高さ:	12.7 mm (0.5 インチ)
寸法:	高さ: 65.1 mm 幅: 49.1 mm 長さ: 216.4 mm
重量:	412.4 g
動作温度:	注記 詳しくは各種インクの仕様をご覧ください。 5 °C ~ 50 °C
作動相対湿度:	90%以下 (結露なきこと)
IP 保護等級	N/A (濡れた場所での使用は不可)
プリントヘッドケーブルの長さ:	2 m
最大動作標高	2000 m
稼動環境:	屋内のみ

GP プリントヘッド速度表

注記 印刷速度は、インクの種類、印刷解像度および適用設定に応じて変動します。
詳しくは各種インクのデータシートをご覧ください。

解像度	密度 1 速度 (m / 分)
150x100	228
150x120	190
150x150	152
150x200	114
150x300	76
150x600	38
300x100	228
300x120	190
300x150	152
300x200	114
300x300	76
300x600	38
600x100	228
600x120	190
600x150	152
600x200	114
600x300	76
600x600	38

EXT プリントヘッドの仕様

項目	詳細
最高印字高さ:	25.4 mm (1 インチ)
寸法:	高さ: 77.5 mm 幅: 49 mm 長さ: 217 mm
重量:	432 g
動作温度:	注記 詳しくは各種インクの仕様をご覧ください。 5 °C ~ 50 °C
作動相対湿度:	90%以下 (結露なきこと)
IP 保護等級	N/A (濡れた場所での使用は不可)
プリントヘッドケーブルの長さ:	2 m
最大動作標高	2000 m
稼働環境:	屋内のみ

EXT プリントヘッド速度表

注記 印刷速度は、インクの種類、印刷解像度および適用設定に応じて変動します。
詳しくは各種インクのデータシートをご覧ください。

解像度	密度 1 速度 (m / 分)
300x100	120
300x120	100
300x150	80
300x200	60
300x300	40
300x600	20

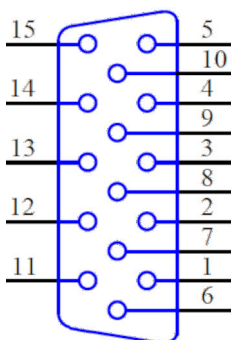
プレインストールされているフォント

プレインストールされているフォントには以下が含まれています。

- Liberation Mono (レギュラー / 太字 / 斜体 / 太字の斜体)
- Liberation Sans (レギュラー / 太字 / 斜体 / 太字の斜体)
- Liberation Sans Narrow (レギュラー / 太字 / 斜体 / 太字の斜体)
- Noto Sans (レギュラー / 太字 / 斜体 / 太字の斜体)
- Noto Sans Arabic (レギュラー / 太字)
- Noto Sans Hebrew (レギュラー / 太字)
- Noto Sans JP (レギュラー / 太字)
- Noto Sans KR (レギュラー / 太字)
- Noto Sans TC (レギュラー / 太字)
- Noto Sans Thai (レギュラー / 太字)

コントローラ IO ソケットの説明

ソケットタイプ: メス、15 ピン。高密度、D コネクタ。



#	名称	タイプ	説明
1	485B	通信	RS485B、反転のドライバ出力 / レシーバー入力。
2	EN_B	入力	シャフトエンコーダ入力 B。 NPN シャフトエンコーダのみを使用します。
3	EN_A	入力	シャフトエンコーダ入力 A。 NPN シャフトエンコーダのみを使用します。
4	EXT_SEN_PNP_IN	入力	PNP 接続用の外部製品検出センサ入力。 入力が「high」の場合は、アクティブになります。 この入力を使用するには、入力信号のアースをプリンタの IO ソケットのアースに接続します。
5	24V_FUSE	出力	24 V DC 電源出力。 3 A のヒューズで保護されています。 最大出力電流: 1.5 A この出力は、12 番の出力と結合 / 共有されます。
6	アース	-	
7	STOP_LED_DP	出力	赤のビーコンライトを有効にするための出力。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。
8	EXT_SEN_NPN_IN	入力	NPN 接続用の外部製品検出センサ入力。 入力が「low」の場合は、アクティブになります。 この入力を使用するには、入力信号のアースをプリンタの IO ソケットのアースに接続します。

システムの説明

#	名称	タイプ	説明
9	PRINT_LED_DP	出力	緑のビーコンライトを有効にするための出力。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。
10	SP_INPUT	入力	予備入力。 注記 この入力は、この取扱説明書の発行時点では使用できません。現行バージョン (1.0.3.0) のソフトウェアはこの入力をサポートしていませんが、今後リリースされるバージョンのソフトウェアではこの入力の使用が可能になる見込みです。 アクティブロー、47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。 この入力を使用するには、入力信号のアースをプリンタの IO ソケットのアースに接続します。
11	485A	RS485 通信	RS485A、非反転のドライバ出力 / レシーバー入力。
12	24V_FUSE	出力	24 V DC 電源出力。 3 A のヒューズで保護されています。 最大出力電流: 1.5 A この出力は、5 番の出力と結合 / 共有されます。
13	アース	-	
14	SP_SIG_DP	出力	予備出力。 この出力は、印刷完了時にのみトリガーされます。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。
15	ALARM_LED_DP	出力	緑のビーコンライトを有効にするための出力。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。

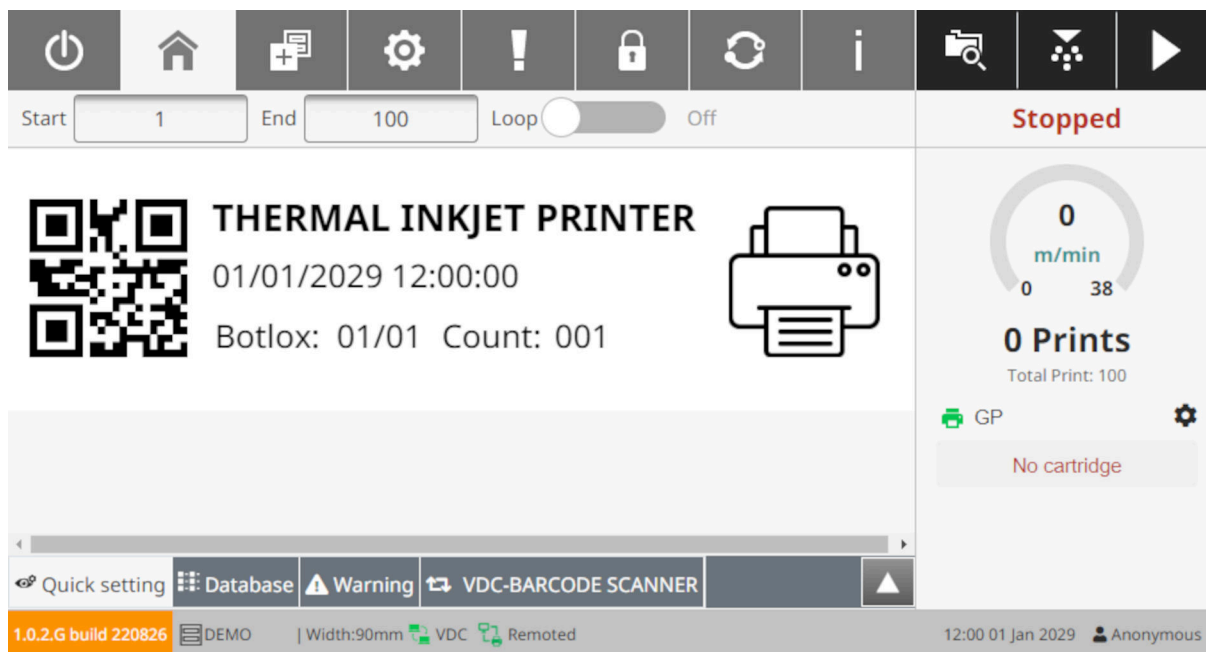
最大ラベル幅

注記 最大ラベル幅は解像度によって異なります。




最大ラベル幅	解像度
1.387 m	<ul style="list-style-type: none"> • 600x600 DPI • 300x600 DPI • 150x600 DPI
1.5 m	<ul style="list-style-type: none"> • 600x300 DPI • 600x200 DPI • 600x150 DPI • 600x120 DPI • 600x100 DPI • 300x300 DPI • 300x200 DPI • 300x150 DPI • 300x120 DPI • 300x100 DPI • 150x300 DPI • 150x200 DPI • 150x150 DPI • 150x120 DPI • 150x100 DPI








ユーザーインターフェースの概要

メインインターフェースのツールバー





注記 印字中は、一部の設定を利用できない場合があります。

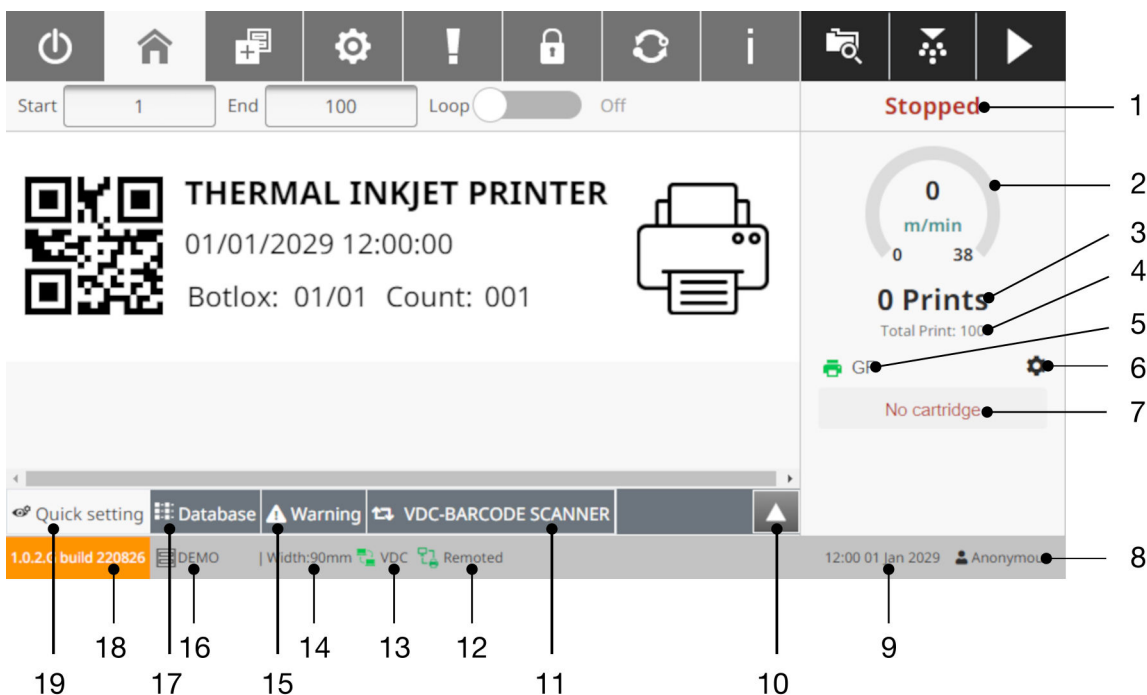
項目	名称	説明
	スタンバイ	プリンタをシャットダウンまたは再起動します。 注記 この設定で、プリンタが電源から切断されることはありません。
	ホーム	この画面に戻ります。
	デザイン	ラベルテンプレートのデザイン画面を開くと以下のことを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> 新しいラベルテンプレートの作成 ラベルテンプレートの編集 印字するラベルテンプレートの選択

項目	名称	説明
	設定	設定画面を開くと以下のことを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • プリントヘッド設定 • システム設定 • 高度な設定 • VDC 設定 • セットワーク設定 • 省電力設定 • 言語設定 • フォント設定
	ログ	ログ画面を開くと以下のことを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • すべてのユーザーの操作のログの確認とエクスポート • 統計情報の表示
	ユーザー	ユーザーモードが有効になっている場合は、以下のことを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 現在のユーザーの詳細情報の表示 • 現在のユーザーのパスワードの変更 管理者としてログインしている場合、以下のことを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 新規ユーザーの作成 • ユーザーの削除 • ユーザーのアクセス許可の設定と編集 • 他のユーザーのパスワードの変更
	更新	ソフトウェア / ファームウェアのバージョンを更新します。
	バージョン情報	ソフトウェアやハードウェアに関する情報を表示します。
	テンプレートを開く	保存済みのラベルテンプレートを開きます。
	パーズ	プリントヘッドパーズを実行してノズルの詰まりを解消します。

システムの説明

項目	名称	説明
	開始	印字を開始します。
	停止	印字を停止します。
Start <input type="text" value="1"/>	開始インデックス	カウンタ / データベースの開始インデックスを設定します。
End <input type="text" value="1000000"/>	終了インデックス	カウンタ / データベースの終了インデックスを設定します。
Loop <input type="checkbox"/> Off	ループ	有効にすると、データを繰り返します。

ホーム画面の印字情報



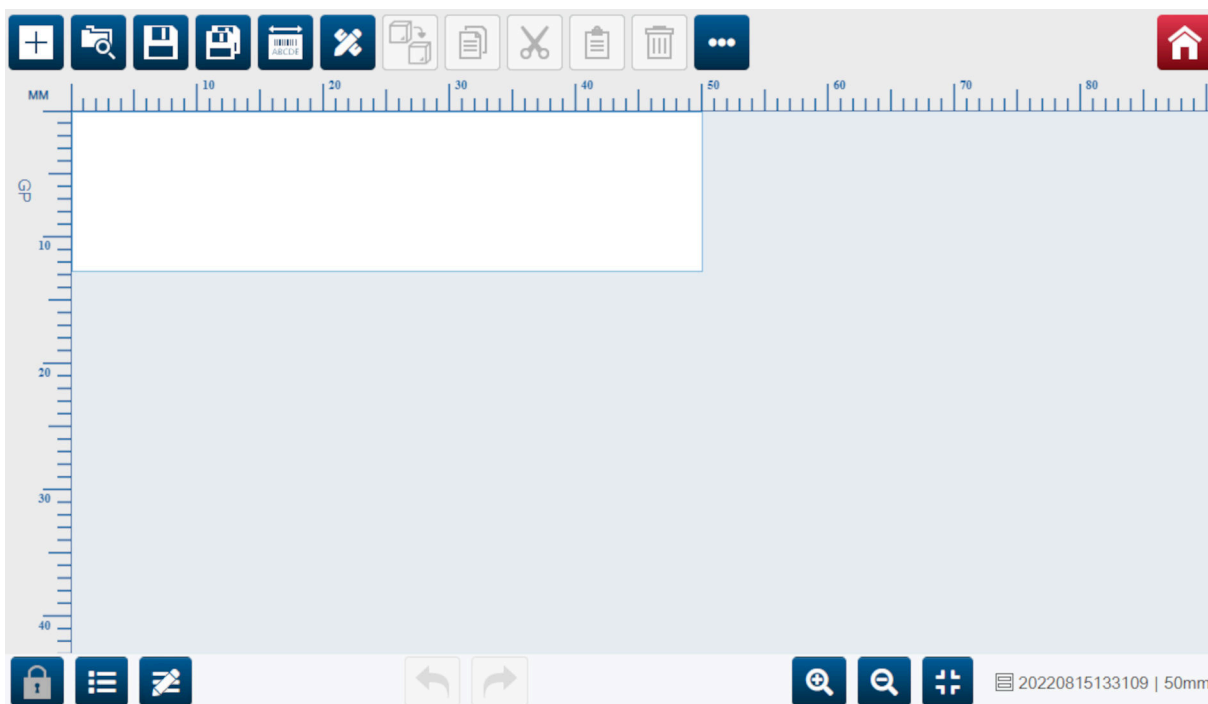
#	名称	説明
1	プリンタの状態	<ul style="list-style-type: none"> 停止 - プリンタが印字できません。 処理中 - プリンタの状態が停止から準備完了に変わります。 準備完了 - プリンタは印字準備を完了しています。 印字中 - プリンタが印字中です。
2	現在の速度	<ul style="list-style-type: none"> シャフトエンコーダを製造ラインの速度測定に使用しない場合、表示される値は、[設定] > [システム設定] > [エンコーダ] > [内部] > [速度 (m / 分)] で入力された数値になります。 シャフトエンコーダを使用する場合、表示される値はシャフトエンコーダによって測定された製造ラインの速度になります。
3	印字回数	<ul style="list-style-type: none"> これまでに実行された印字処理の回数を表示します 印字ごとに値が 1 増加します 値の範囲: 0 ~ 1,000,000,0000





#	名称	説明
4	印字枚数合計	<ul style="list-style-type: none"> 現在の印字ジョブの合計ページ数を表示します ラベルテンプレートに連番が含まれている場合、値は連番値と等しくなります ラベルテンプレートにデータベースと連番が含まれている場合は、連番値が大きい場合でも、値はデータベースファイル内の行数と等しくなります ラベルテンプレートに固定テキストのみが含まれている場合、値は1になります [ループ]を有効にすると、無限印字できます。
5	プリントヘッド情報	<ul style="list-style-type: none"> プリントヘッド種 プリントヘッド状態。
6	カートリッジに関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 状態 ラベル インク量 ノズルチェックの状態 印字可能残回数 10 ml あたりの印字数
7	カートリッジの状態	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジの接続状態 インク量
8	ユーザー名	ログインしているユーザーの名前。
9	システムクロック	<ul style="list-style-type: none"> 現在のシステムの日付 / 時間が表示されます。 値の変更については [共通 ページ 83] をご覧ください。
10	クイック設定	印字調整設定へのクイックアクセス。 [調整 ページ 63] をご覧ください。
11	VDC-バーコードスキャナ	<p>注記 この設定は、VDC 設定の接続設定が [バーコードスキャナ] に設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>VDC (可変データ接続) バーコードデータの表示選択。 [VDC 設定 ページ 85] をご覧ください。</p>
12	リモートの状態	[リモート] の ON/OFF を表示します。 [リモート ページ 79] をご覧ください。
13	VDC の状態	VDC (可変データ接続) の ON/OFF を表示します。 [VDC 設定 ページ 85] をご覧ください。
14	幅	現在のラベルテンプレートの幅を表示します。
15	警告	プリンタの警告メッセージを表示します。
16	ラベル名	ロードされたラベルテンプレートの名前を表示します。







システムの説明

#	名称	説明
17	データベース	データベース情報を表示します。
18	ソフトウェアバージョン	現在のソフトウェアバージョンを表示します。
19	クイック設定	印字調整設定へのクイックアクセス。 [調整 ページ 63] をご覧ください。











ラベルテンプレートデザイナー



項目	名前	説明
	新規	新しいラベルテンプレートを作成します。
	開く	<ul style="list-style-type: none"> 保存済みのラベルテンプレートをプレビューして開きます。 既存のラベルテンプレートをコピーします。 ラベルテンプレートを削除します。
	保存	現在のラベルテンプレートを保存します。
	編集	ラベルテンプレートの幅を編集します。

項目	名前	説明
	オブジェクト	<p>オブジェクト / フィールドをラベルテンプレートに追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テキスト • カウンタ • データベース • バーコード • グラフィック • クロック • シフトコード • 線 • Boxlot
	複製	<p>選択したオブジェクト / フィールドを複製して自動的に貼り付けます。</p> <p>この設定には、以下に示すオプションが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動モード - 方向、距離 Y (mm) / 距離 X (mm)、および連番設定を無効または有効にします。 • 方向 - 元のオブジェクトから、複製したオブジェクトを貼り付ける方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直 - 複製したオブジェクトは、元のオブジェクトの下に貼り付けられます。 • 水平 - 複製したオブジェクトは、元のオブジェクトの右側に貼り付けられます。 • 距離 Y (mm) / 距離 X (mm) - 複製した各オブジェクトと元のオブジェクトとの間の水平間隔/垂直間隔を設定します。 • カウント - オブジェクトを複製する回数を設定します。
	コピー	選択したオブジェクト / フィールドをコピーします。
	切り取り	選択したオブジェクト / フィールドを切り取ります。
	貼り付け	コピーまたは切り取りしたオブジェクト / フィールドを貼り付けます。
	削除	選択したオブジェクト / フィールドを削除します。

システムの説明

項目	名前	説明
	詳細	以下に示す他のオプションを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • テンプレートをインポート - USB メモリデバイスからラベルテンプレートをインポートします。 • テンプレートをエクスポート - ラベルテンプレートを USB メモリデバイスにエクスポートします。 • データベースを削除 - 最後にロードされたデータベースを削除します。
	ホーム	ホーム画面に戻ります。
	テンプレートをロック	ラベルテンプレートのレイアウト領域をロックします。テンプレートがロックされている場合、ユーザーはテンプレートを調整できません。ユーザーはツールバーにアクセスできるようになります。
	オブジェクト	現在のラベルテンプレートで使用されているオブジェクトのリストを開きます。
	プロパティ	選択したオブジェクトのプロパティを表示および編集します。
	元に戻す	最後の操作を元に戻します。
	やり直し	最後の操作をやり直します。
	拡大	ラベルテンプレートを拡大します。
	縮小	ラベルテンプレートを縮小します。
	ズームのリセット	ズームをリセットします。

章 3 設置

開梱

コントローラ、プリントヘッド、付属品(エンコーダ、センサなど)を梱包箱から取り出します。納品機器は注文に応じて異なります。このため梱包一覧と照合して梱包品を確認し、差異があれば Domino までご連絡ください。

設置場所

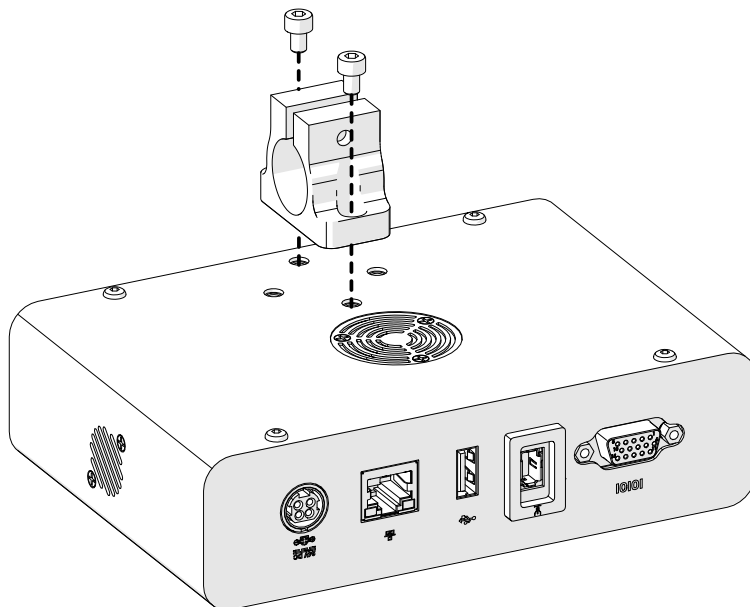
バルクインクシステムは、以下の場所に設置してください。

- 他の機器から電氣的に絶縁された場所。
- 温度が指定された範囲内にある場所。詳細は、[仕様 ページ 22](#) を参照してください。
- 相対湿度が指定された範囲内にある場所。詳細は、[仕様 ページ 22](#) を参照してください。
- 電源コンセントに近い場所(電源をすぐに切断できるようにするため)。
- パイプ、ケーブル、電気接続口へのアクセスが遮断されていない場所。

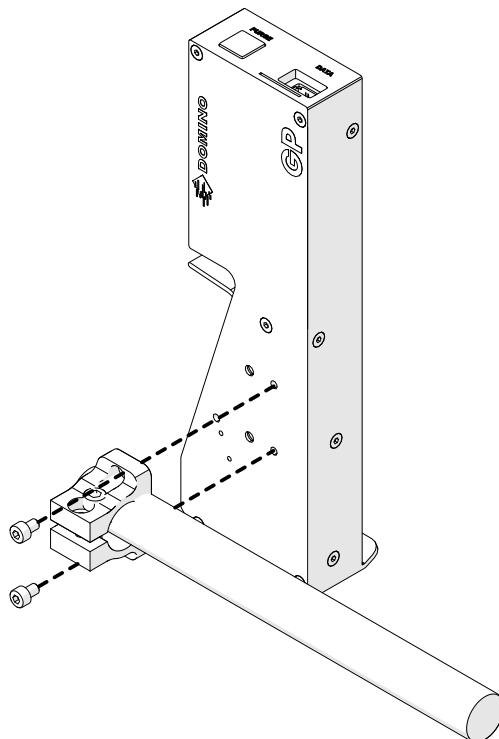
垂直方向の設置

G50i を取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. クランプをコントローラに取り付けます。

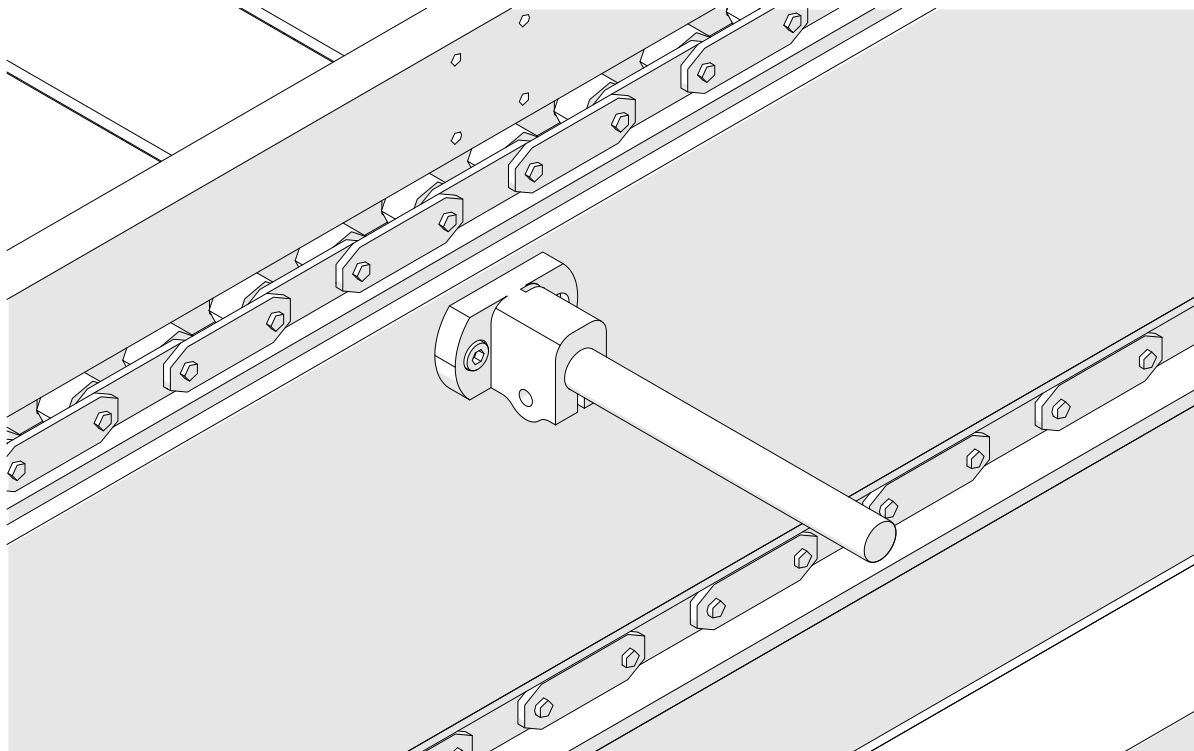


2. 取り付けクランプと丸棒をプリントヘッドに取り付けます。

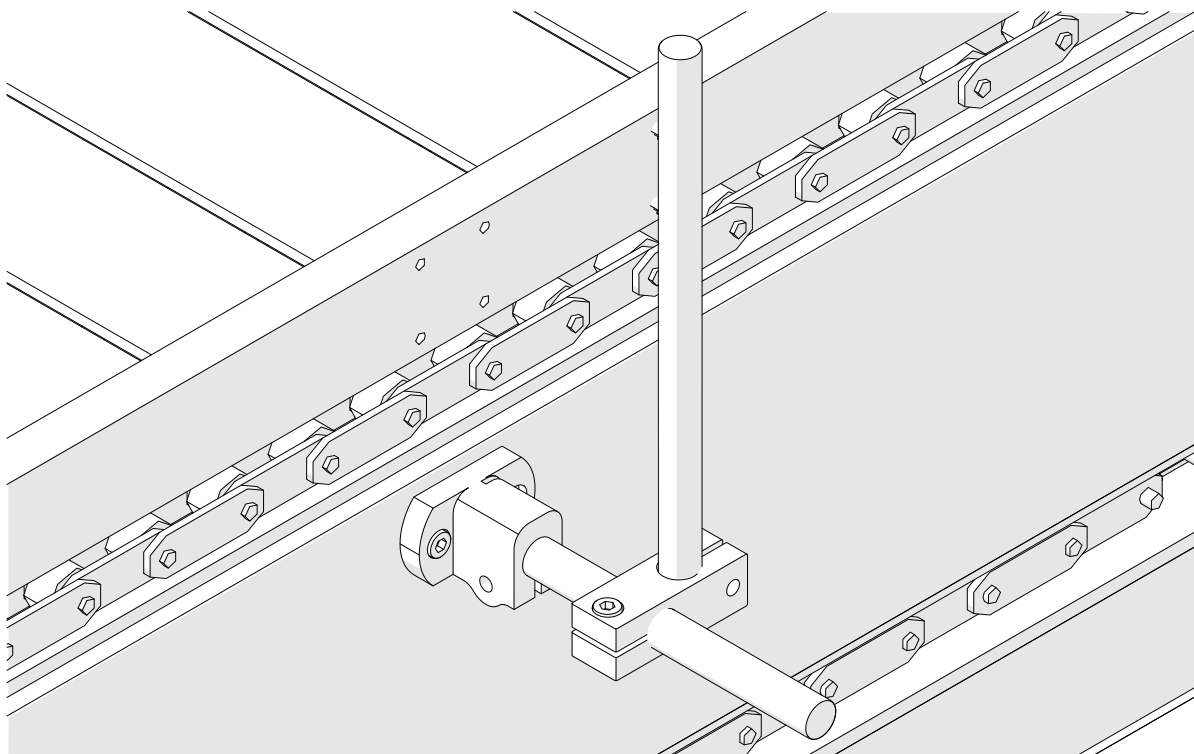


設置

3. ベースクランプと丸棒の1つをコンベア / 製造ラインに取り付けます。

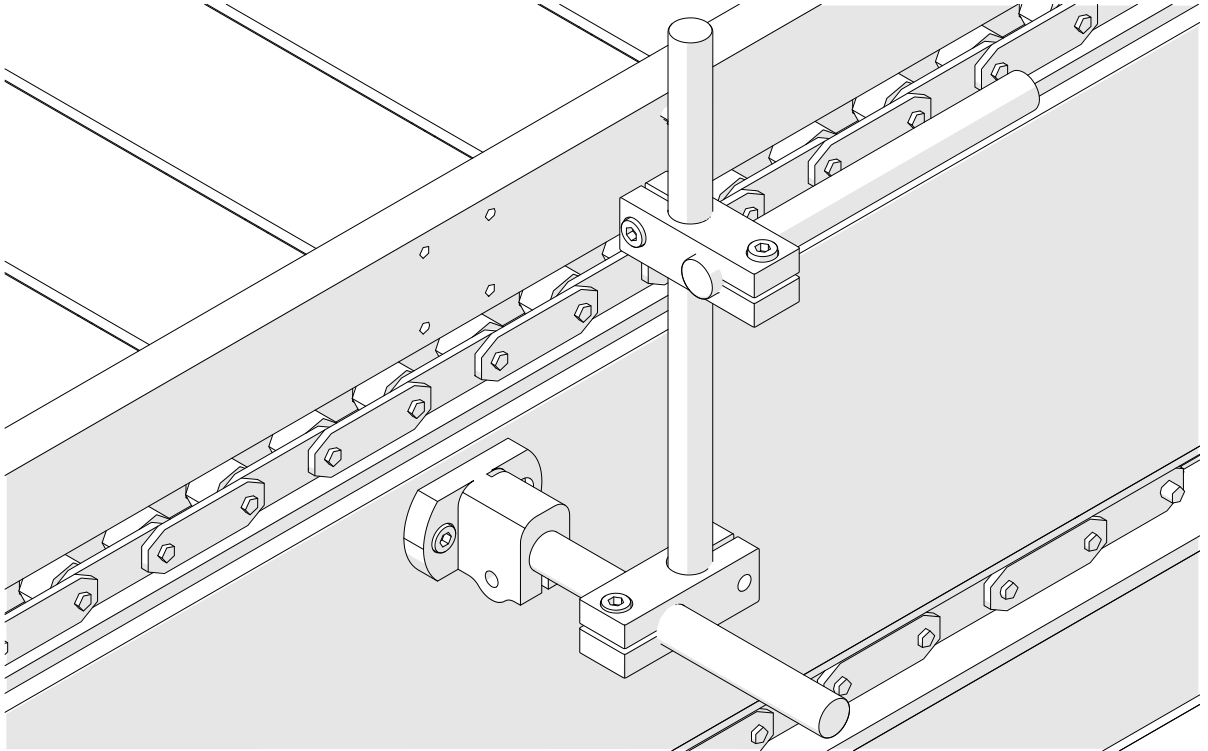


4. 下図のように、丸棒とクランプを取り付けます。

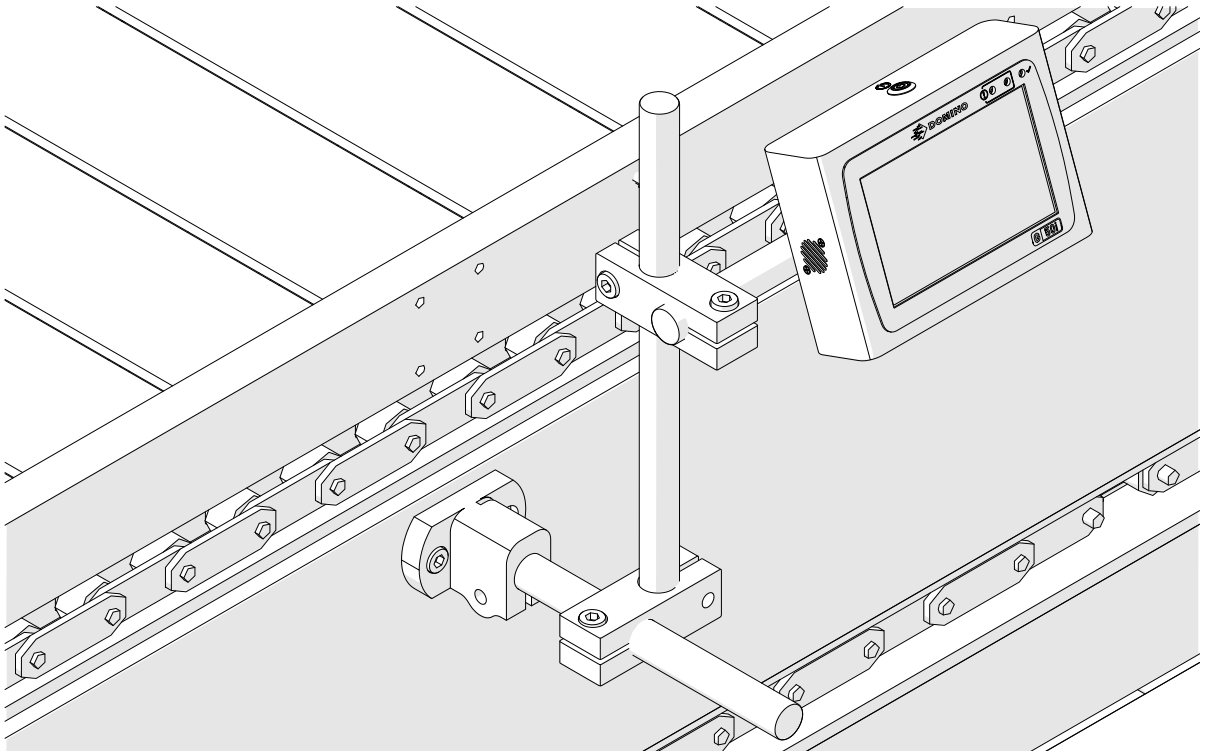


設置

5. 下図のように、別の丸棒とクランプを取り付けます。

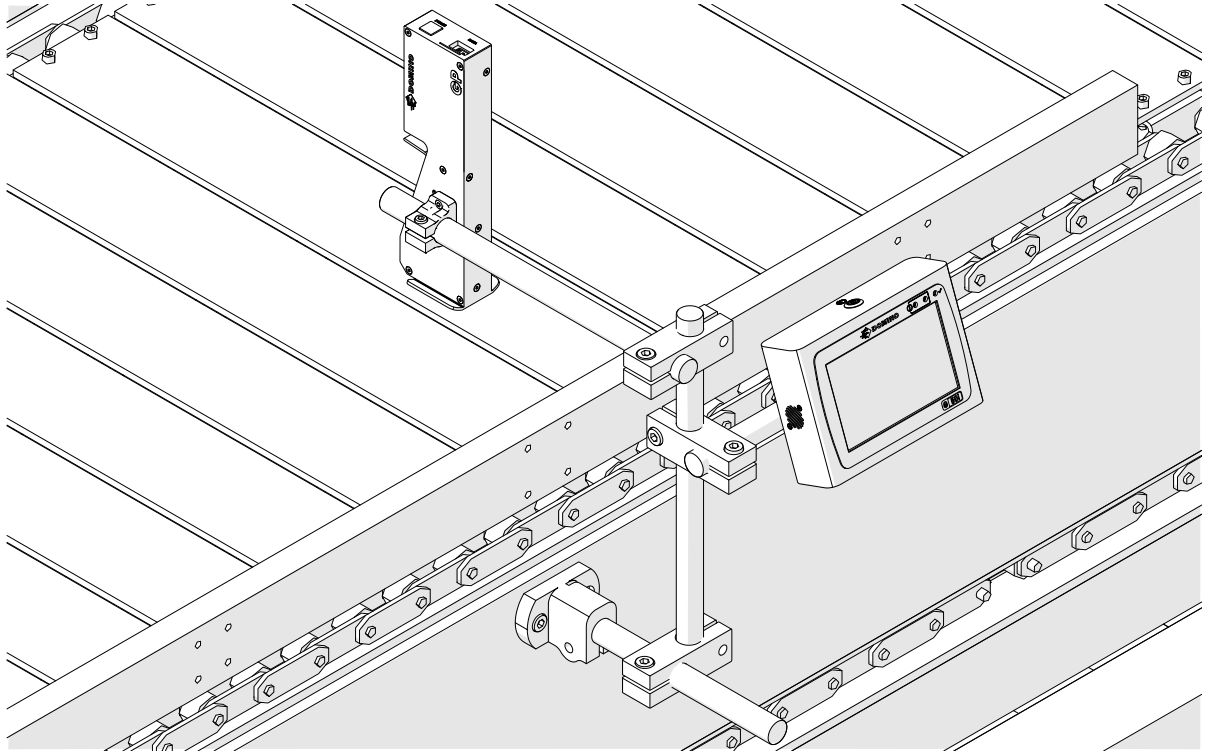


6. コントローラを取り付けます。



設置

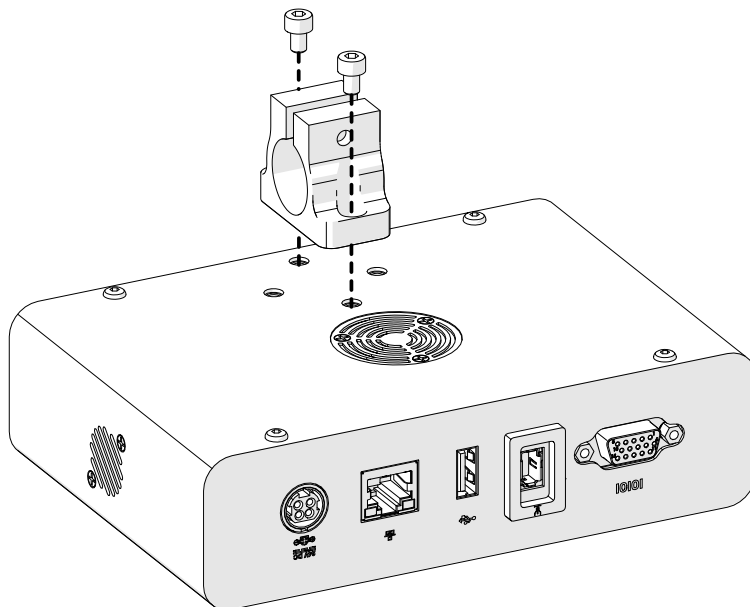
7. プリントヘッドを取り付けます。



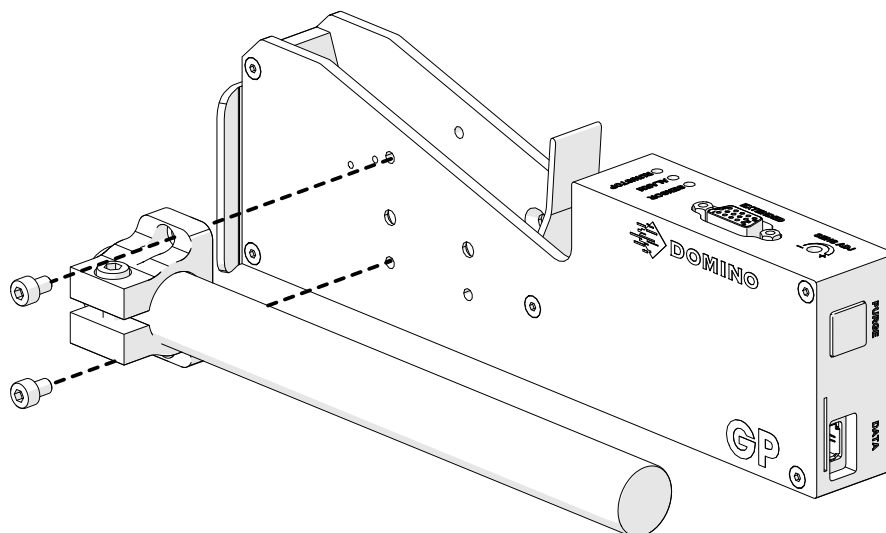
水平方向の設置

G50i を取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. クランプをコントローラに取り付けます。

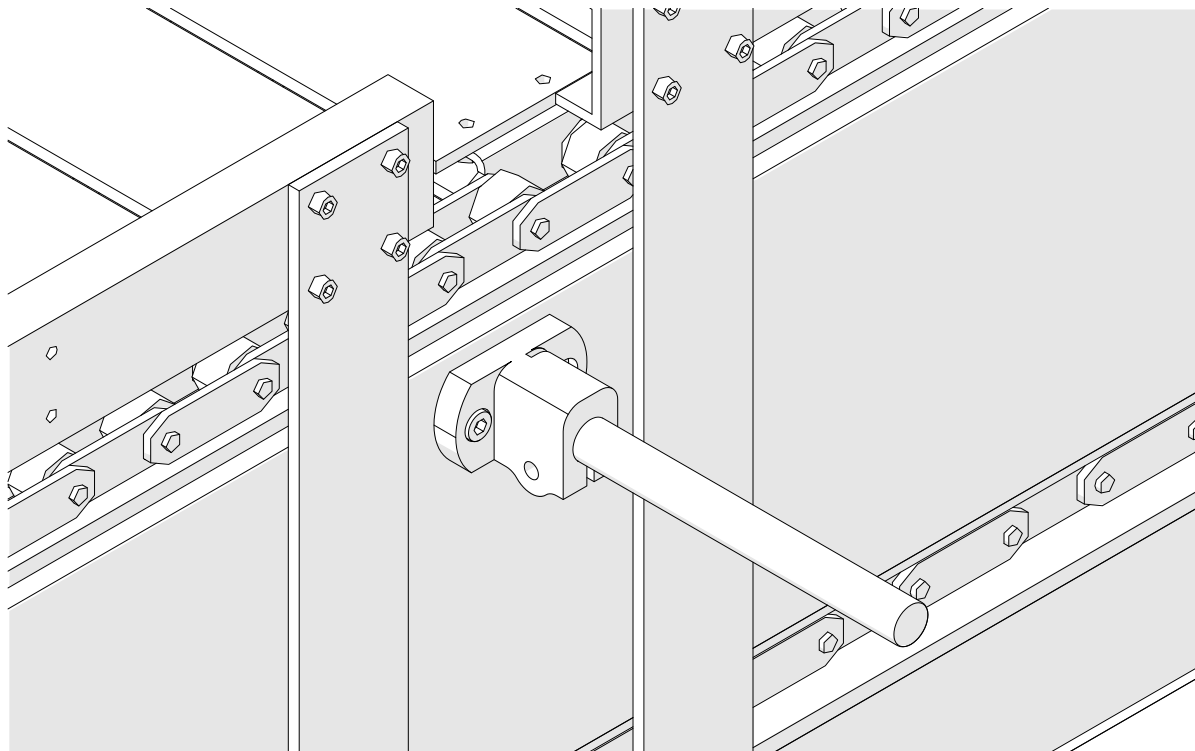


2. 取り付けクランプと丸棒をプリントヘッドに取り付けます。

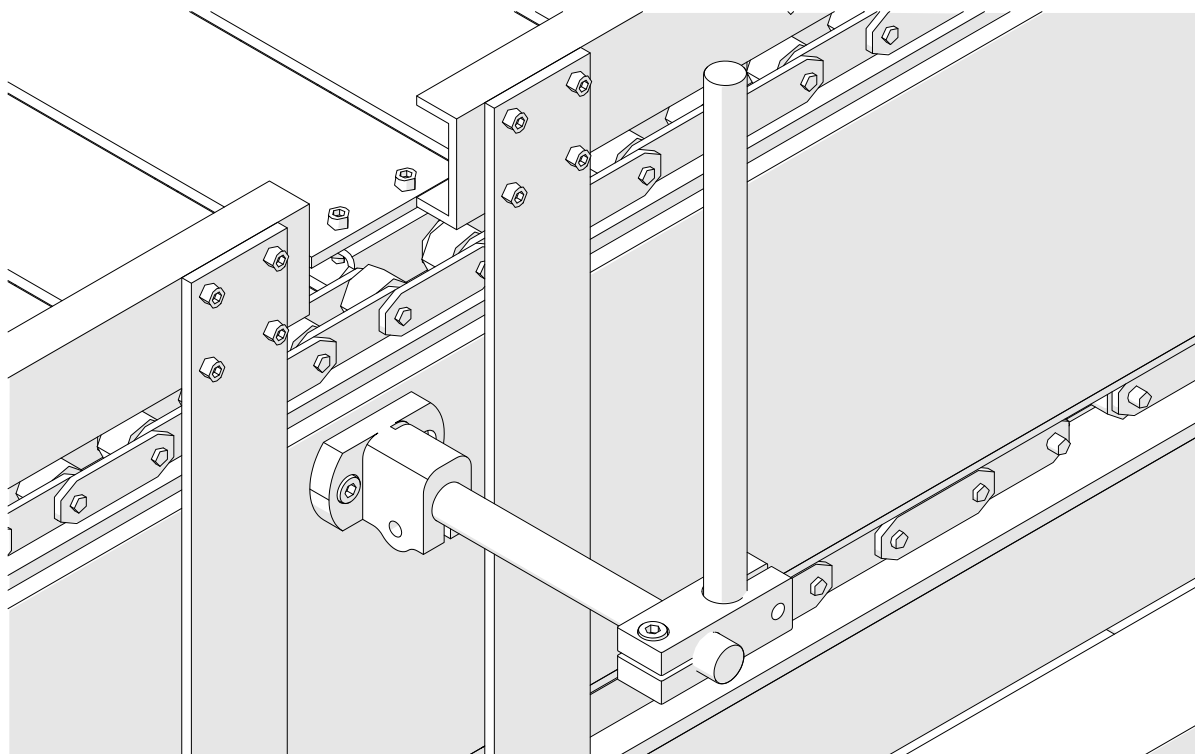


設置

3. ベースクランプと丸棒の1つをコンベア / 製造ラインに取り付けます。

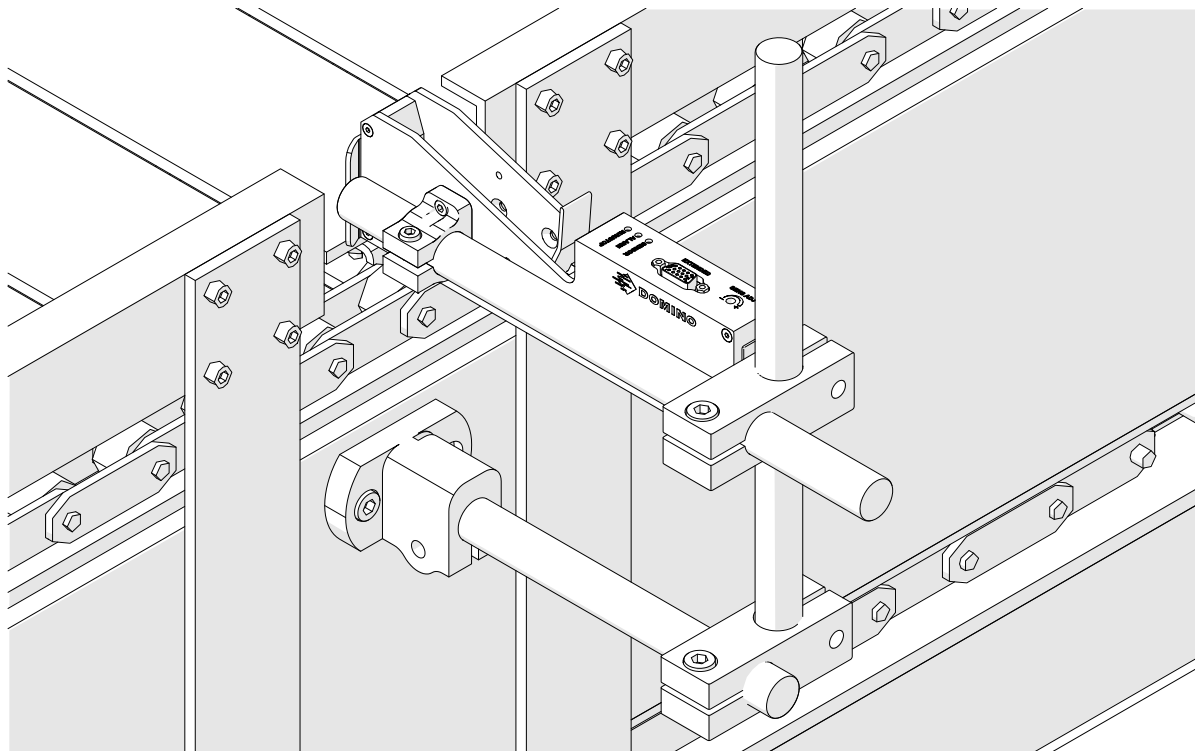


4. 下図のように、丸棒とクランプを取り付けます。

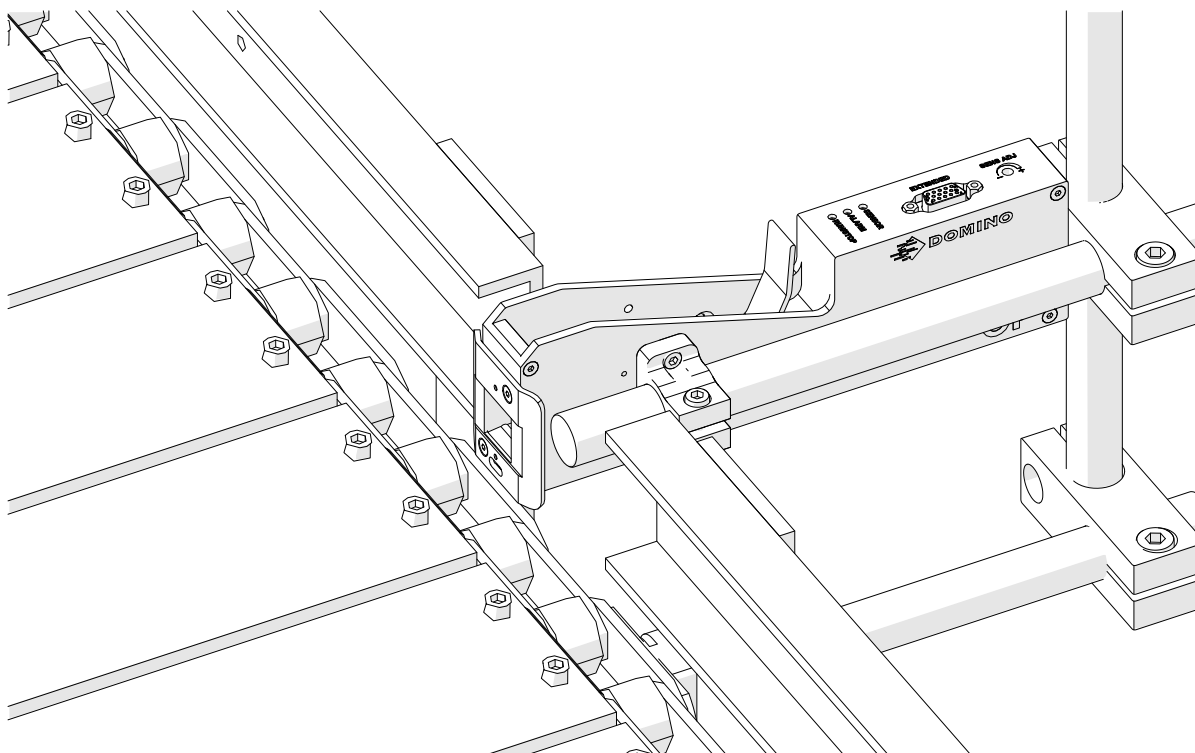


設置

5. プリントヘッドを取り付けます。

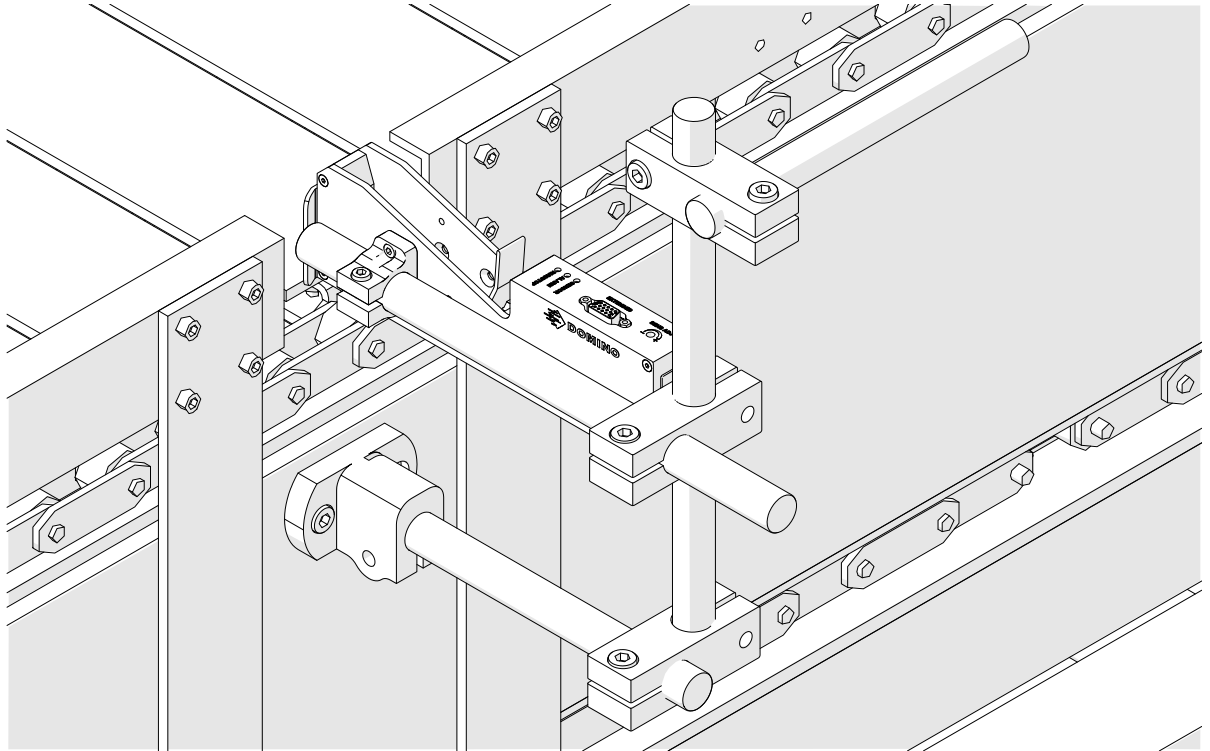


6. プリントヘッドを損傷や衝撃から守るために、コンベア / 製造ラインでは製品ガイドを使用します。

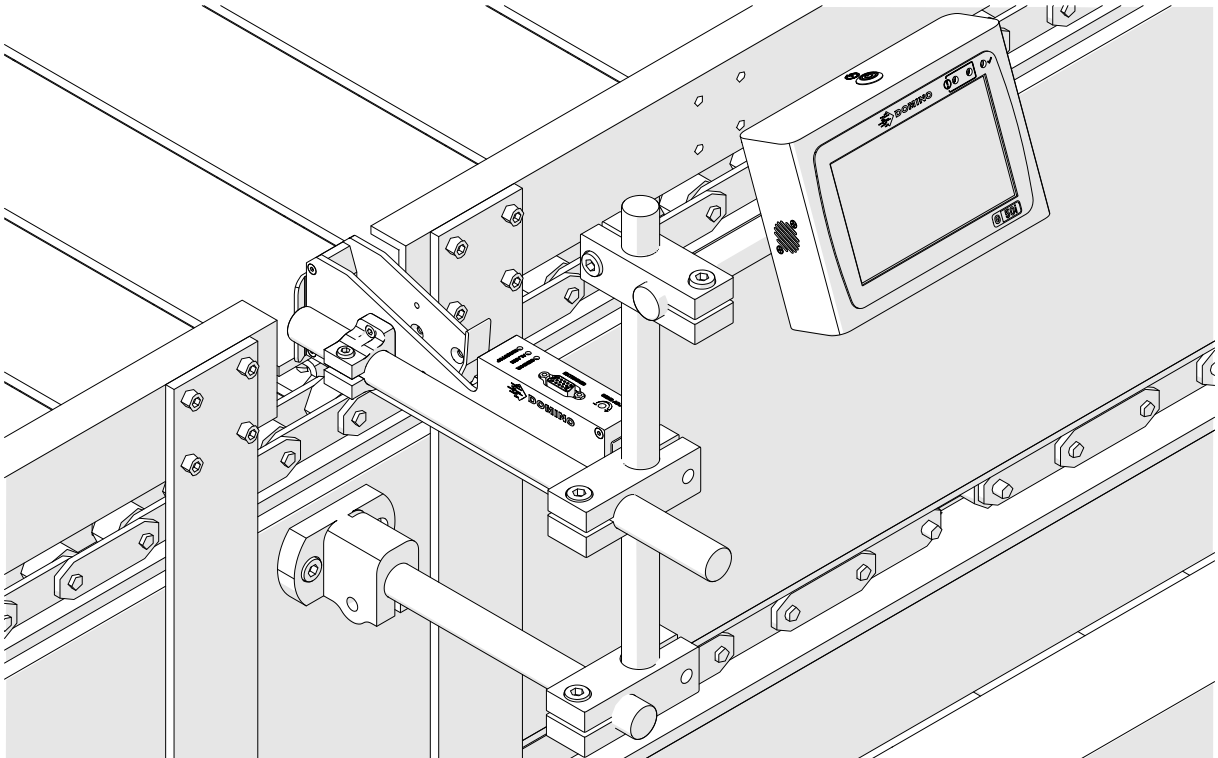


設置

7. 別の丸棒を取り付けます。



8. コントローラを取り付けます。



耐衝撃クランプ (オプション) の取り付け

ピンチポイントです。怪我をする恐れがあります。



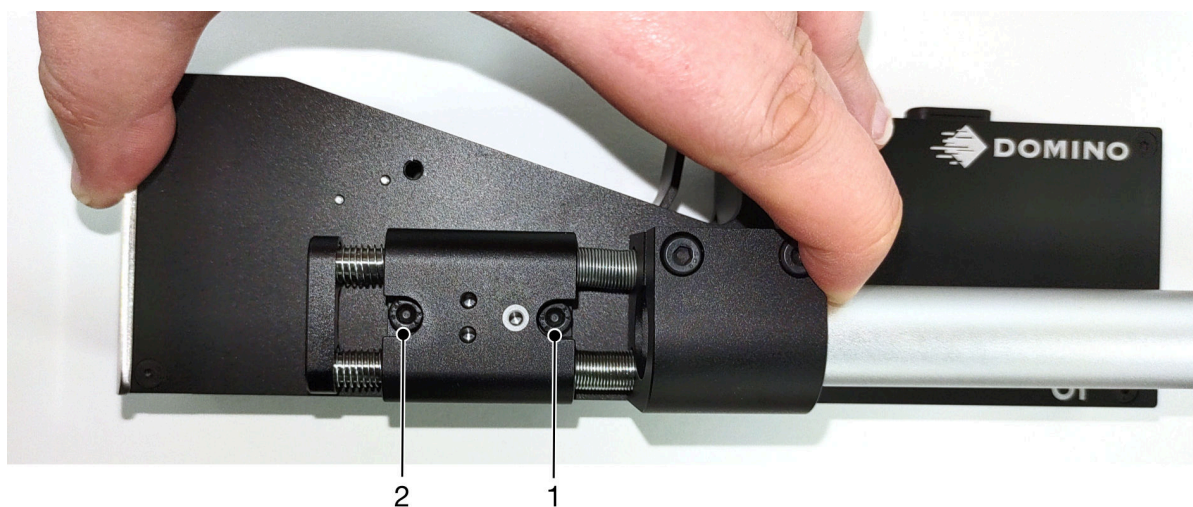
耐衝撃クランプに手や指を近づけないでください。

耐衝撃クランプに手や指が巻き込まれる恐れがあります。耐衝撃クランプに手や指が巻き込まれると、怪我をする恐れがあります。

必要なツールは、3 mm 六角レンチ

オプションのプリントヘッド耐衝撃クランプを取り付けるには次の手順に従います。

1. 下の画像で (1) と記載された箇所にネジを取り付けます。
2. クランプを圧縮し、下の画像で (2) と記載された箇所にネジを取り付けます。

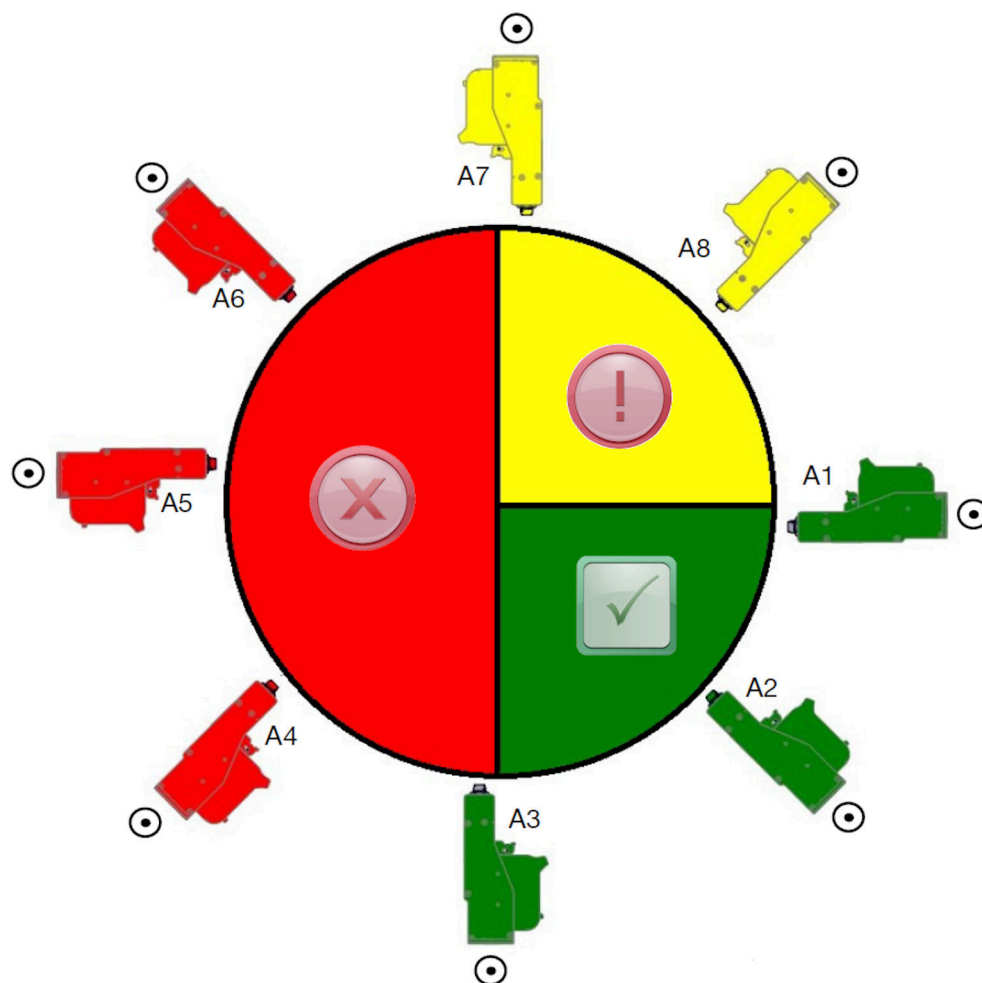


プリントヘッドの向き

側面図

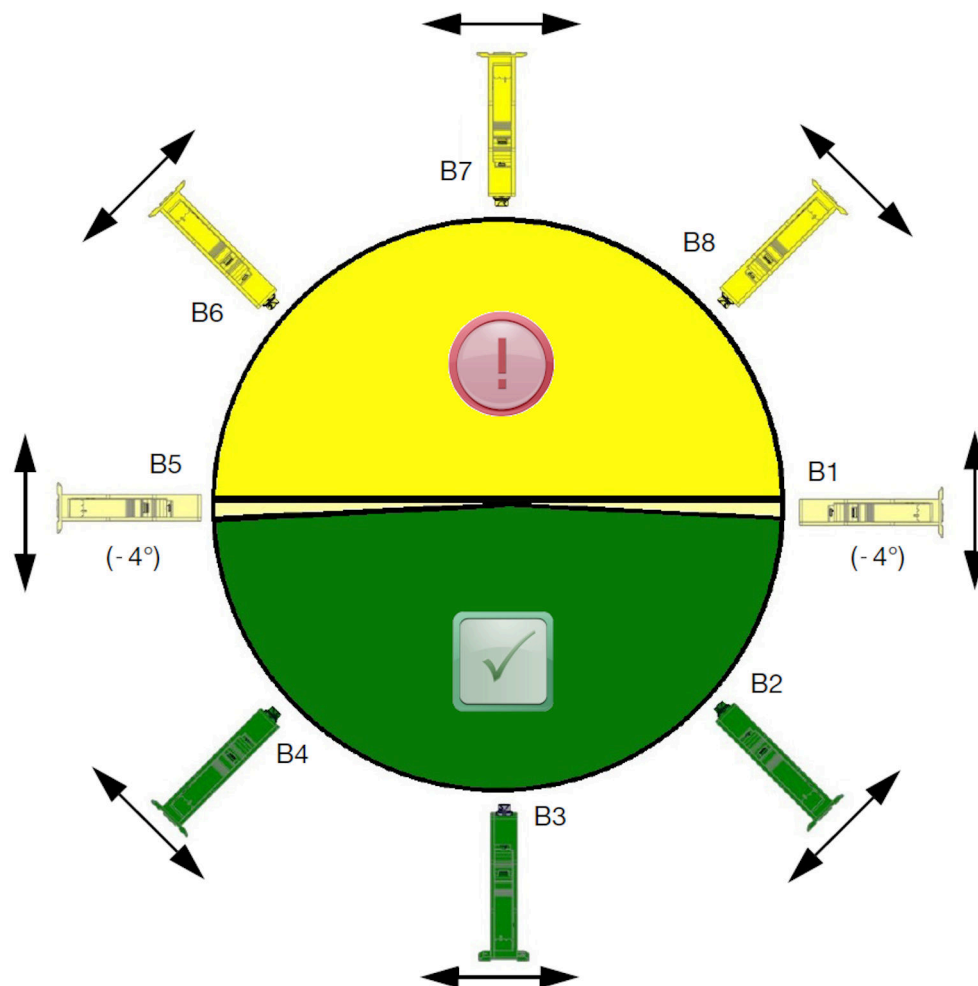
下図と次のページの図は、プリントヘッドの正しい向きと避けるべき向きを示したものです。

- プリントヘッドは、A1、A2、A3の向きで使用することをお勧めします。
- A7またはA8の向きで使用することをお勧めしません。これらの向きで使用すると、カートリッジ内のインク容量の1/3のインクがノズルに供給されなくなります。
- A4、A5、A6の向きでプリントヘッドを取り付けるのはお止めください。

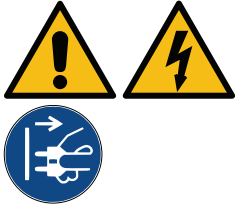
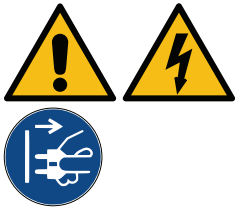


正面図

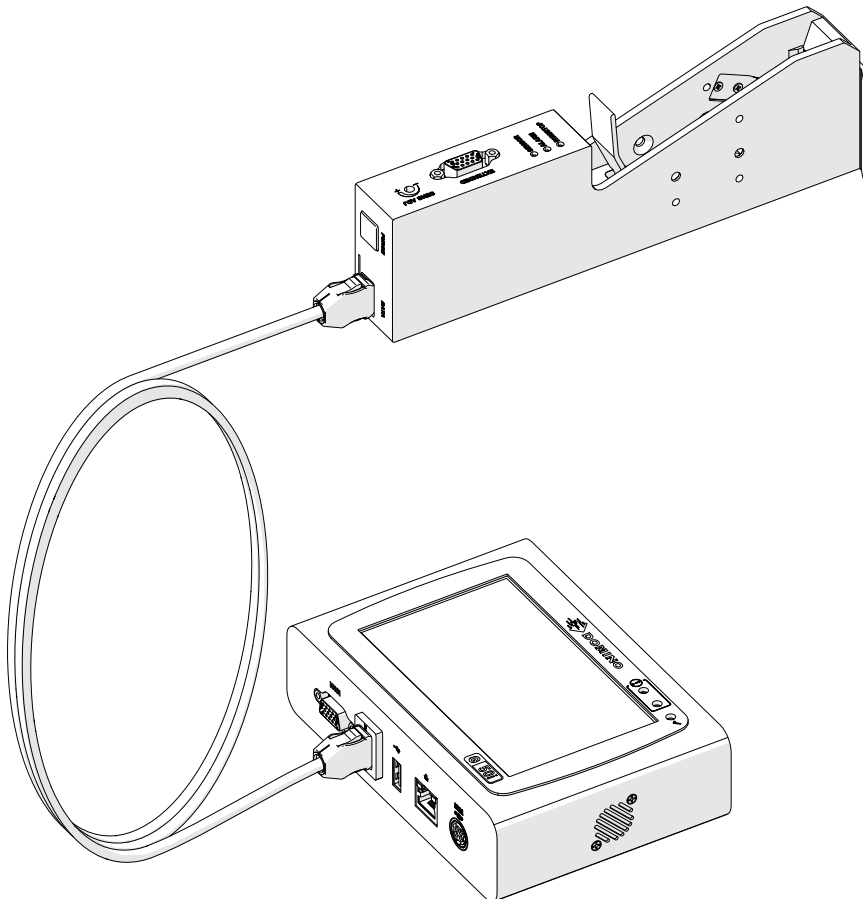
- プリントヘッドは、B2、B3、B4 の向きで使用することをお勧めします。
- プリントヘッドを B1 または B5 の向きで取り付ける場合は、プリントヘッドの角度を下方向に -4° 以上傾けてください。また、垂直方向の DPI を 300 に設定する場合は、床面に最も近いノズル列を印字用ノズル列として選択してください。詳しくは[印字品質 ページ 62](#)をご覧ください。
- B6、B7、B8 の向きで使用することはお勧めしません。これらの向きで使用すると、カートリッジ内のインク容量の $\frac{1}{3}$ のインクがノズルに供給されなくなります。





プリントヘッド接続

警告 電気。傷害のおそれがあります。	
	<p>機器を停止させて電源を切断してから、電気配線の分離 / 接続を行ってください。</p> <p>電源をオンにすると、コントローラの電気部品は通電状態になります。通電状態の電気部品と物理的に接触すると、感電する可能性があります。</p>
注意 電気。機器に損傷をもたらす恐れがあります。	
	<p>機器を停止させて電源を切断してから、電気配線の分離 / 接続を行ってください。</p> <p>電源をオンにすると、機器の電気部品は通電状態になります。電気の接続を誤ると、機器が損傷する恐れがあります。</p>

下の画像は、プリントヘッドをコントローラに接続する方法を示したものです。



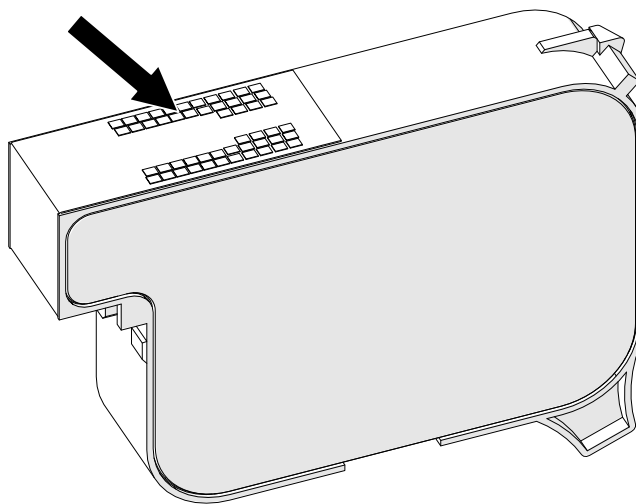
インクカートリッジの取り付け

警告 有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。	
	<p>プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。</p> <p>化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。安全データシートを参照してください。</p>
注意 損傷しやすい電気接続部。 機器損傷のおそれ。	
	<p>カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。</p> <p>カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。</p>

インクカートリッジを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. 保護カバーをインクカートリッジから取り外します。
2. カートリッジが新しい場合は、電気接続部をエタノールを含浸させた布巾で拭き、腐食防止コーティングを除去します。

注記 クリーニング用布巾の部品番号は EPT039697 です



3. 新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用し、45度の角度でインクカートリッジのノズルを拭きます。

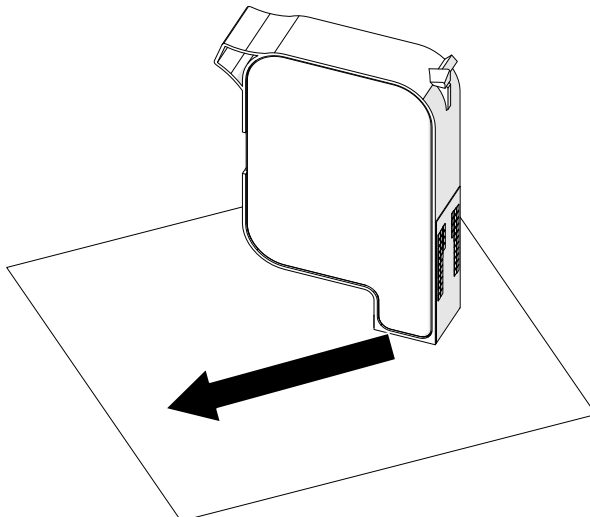
注記 角度を45度にすると、特定ノズルの残骸などにより隣のノズルが汚れるのを防止できます。

注意 繊細な機器。機器損傷のおそれ。



カートリッジのノズルを清掃する際に、エタノールまたはその他化学物質を含む布巾を使用しないでください。

新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用してください。化学物質を使ってカートリッジをクリーニングすると、ノズルが損傷するおそれがあります。



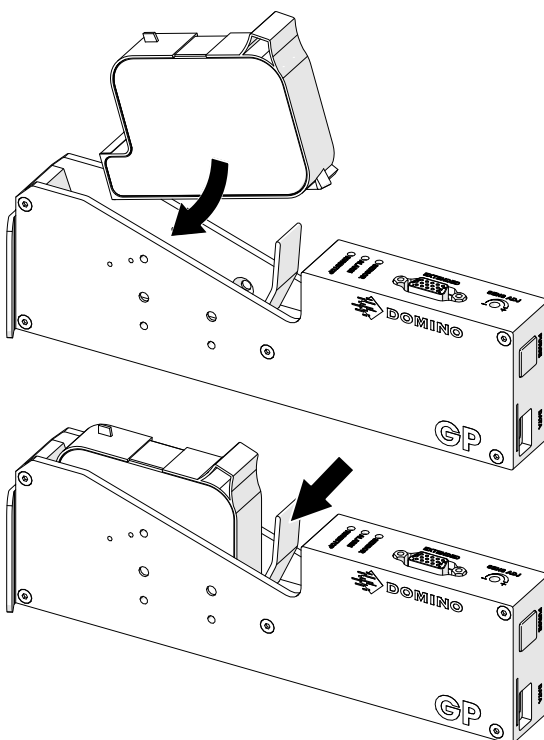
4. インクカートリッジをプリントヘッドに差し込み、プリントヘッドラッチを閉じます。

注意 損傷しやすい電気接続部。機器損傷のおそれ。

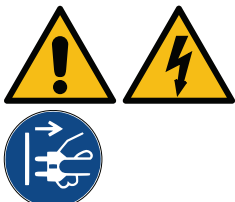



カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。

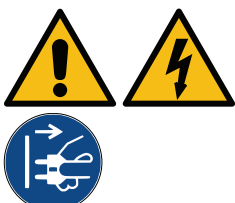
カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。



コントローラの電源供給

警告 電気。傷害のおそれがあります。	
	<p>機器を停止させて電源を切断してから、電気配線の分離 / 接続を行ってください。</p> <p>電源をオンにすると、コントローラの電気部品は通電状態になります。通電状態の電気部品と物理的に接触すると、感電する可能性があります。</p>

警告 障害物の危険性。怪我をする恐れがあります。	
	<p>機器、ケーブル、コンジット、または付属品を通路や障害物の危険性がある場所に設置しないでください。</p> <p>機器、ケーブル、コンジット、または付属品を通路や障害物の危険性がある場所に設置すると、怪我をする恐れがあります。</p>

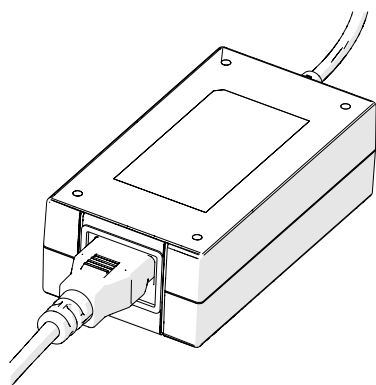
注意 電気。機器に損傷をもたらす恐れがあります。	
	<p>機器を停止させて電源を切断してから、電気配線の分離 / 接続を行ってください。</p> <p>電源をオンにすると、機器の電気部品は通電状態になります。</p> <p>電気の接続を誤ると、機器が損傷する恐れがあります。</p>

適切なプラグとソケットを使用して、コントローラと電源アダプタを電源に接続します。すぐに切断できるように、電源が機器に近くアクセスしやすい場所にあることを確認してください。ヒューズ付きの電源コネクタを使用する場合は、5 A のヒューズを取り付けてください。ヒューズ電源コネクタを使用していない場合は、定格 5A の遮断器またはヒューズが必要です。

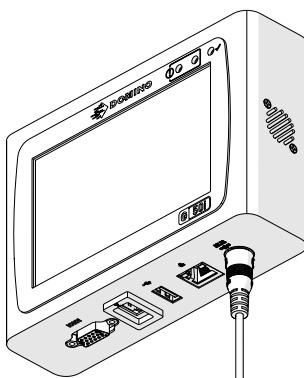
電気ノイズのない電源を使用する必要があります。問題なく操作を行えるように、弊社は最適な装置に関するアドバイスを提供いたします。

以下に示す電源アダプタのみを使用してください。

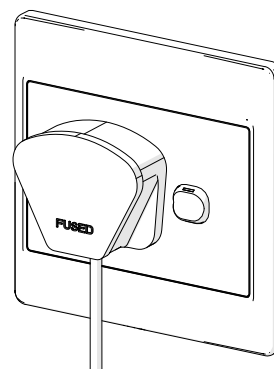
- 製造者: MEAN WELL ENTERPRISES CO.LTD
- モデル: GST60A24



アダプタを設定



アダプタをコントローラに接続

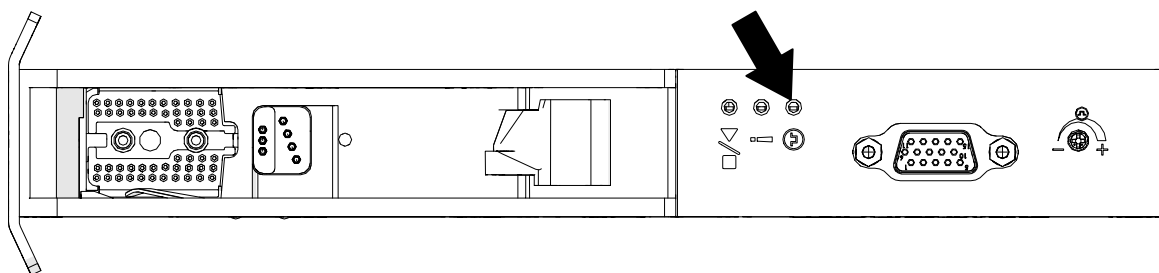


アダプタを壁のコンセントに接続

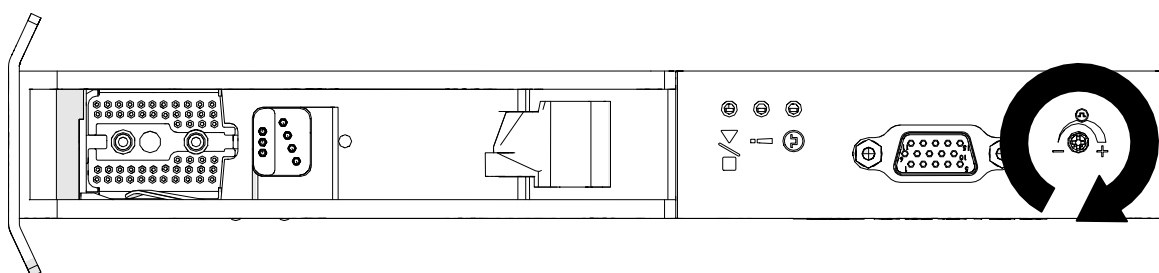
プリントヘッド製品検出センサキャリブレーション

プリントヘッド内部にある製品検出センサをキャリブレーションするには次の手順に従います。

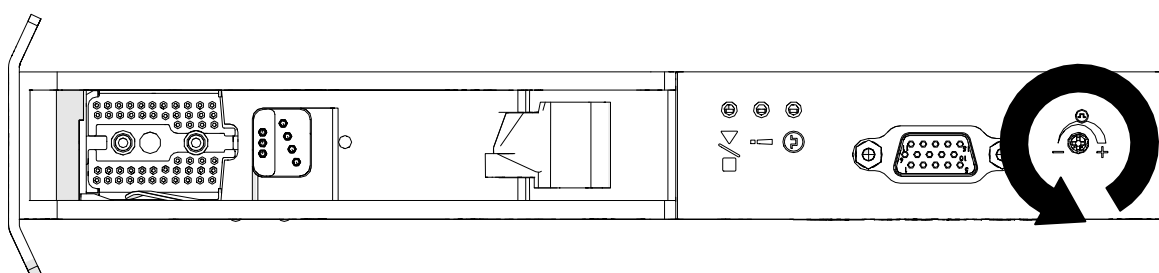
1. 印字面または箱をプリントヘッドの前に配置し、製品検出センサを覆います。
2. すると、センサがトリガされたことを示すプリントヘッドのセンサ LED が点灯するはずで
す。



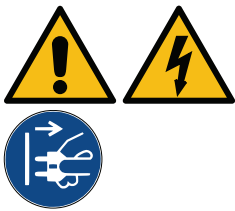
3. センサ LED が点灯しない場合、小型のドライバを使用して、センサ LED が点灯するまでプ
リントヘッドの調整ネジを時計回りに回転させます。

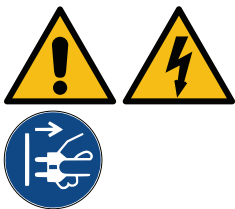


4. プリントヘッドの前に配置した印字面または箱を取り除きます。
5. センサ LED が消灯します。センサ LED が消灯しない場合、LED が消灯するまで調整ネジを
反時計回りに回転させます。



外部デバイスの接続

警告 電気。傷害のおそれがあります。	
	<p>機器を停止させて電源を切断してから、電気配線の分離 / 接続を行ってください。</p> <p>電源をオンにすると、コントローラの電気部品は通電状態になります。通電状態の電気部品と物理的に接触すると、感電する可能性があります。</p>

注意 電気。機器に損傷をもたらす恐れがあります。	
	<p>機器を停止させて電源を切断してから、電気配線の分離 / 接続を行ってください。</p> <p>電源をオンにすると、機器の電気部品は通電状態になります。電気の接続を誤ると、機器が損傷する恐れがあります。</p>

プリンタは、外部製品検出センサ、シャフトエンコーダ、および警報ビーコンと同時に動作できます。

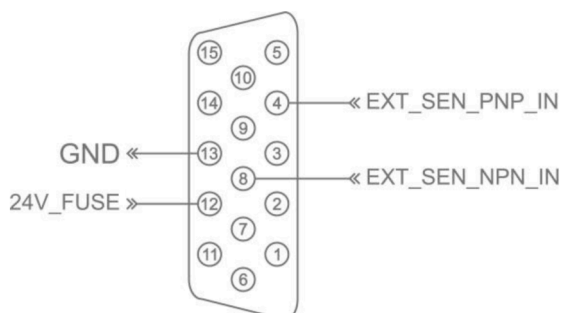
オス、15ピン、高密度、Dプラグを使用して、コントローラのIOソケットに接続します。

外部製品検出センサ

プリンタは、NPN 接続および PNP 接続をサポートしています。

センサは、プリンタのIOソケットから電源を供給します。

製品検出センサを接続した後に、プリンタ設定を定義する必要があります。Print Mode - Continuous、および[印字トリガ - センサ ページ 67](#)を参照してください。



番号	値
12	24 V DC 電源出力。 3 A のヒューズで保護されています。 最大出力電流: 1.5 A
13	アース

設置

番号	値
4	PNP 接続用の外部製品検出センサ入力。 入力が「high」の場合は、アクティブになります。 この入力を使用するには、入力信号のアースをプリンタの IO ソケットのアースに接続します。
8	NPN 接続用の外部製品検出センサ入力。 入力が「low」の場合は、アクティブになります。 この入力を使用するには、入力信号のアースをプリンタの IO ソケットのアースに接続します。

外部シャフトエンコーダ

製造ラインの速度を測定するには、外部シャフトエンコーダを使用することをお勧めします。外部シャフトエンコーダを使用すると、印字品質を最適化することができます。

NPN シャフトエンコーダのみを使用します。

以下の計算式を使用し、シャフトエンコーダのホイールの直径を算出します。

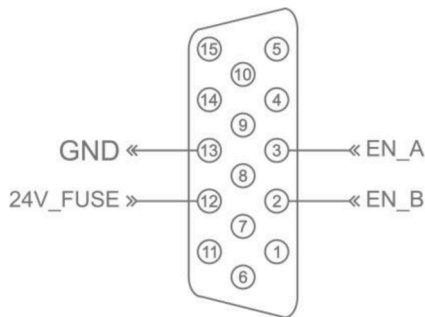
D = エンコーダのホイールの直径 (インチ)

R = エンコーダ PPR (1 回転あたりのパルス数)

$$D = R / (\pi \times 600)$$

たとえば、エンコーダの解像度 (R) が 3600 PPR の場合、エンコーダのホイールの直径は、1.90985 インチ (48.5 mm) になります。

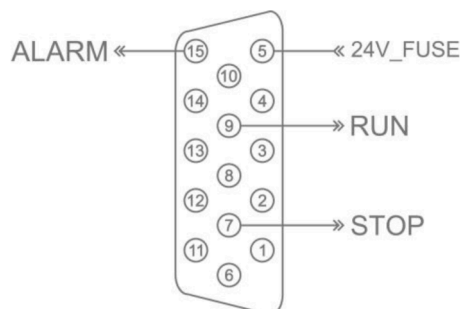
エンコーダ設定を設定するには、[エンコーダ入力 - 外部 ページ 65](#) を参照してください。



番号	値
12	24 V DC 電源出力。 3 A のヒューズで保護されています。 最大出力電流: 1.5 A
13	アース
2	シャフトエンコーダ入力 B。
3	シャフトエンコーダ入力 A。

警報ビーコン

警報ビーコンを接続すると、ユーザーはプリンタの状態を遠隔で監視することができます。

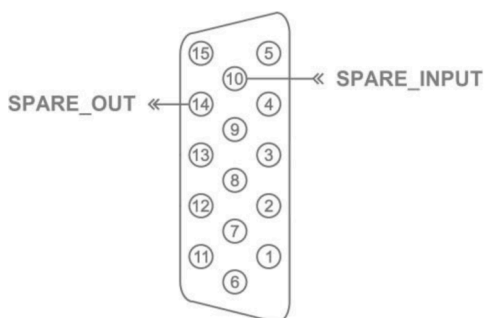


番号	値	説明
5	24 V	24 V DC 電源出力。 3 A のヒューズで保護されています。 最大出力電流: 1.5 A
7	STOP	赤のビーコンライトを有効にするための出力。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。 この出力がアクティブになっている場合は、プリンタは以下のいずれかの理由で印字を停止しています。 <ul style="list-style-type: none"> • インクカートリッジなし • 無効なインクカートリッジ • 空のインクカートリッジ • 制限速度 • VDC / リアルタイム印字速度のオーバーロード
9	RUN	緑のビーコンライトを有効にするための出力。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。 この出力は、以下のいずれかの理由が発生した場合にアクティブになります。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーが「印字」ボタンを選択した場合。 • プリンタが問題なく印字している場合。
15	ALARM	緑のビーコンライトを有効にするための出力。 アクティブロー、オープンドレイン出力。 47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。 この出力は、プリンタに問題がある場合にアクティブになります。 ただし、印字は可能です。たとえば、インクレベルが低下している場合などです。

IO 接続

プリンタは、印字を完了すると出力信号を送ることができます。

出力信号設定については [IO 信号 ページ 81] をご覧ください。



#	値	説明
10	予備入力	<p>注記 この入力、この取扱説明書の発行時点では使用できません。 現行バージョン (1.0.3.0) のソフトウェアはこの入力をサポートしていませんが、今後リリースされるバージョンのソフトウェアではこの入力の使用が可能になる見込みです。</p> <p>アクティブロー、47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。</p> <p>この入力を使用するには、入力信号のアースをプリンタの IO ソケットのアースに接続します。</p>
14	予備出力	<p>アクティブロー、オープンドレイン出力。</p> <p>47 K Ohm の内部プルアップ抵抗を +24 V に接続。</p>

プリントヘッド設定

プリントヘッド設定を表示するには、ホーム画面から [設定] アイコンを選択します。

印字品質

印字品質設定を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。
2. 以下に掲げる印字品質設定を調整できます。



設定名	説明
解像度	<p>印字解像度を設定します。600x600、600x300、600x200、600x150、600x120、600x100、300x600、300x300、300x200、300x150、300x120、300x100、150x600、150x300、150x200、150x150、150x120、150x100 dpi</p> <p>解像度によって最大印字速度が変わります。詳しくは [印字速度表] をご覧ください。</p>
チャンネル	<p>印字に使用するインクカートリッジの面を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ODD (奇数): ODD 側のノズルが、印字のみに使用されます。 • EVEN (偶数): EVEN 側のノズルが、印字のみに使用されます。 <p>注記 600dpi の解像度を使用すると、ノズルの両側が一緒に印字されます。</p>
方向	<p>プリントヘッドの印字方向を以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 左から右 (L2R) • 左から右に反転 (L2RR) • 右から左 (R2L) • 右から左に反転 (R2LR)

調整

プリントヘッドのアライメント設定を表示するには次の手順に従います。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。
2. 以下に掲げるアライメント設定を調整できます。



設定名	説明
前方オフセット (mm)	製品検出センサがトリガされた場所と印字が行われる場所との間の距離を設定します。
センサを無効にする (mm)	製品検出センサがトリガされた後に、製品検出センサを無効にする距離を設定します。 この設定は、製品への複数の印字を防止することを目的としています。
固定長 (mm)	注記 この設定は、[センサモード] で [繰り返し回数] の設定が 0 以外の場合に使用されます。 2 枚の繰り返し印字間距離を設定します。
後方オフセット (mm)	注記 この設定は、「両方向」モードが有効な場合に使用されます。詳しくは [両方向 ページ 68] をご覧ください。 製品検出センサがトリガされた場所と印字が行われる場所との間の 2 番目の印字の距離を設定します。

システム設定

システム設定を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [システム設定] アイコンを選択します:



エンコーダ入力 - 内部

内部エンコーダで一定の印字速度を設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [システム設定] アイコンを選択します:



3. [エンコーダ入力] 設定を [内部] に設定します。
4. 速度 (m / 分) 設定を調整します。

エンコーダ入力 - 外部

このオプションを使用し、シャフトエンコーダで製造ラインの速度を測定することができます。このオプションを使用するには、シャフトエンコーダをコントローラに接続する必要があります。[外部シャフトエンコーダ ページ 59](#) を参照してください。

設定が正しくないと、印字品質に影響が出る場合があります。

製造ラインの速度を測定するために外部シャフトエンコーダを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [システム設定] アイコンを選択します:



3. [エンコーダ入力] 設定を [外部] に設定します。
4. 以下に示す設定を行います。

設定名	説明
パルス / 回転	シャフトエンコーダが 1 回転ごとに出力するパルス数を入力します。 デフォルト値: 3600
直径 (mm)	シャフトエンコーダのホイールの直径を入力します。 デフォルト値: 48.51 mm
エンコーダを再開	エンコーダの回転方向を選択します。 デフォルト値: 自動。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動 (いずれの方向も有効) • 時計回り • 反時計回り

印字トリガ - 連続

連続印字トリガモードは、多くの場合、巻き取り、パイプ、またはロール印字アプリケーション (センサマークなし) で使用されます。

連続印字トリガモードは、以下に示す異なる 3 つの方法で設定できます。

- 製品検出センサを使用することなくプリンタを動作させることができます。
- 製品検出センサからの信号で、印字処理の実行の開始をトリガできます。印字は、[運転停止] アイコンを押すまで続行されます。
- 製品検出センサからの継続的にアクティブな信号を許可し、連続での印字をアクティブな状態に保つことができます。製品検出センサの信号が停止するまで、印字は続行されます。

連続印字トリガモードを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [システム設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. [印字トリガ] を [連続] に設定します。

4. 次のの中からセンサモードを選択します。

内部	プリントヘッドに内蔵された製品検出センサを使用し、印字をトリガします。
外部	IO ソケットに接続されている外付の製品検出センサを使用し、印字をトリガします。

5. 次のの中から連続モードを選択します。

即時	ホーム画面の [運転開始] アイコンを押すとすぐに、連続で印字が開始されます。[運転停止] アイコンを押すと、印字は停止します。 このモードを選択する場合、製品検出センサは必要ありません。
レベル	プリンタが製品検出センサから継続的にアクティブな信号を受信すると、連続で印字が開始されます。製品検出センサの信号が停止すると、印字は停止します。
最初のトリガ	製品検出センサの信号を使用し、製造ライン実行の最初の印字をトリガします。最初の製品検出センサの信号の後、印字は継続されます。ホーム画面の [運転停止] アイコンを押すと、印字を停止します。

6. [連続モード] が [レベル] に設定されている場合は、次のの中から [レベルモード] を選択します。

データを無視	センサがアクティブな状態の場合は、最初の印字から同じデータが連続して印字されます。新しいデータは無視されます。
データを保持	センサがアクティブな場合、各ラベル内に新規データが印字されます。

印字トリガ - センサ

センサ印字トリガモードは、以下に示す異なる 2 つの方法で設定できます。

- プリントヘッドに内蔵された製品検出センサを使用し、印字をトリガします。
- IO ソケットに接続されている外付の製品検出センサを使用し、印字をトリガします。

1 回の印字トリガで、1 つまたは複数の印字の開始をトリガできます。

センサ印字トリガモードを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [システム設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. [印字トリガ] を [センサ] に設定します。
4. 次の中からセンサモードを選択します。

内部	プリントヘッドに内蔵された製品検出センサを使用し、印字をトリガします。
外部	IO ソケットに接続されている外付の製品検出センサを使用し、印字をトリガします。

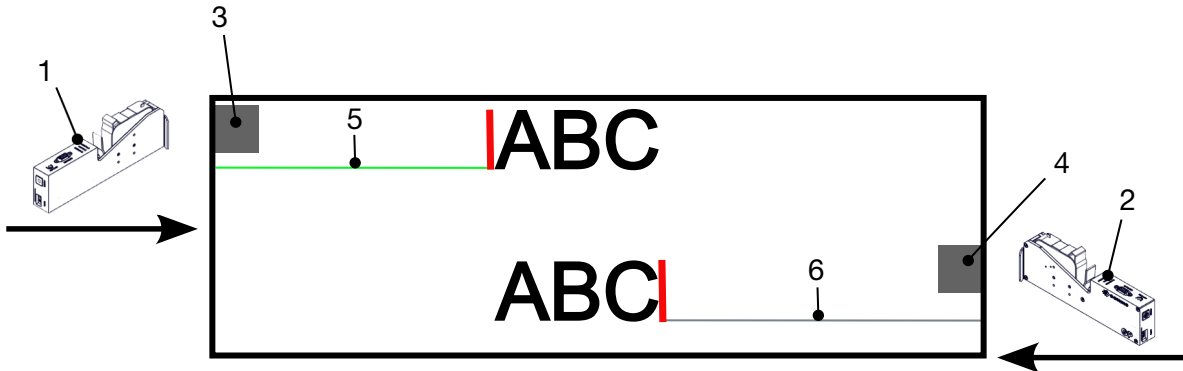
5. [リピートセンサ] の値を設定します。この設定は各印字トリガの実行後に、印字処理の繰り返し回数を定義します。たとえば、[リピートセンサ] が [1] に設定されていると、印字トリガの実行後に 1 回の印字が実行されます。[リピートセンサ] が [2] に設定されていると、1 回の印字が実行されてから印字トリガの実行後に 1 回の印字が繰り返されます。

両方向

双方向の印字では、印字方向を「左から右」、「右から左」に変更できます。



[前方オフセット (mm)] 設定 [5] を使用して、「左から右」の印字位置に設定します。詳しくは [調整 ページ 63] をご覧ください。

[後方オフセット (mm)] 設定 [6] を使用して、「右から左」の印字位置に設定します。詳しくは [調整 ページ 63] をご覧ください。



#	説明
1	プリントヘッド / 製造ラインの方向 (左から右)。
2	プリントヘッド / 製造ラインの方向 (右から左)。
3	センサマーク 1
4	センサマーク 2
5	前方オフセット (mm) 設定
6	後方オフセット (mm) 設定

両方向モードを有効にするには、以下の手順を実行します。



1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。 
2. [システム設定] アイコンを選択し、次のように操作します。 
3. [双方向] を ON にします。
4. [階数] の値を調整し、印字方向が変更されるまでに実行する印字処理の回数を設定します。

自動切り替えチャンネル

注記 [高速] が有効になっている場合、この設定は使用できません。

この設定により、印字に使用されるノズル列が自動的に変更されます。

自動切り替えチャンネルを有効にして設定するには、以下の手順を実行します。



1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します: 
2. [システム設定] アイコンを選択します: 
3. [自動切り替えチャンネル] を有効にします。
4. チャンネルごとの印字の値を調整すると、反対側の面に切り替えるまでに片方の面に実行する印字処理の回数を設定できます (範囲: 2-255)。

高速

注記 この設定を有効にすると、自動切り替えチャンネルが無効になります。

高速を選択すると、プリンタは高速の解像度で印字できるようになります。この設定が有効になっている場合、通常の解像度に比べて印字速度を2倍にすることができます。

高速を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します: 
2. [システム設定] アイコンを選択します: 
3. [高速] を有効にします。

静的画像の印字

ラベルテンプレートを静的画像として印字すると、印字パフォーマンスを向上させることができます。

静的画像の印字を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [システム設定] アイコンを選択します:



3. [静的画像を印字] を有効にします。

傾斜角度

印字を特定の角度に傾けることができます。これにより、印字面に対しておおよそ 90° の角度でプリントヘッドを取り付けることができます。

傾斜角度を有効にして調整するには、下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [システム設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. [傾斜角度] を ON にします。
4. 角度 (°) の値 (範囲: -25 ~ 25) を調整します。

自動ジェット (ノズルのパーズ)

自動ジェットは、速乾性インクを使用する場合や、高温な環境や汚れの激しい環境で使用することを目的としています。製造ラインが一時停止してから再開する際、ノズル内でインクが乾燥して印字不良が発生するのを防ぐように設計されています。

自動ジェットが行われると、カートリッジのノズルからごく少量のインクが排出されます。またこの実行中には、プリントヘッド付近の部品にインクが付着する場合があります。

- 注記
1. この機能を常に有効にして高い印字品質を維持することをお勧めします。
 2. [タイマ (秒)] の推奨値は、15 秒から 20 秒の間です。
 3. 自動ジェット機能は、印字中および印字中でない場合に実行されます。
 4. 自動ジェット機能は、パーズ機能とは異なります。自動ジェット機能は、定期的に自動的にノズルのパーズを行います。パーズは手動による機能です。

自動ジェットを有効にして設定するには、下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [システム設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. [自動ジェット] を ON にします。
4. [タイマ (秒)] の値を調整し、各自動ジェットパーズの間隔を秒単位で設定します。
5. [列数] 値を調整すると、パーズを行う列の数を設定できます。

リアルタイム

この設定を有効にすると、ラベルテンプレートはエンコードされ、データはリアルタイムでプリントヘッドに送信されます。

デフォルトのリセット時間の値は1秒です。これは、データが1秒に1回更新されることを意味します。リセット時間の値は秒単位で設定します。この設定の範囲は1秒から60秒です。

リアルタイムを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [システム設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. [リアルタイム] を ON にします。

4. リセット時間 (秒) の設定を調整すると、データが更新される頻度を秒単位で設定できます。

高度な設定

高度な設定を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



表示設定

表示設定を設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. 以下の設定をオンまたはオフのいずれかにします。

設定名	説明
印字を記憶する	この設定が有効になっている場合、印字を開始すると、前のラベルテンプレートが使用され、カウンタは前の値から継続されます。
印字データを表示	この設定を有効にすると、データベースから印字されたデータがホーム画面に表示されます。
ライブプレビュー	この設定を有効にすると、印字のプレビュー画像がホーム画面に表示されます。

ユーザーモード (セキュリティ)

ユーザー名とパスワードを使用してプリンタにログインするようユーザーに強制するには、この機能を有効にします。

この機能を有効にすると、管理者レベルのユーザーは次のことを実行できます。

- 新規ユーザーの作成
- ユーザーのアクセス許可とパスワードの編集
- ユーザーのロック
- ユーザーの削除

ユーザーモードを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. [ユーザーモード] を有効にします。

4. プリンタを再起動します。

5. プリンタが起動したら、以下のデフォルトの管理者ユーザー名とパスワードを使用してログインします。

ユーザー名	管理者
パスワード	admin@2021

パスワード変更

すべてのユーザーは、ユーザーがログインしているときに、自分のパスワードを変更できます。

パスワードを忘れた場合、管理者レベルのユーザーは他のユーザーのパスワードを変更できます。[ユーザーの編集 ページ 77](#) を参照してください。

管理者レベルのパスワードを忘れた場合は、最寄りの Domino サポートオフィスにお問い合わせでプリンタのロック解除を依頼してください。

ログインしているユーザーのパスワードを変更するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[ユーザー] アイコンを選択します:



2. [パスワードを変更] を選択します。
3. 現在のパスワードを入力します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを確認します。
6. [OK] を選択します。

ログアウト

ログアウトするには、以下の手順を実行します。

1. ユーザーインターフェースの右下隅にあるユーザー名を選択します。
2. [ログアウト] を選択します。
3. [はい] を選択します。

ユーザーの作成

ユーザーモードが有効になっている場合、管理者レベルのユーザーは新規ユーザーを作成できません。

新規ユーザーを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 管理者レベルのユーザーとしてログインします。

2. ホーム画面で、[ユーザー] アイコンを選択します:



3. [ユーザーとアクセス許可] タブを選択します。

4. [ユーザーを作成] アイコンを選択します:



5. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
ユーザー名	<p>新しいユーザー名を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前は文字で始まる必要があります。 • 名前の長さ: 6 ~ 100 文字 • 有効な文字: 英数字、終止符 (ピリオド) 記号
ユーザーレベル	<p>ユーザーレベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理者 • スーパーバイザー • テクニカル • オペレータ
パスワード	新規ユーザーのパスワードを入力します。
パスワード確認	新規ユーザーのパスワードを確認します。
許可	<p>新規ユーザーが実行できるタスクを表示します。</p> <p>ユーザーのアクセス許可を変更するには、[ユーザーレベル] 設定を変更します。</p>

6. [作成] を選択します。

ユーザーの編集

ユーザーモードが有効になっている場合、管理者レベルのユーザーのアカウントを編集できます。ユーザーを編集するには、以下の手順を実行します。

1. 管理者レベルのユーザーとしてログインします。

2. ホーム画面で、[ユーザー] アイコンを選択します:



3. [ユーザーとアクセス許可] タブを選択します。

4. [ユーザーを編集] アイコンを選択します:



5. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
ユーザーレベル	ユーザーレベルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 管理者 • スーパーバイザー • テクニカル • オペレータ
パスワード変更	パスワードとパスワード確認設定を表示します。
パスワード	ユーザーのパスワードを変更します。
パスワード確認	ユーザーの新しいパスワードを確認します。
許可	ユーザーが実行できるタスクを表示します。 ユーザーのアクセス許可を変更するには、[ユーザーレベル] 設定を変更します。

6. [保存] を選択します。

ユーザーのロック

ユーザーモードが有効になっている場合、管理者レベルのユーザーは他のユーザーのアカウントをロック/ロック解除することができます。ユーザーアカウントがロックされている場合、管理者レベルのユーザーがアカウントのロック解除をするまでユーザーはログインできません。

ユーザーをロック/ロック解除するには、以下の手順を実行します。

1. 管理者レベルのユーザーとしてログインします。

2. ホーム画面で、[ユーザー] アイコンを選択します:



3. [ユーザーとアクセス許可] タブを選択します。

4. アイコンを選択して、ユーザーをロックまたはロック解除します。

	ユーザーがロックされており、ユーザーをロック解除する場合に選択します。
	ユーザーがロック解除されており、ユーザーをロックする場合に選択します。

5. [OK] を選択します。

ユーザーを削除する

ユーザーモードが有効になっている場合、管理者レベルのユーザーは他のユーザーを削除できません。

ユーザーを削除するには、以下の手順を実行します。

1. 管理者レベルのユーザーとしてログインします。

2. ホーム画面で、[ユーザー] アイコンを選択します:



3. [ユーザーとアクセス許可] タブを選択します。

4. [ユーザーを削除] アイコンを選択します:



5. [はい] を選択します。

リモート

この設定を使用すると、PC、ラップトップ、タブレット、またはモバイルデバイス (スマートフォン) の Web ブラウザから遠隔でプリンタに接続することができます。

リモートを有効にするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. [リモート] を有効にします。

4. この設定を有効にした後に、プリンタのネットワークの設定を行うには、[ネットワーク設定 ページ 93](#) を参照してください。

高品質

この設定を有効にすると、印字されるラベルの濃度が 30% 増加します。

高品質を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. [高品質] を有効にします。

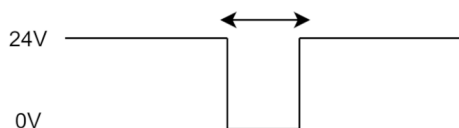
IO 信号

印字が完了した後に送信される出力信号のパルス幅を調整するには、この機能を有効にします。

出力がアクティブではない場合、信号は「high」(24 V)です。

出力がアクティブな場合、信号は「low」(0 V)です。

IO 信号のパルス幅は、次の図に示されています。



IO 信号を有効にして出力パルス幅を調整するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. [IO 信号] を有効にします。

4. 出力パルス幅 (ms) の値を調整すると、出力幅をミリ秒単位で設定できます。

バックアップと復元

プリンタの設定を USB メモリにバックアップおよび復元できます。

また、プリンタを工場出荷時のデフォルト設定に復元することもできます。

バックアップを使用して設定を復元するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. 以下の表に記載されているオプションのいずれかを選択します。

設定	説明
バックアップ	<p>注記 このオプションを選択する前に、USB メモリデバイスを接続します。</p> <p>プリンタの設定を接続されている USB メモリデバイスにバックアップします。</p>
復元	<p>注記 このオプションを選択する前に、復元する設定が保存されている USB メモリデバイスを接続します。</p> <p>プリンタの設定を接続した USB メモリから復元します。</p>
工場出荷時のデフォルト設定にリセット	プリンタを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

共通

共通設定では、プリンタの言語、キーボードレイアウト、クロックを構成します。共通設定には、ラベルテンプレートの作成時に使用されるいくつかの基本的なデフォルトの構成も含まれています。

共通設定を設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [高度な設定] アイコンを選択します:



3. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
フォント名	ラベルテンプレートオブジェクトのデフォルトのフォントを設定します。
フォントサイズ	ラベルテンプレートオブジェクトのデフォルトのフォントサイズを設定します。
単位	デフォルトの長さ単位システムを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ミリメートル • センチメートル • インチ
基本通貨	デフォルトの通貨を設定します。
言語	ユーザーインターフェース言語を設定します。
範囲	言語 / 地域の日付 / 時間を設定します。
標準桁数	連番フォントの種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ラテン語 • アラビア語
キーボードレイアウト	ラベルテンプレートデザイナーのキーボードの種類を設定します。
日付	システムの日付と時刻を設定します。
タイムゾーン	システムのタイムゾーンを設定します。
クロックを同期	注記 この機能を使用するには、プリンタがインターネットに接続されている必要があります。 システムクロックをインターネット時刻サーバーと同期します。



印字制御の設定

プリンタ警報が発生した場合、プリンタは以下に示す3つの方法のいずれかの方法で対応することができます。

- 警告のトリガ
- 印字の停止
- 無視する (警告の無視)

ユーザーは、印字制御設定の構成を調整することで、各種の警告に対するプリンタの対応を選択することができます。

印字制御を設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。 
2. [高度な設定] アイコンを選択し、次のように操作します。 
3. [印字制御を設定] を選択します。
4. 以下に示す項目に対する操作を設定します。

名称	説明
制限速度	製造ラインの速度がプリンタの最大速度制限を超えた場合に行う処理を選択します。
データ受信タイムアウト	プリンタが特定の時間内に VDC (可変データ接続) データを受信しない場合に行う処理を選択します。
データ遅延	印字中に印字トリガが発生した場合に行う処理を選択します。
空のデータ	印字がトリガされても、プリンタが可変データを受信していない場合に行う処理を選択します。
カートリッジなし	プリントヘッドにインクカートリッジがない場合に行う処理を選択します。
無効なカートリッジ	インクカートリッジが無効な場合に行う処理を選択します。
カートリッジをロック	インクカートリッジがロックされた場合に行う処理を選択します。
インク残量なし	インクカートリッジが空になった場合に行う処理を選択します。
インク低	インクレベルが低下している場合に行う処理を選択します。

VDC 設定

VDC (可変データ接続) 設定を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [VDC 設定] アイコンを選択します:



VDC (可変データ接続)

VDC (可変データ接続) を使用すると、外部デバイスから送信されたデータに、ラベルの事前に定義された部分 (データベースオブジェクトや動的グラフィックオブジェクト) を取り込むことができます。データは、印字処理が実行される前に、プリンタのメモリ内のバッファキューに格納されます。

VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファ キューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

データは、以下に示すいずれかの方法でプリンタに送信できます。

- TCP/IP
- COM (RS485)
- INPUT
- バーコードスキャナ (USB 経由で接続)

-
- 注記
1. ラベルで VDC データを使用するテキストオブジェクトを作成するには、[VDC データベーステキストオブジェクト ページ 119](#) を参照してください。
 2. ラベルで VDC データを使用するグラフィックオブジェクトを作成するには、[VDC 動的グラフィックオブジェクト ページ 134](#) を参照してください。
-

VDC を有効にして設定するには、下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [VDC 設定] アイコンを選択します:



3. [VDC] を有効にします。

設置

4. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
モード	<p>プリンタがデータを受信したときに行う操作を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべて印字 - 送信者からのすべてのメッセージを印字します。最後のメッセージを印字すると、プリンタは「データなし」の状態になり、新しいデータを待ちます。データがない状態で製品検出センサがトリガされると、プリンタは停止し、エラーが表示されます。 • 最後を印字 - 送信者からの最後のメッセージのみを印字します。 • 最後を印字してリピート - 送信者からの最後のメッセージのみを印字し、新しいメッセージが受信されるまで最後のメッセージを継続して印字します。
データタイプ	<p>VDC データタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • JSON • 生データ • カスタマイズ
接続	<p>以下に示すいずれかの接続方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TCP/IP • COM (RS485) • INPUT • バーコードスキャナ (USB 経由で接続)
応答 VDC データ	<p>VDC データの印字時に送信者に応答を送信するには、この機能を有効にします。</p>
応答 VDC コマンド	<p>VDC データの受信時に送信者に応答を送信するには、この機能を有効にします。</p>
コントローラポート	<p>注記 この設定を使用できるのは、[接続] が [TCP/IP] に設定されている場合のみです。</p> <p>プリンタの通信ポートを選択します。 デフォルト: 2030</p>
COM ポート	<p>注記 この設定を使用できるのは、[接続] が [COM] に設定されている場合のみです。</p> <p>プリンタの通信ポートを選択します。 デフォルト: COM0</p>

設置

名前	説明
データビット	<p>注記 この設定を使用できるのは、[接続]が[COM]に設定されている場合のみです。</p> <p>各文字内のデータビットの数を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4 • 5 • 6 • 7 • 8
パリティ	<p>注記 この設定を使用できるのは、[接続]が[COM]に設定されている場合のみです。</p> <p>送信されるパリティビットのタイプを選択します。</p> <p>パリティビットとは、転送時のエラーを検出するために各データ文字とともに送信される追加のデータビットのことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし - パリティは送信されません。 • 偶数 - パリティビットは常に偶数になります。 • マーク - パリティビットは常に「1」になります。 • 奇数 - パリティビットは常に奇数になります。 • スペース - パリティビットは常に「0」になります。
ボーレート	<p>注記 この設定を使用できるのは、[接続]が[COM]に設定されている場合のみです。</p> <p>プリンタと、プリンタの接続先デバイスとの間のボーレートを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 9600 • 19200 • 38400 • 57600 • 115200
ストップビット	<p>注記 この設定を使用できるのは、[接続]が[COM]に設定されている場合のみです。</p> <p>各文字の最後で送信されるストップビットの数を選択します。ストップビットにより、各文字の最後を検出することができます。</p> <p>1 または 2</p>

ルール

ルール設定は、受信データの処理方法を定義します。利用可能な設定は、選択したデータタイプによって異なります。

JSON データのルール設定

Json または生データのルールを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [VDC 設定] アイコンを選択します:



3. [データタイプ] を [Json] または [Raw] に設定します。
4. [ルール] 設定が表示されるまで下にスクロールします。
5. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
分割文字	データパッケージ内の各データ項目を分割するための文字を選択します。
エンコード	データパッケージのエンコードモードを選択します。

カスタマイズデータのルール設定

カスタマイズデータタイプの場合、ルール設定は、データパッケージの印字される部分を定義します。

印字されるデータの数値バイトをデータパッケージから選択することにより、印字するデータを選択できます。または、文字を使用すると、印字可能なデータの開始と終了をマークできます。

データのバイト

[データタイプ] が [カスタマイズ] の場合に、[データのバイト] オプションを使用して、[ルール] を設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [VDC 設定] アイコンを選択します:



3. [データタイプ] を [カスタマイズ] に設定します。
4. [ルール] 設定が表示されるまで下にスクロールします。
5. [構成] を選択します。
6. [データタイプを取得] を [データのバイト] に設定します。
7. [パッケージの長さ] をデータパッケージのバイト数に設定します。データパッケージがこの長さよりも短い/長い場合、データは受け付けられません。たとえば、以下のデータパッケージでは、[パッケージの長さ] を「16」に設定する必要があります。

データ	S	T	\$	A	B	番号	8	.	6	k	g	\$	C	D	E	N
バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

8. VDC フィールドオプションを使用し、ラベルに印字する可変データオブジェクトの数を設定します。たとえば、ラベルに1つの変数データオブジェクトが含まれる場合は、[VDC1] を選択します。
9. 開始バイト設定と終了バイト設定を使用し、印字するデータパッケージの最初と最後のバイトを選択します。以下に示すデータパッケージの例では、「8.6kg」と印字する場合、開始バイトを6、終了バイトを10に設定します。

データ	S	T	\$	A	B	番号	8	.	6	k	g	\$	C	D	E	N
バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

文字

[データタイプ]が[カスタマイズ]の場合に、[文字] オプションを使用して、[ルール] を設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [VDC 設定] アイコンを選択します:



3. [データタイプ] を [カスタマイズ] に設定します。
4. [ルール] 設定が表示されるまで下にスクロールします。
5. [構成] を選択します。
6. [データタイプを取得] を [文字] に設定します。
7. [パッケージの長さ] をデータパッケージのバイト数に設定します。データパッケージがこの長さよりも短い/長い場合、データは受け付けられません。たとえば、以下のデータパッケージでは、[パッケージの長さ] を「16」に設定する必要があります。

データ	S	T	\$	A	B	番号	8	.	6	k	g	\$	C	D	E	N
バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

8. [プレフィックス] 設定を使用すると、データパッケージの開始をマークする文字を設定できます。たとえば、以下のデータパッケージでは、[プレフィックス] を ST に設定する必要があります。

データ	S	T	\$	A	B	番号	8	.	6	k	g	\$	C	D	E	N
バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

9. [サフィックス] 設定を使用すると、データパッケージの終了をマークする文字を設定できます。たとえば、以下のデータパッケージでは、[サフィックス] を EN に設定する必要があります。

データ	S	T	\$	A	B	番号	8	.	6	k	g	\$	C	D	E	N
バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

10. VDC フィールドオプションを使用し、ラベルに印字する可変データオブジェクトの数を設定します。たとえば、ラベルに1つの変数データオブジェクトが含まれる場合は、[VDC1]のみを選択します。
11. [開始文字] と [終了文字] の設定を使用し、印字可能なデータの開始と終了を定義します。以下に示すデータパッケージの例では、「8.6kg」と印字する場合、[開始文字] を \$AB#、[終了文字] を \$CD に設定します。

データ	S	T	\$	A	B	番号	8	.	6	k	g	\$	C	D	E	N
バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

設置

バイト番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----

モニタ

VDC を使用する場合、この機能を使用すると、ユーザーは速度、プリンタの状態、印字済みページ、プリントヘッドの状態などのリアルタイムのプリンタ情報を取得できます。

モニタを有効にして設定するには、下の手順を実行します。

1. ホーム画面で [設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [VDC 設定] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. [モニタ] を ON にします。

4. 以下に示す設定を調整します。

名称	説明
応答	<p>プリンタ状態要求に対するプリンタの応答方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時限間隔 - ユーザーが指定した時間内に、状態要求に応答します。 • 印字ごと - 印字が実行されると、状態要求に応答します。
間隔の長さ (s)	[応答] が [時限間隔] に設定されている場合は、プリンタが状態要求に応答するまでの制限時間を設定します。

ネットワーク設定

PC、ラップトップ、またはモバイルデバイス (スマートフォン) の Web ブラウザを使用し、ネットワーク経由でプリンタを制御することもできます。これを実行するには、リモート設定を有効にしてください。詳細については、[リモート ページ 79](#) を参照してください。

ネットワーク設定を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [ネットワーク設定] アイコンを選択します:



IP アドレス

プリンタの IP アドレスを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [ネットワーク設定] アイコンを選択します:



3. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
動的	プリンタが接続されたネットワークから IP アドレスを自動的に取得するか、静的 IP アドレスを使用するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • オン - ネットワークから IP アドレスを自動的に取得します。 • オフ - 静的 IP アドレスを設定します。
IP	プリンタの IP アドレス: <ul style="list-style-type: none"> • [動的] が [オフ] の場合は、ネットワーク管理者から IP アドレスを取得します。 • IP アドレスがネットワーク上の他のデバイスと同じ範囲にあることを確認します。 • アドレスがネットワーク上の他のデバイスと競合していないことを確認します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。サブネットマスクは、同じネットワーク上の他のデバイスと一致する必要があります。 デフォルト: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	プリンタが別のネットワーク (またはインターネット) 上のデバイスと通信する必要がある場合は、ネットワークのデフォルトゲートウェイ (ルーター) の IP アドレスを入力します。

4. [保存] を選択します。

DNS サーバーアドレス

DNS (ドメインネームシステム) サーバーアドレスを設定するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [ネットワーク設定] アイコンを選択します:






3. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
動的	プリンタが接続されたネットワークから IP アドレスを自動的に取得するか、静的 IP アドレスを使用するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> オン - ネットワークから IP アドレスを自動的に取得します。 オフ - 静的 IP アドレスを設定します。
優先 DNS サーバー	優先 DNS サーバーアドレスを入力します。
代替 DNS サーバー	代替 DNS サーバーアドレスを入力します。

4. [保存] を選択します。

Web ブラウザ経由でプリンタを制御

Web ブラウザ経由でプリンタを制御するには、以下の手順を実行します。

1. イーサネットケーブルをネットワークからプリンタのイーサネットソケットに接続します。
2. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します: 
3. [高度な設定] アイコンを選択します: 
4. [リモート] を有効にします。
5. [ネットワーク設定] アイコンを選択します: 
6. プリンタのネットワーク設定を行うには、[IP アドレス ページ 93](#) を参照してください。
7. ネットワークに接続されている PC、ラップトップ、タブレット、またはモバイルデバイス (スマートフォン) で Web ブラウザを開きます。
8. プリンタの IP アドレスの後に「:8080」を付けて、アドレスバーに入力します。以下に例を示します。



9. 接続に失敗した場合は、[リモート] 設定をオフ / オンにし、プリンタを再起動します。

省電力設定

省電力設定を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [省電力設定] アイコンを選択します:



モニタ

省電力モニタの設定を表示して編集するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [省電力設定] アイコンを選択します:



3. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
輝度	スライダーバーを使用して画面の明るさを調整します。
省電力	省電力設定を[オン]または[オフ]にします。この設定を有効にすると、[画面を暗くする] および [画面をオフにする] の設定が利用可能になります。
画面を暗くする	何も操作が行われず一定時間が経過すると、電力の節約のために、画面は暗くなります。 画面は 50% 暗くなります。 タッチすると、画面は設定した明るさの値に戻ります。 利用可能な設定を以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 30 秒 • 1 分 • 5 分 • なし
画面をオフにする	何も操作が行われず一定時間が経過すると、電力の節約のために、画面の電源が切れます。 タッチすると、画面は設定した明るさの値に戻ります。 利用可能な設定を以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 10 分 • 30 分 • 1 時間 • なし

言語設定

言語設定を表示して編集するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [言語設定] アイコンを選択します:



言語をインポート

新しい言語をインポートするには、以下の手順を実行します。

1. 言語ファイルを USB メモリデバイスの最上位 (ルートフォルダ) に配置します。
2. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

3. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



4. [言語設定] アイコンを選択します:



5. [インポート] アイコンを選択します:



6. 言語ファイルを選択します。
7. [OK] を選択し、ファイルがインポートされるのを待ちます。

言語をエクスポート

プリンタから言語をエクスポートするには、以下の手順を実行します。

1. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

2. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



3. [言語設定] アイコンを選択します:



4. [エクスポート] アイコンを選択します:



5. 言語ファイルを選択します。

6. 言語ファイルの保存先フォルダを選択します。

7. [OK] を選択し、ファイルがエクスポートされるのを待ちます。

言語の削除

プリンタから言語を削除するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [言語設定] アイコンを選択します:



3. 削除する言語の [削除] アイコンを選択します:



フォント設定

フォント設定を表示して編集するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [フォント設定] アイコンを選択します:



フォントのインポート

新しいフォントをインポートするには、以下の手順を実行します。

1. フォントファイルを USB メモリデバイスの最上位 (ルートフォルダ) に配置します。
2. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

3. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



4. [フォント設定] アイコンを選択します:



5. [インポート] アイコンを選択します:



6. フォントファイルを選択します。

フォントを削除

フォントを削除するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[設定] アイコンを選択します:



2. [フォント設定] アイコンを選択します:





3. 削除するフォントの [削除] アイコンを選択します:



章 4 操作

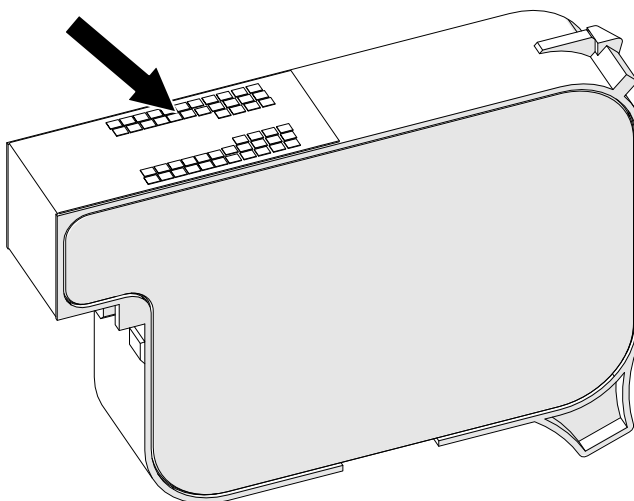
起動

警告 有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。	
	<p>プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。</p> <p>化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。安全データシートを参照してください。</p>
注意 損傷しやすい電気接続部。 機器損傷のおそれ。	
	<p>カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。</p> <p>カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板にある接続部が破損するおそれがあります。</p>

プリンタを起動するには次の手順に従います。

1. 保護カバーをインクカートリッジから取り外します。
2. カートリッジが新しい場合は、電気接続部をエタノールを含浸させた布巾で拭き、腐食防止コーティングを除去します。

注記 クリーニング用布巾の部品番号は EPT039697 です



3. 新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用し、45度の角度でインクカートリッジのノズルを拭きます。

注記 角度を 45 度にすると、特定ノズルの残骸などにより隣のノズルが汚れるのを防止できます。

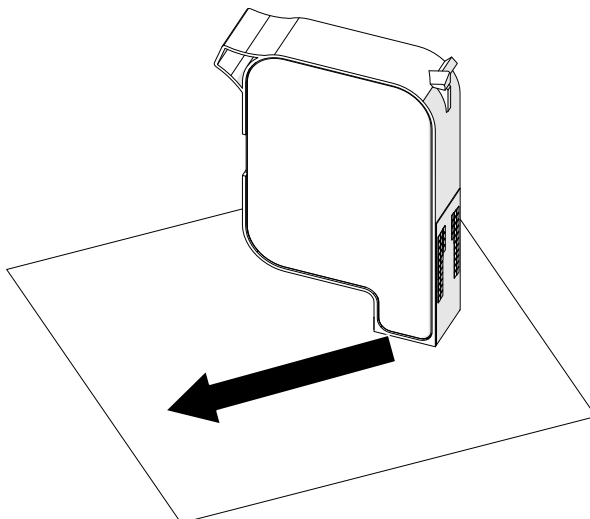
注意

繊細な機器。機器損傷のおそれ。



カートリッジのノズルを清掃する際に、エタノールまたはその他化学物質を含む布巾を使用しないでください。

新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用してください。化学物質を使ってカートリッジをクリーニングすると、ノズルが損傷するおそれがあります。



4. インクカートリッジをプリントヘッドに差し込み、プリントヘッドラッチを閉じます。

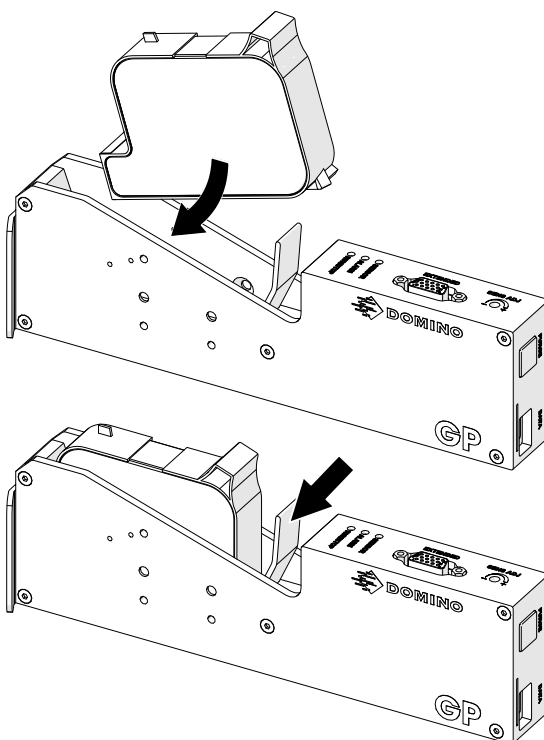
注意

損傷しやすい電気接続部。機器損傷のおそれ。



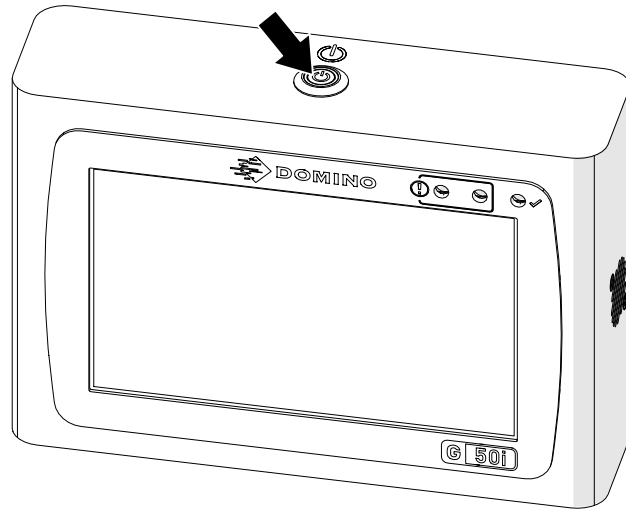
カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。

カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。



操作

5. 下図の [スタンバイ] ボタンを押して、プリンタが起動するのを待ちます。



印字するラベルのロード

プリンタにラベルをロードするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[フォルダ] アイコンを選択します:
2. ロードするラベルテンプレートを選択します。



注記 テンプレートのプレビューが表示されます。

3. [開く] を選択します。

印字の開始

印字を開始するには、[運転開始] アイコンを選択します:



印字の停止

注記

VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

印字を停止するには、[運転停止] アイコンを選択します:



シャットダウン

警告


有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。



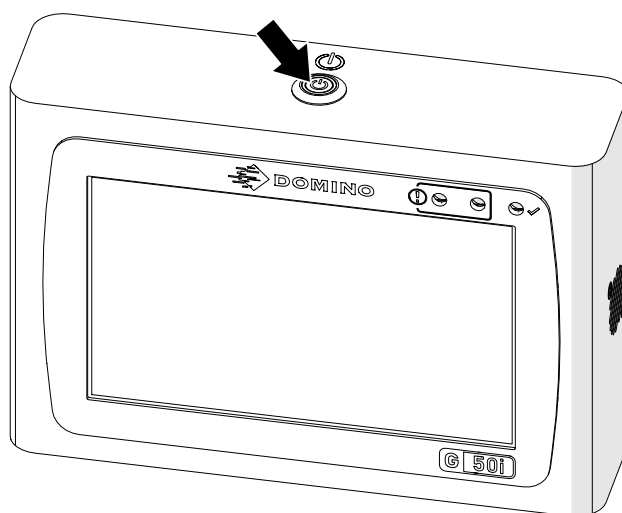
プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。

化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。
安全データシートを参照してください。

プリンタをシャットダウンするには、以下の手順を実行します。

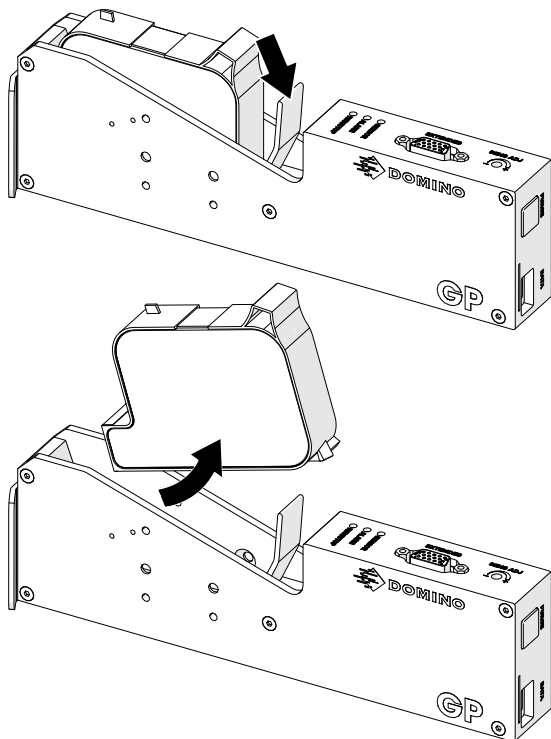
1. ホーム画面で、[スタンバイ] アイコン  を選択し、[シャットダウン] を選択します。または、下図の [スタンバイ] ボタンを 2 秒間長押しします。

注記 [スタンバイ] アイコンを選択したり、[スタンバイ] ボタンを押したりしても、電源から切断されることはありません。



操作

2. ラッチを開いて、インクカートリッジを取り外します。



3. カートリッジのノズルが乾燥しないように、保護カバーをカートリッジに取り付けます。



ラベルテンプレートのデザイン

新しいラベルテンプレートをデザインするには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[デザイン] アイコンを選択し、次のように操作します。



2. [新しいラベルテンプレート] アイコンを選択し、次のように操作します。



3. ラベルテンプレートの [名前] を入力します。
4. ラベルテンプレートの [幅] を入力します。

注記 最大ラベル幅は解像度によって異なります。

最大ラベル幅	解像度
1.387 m	<ul style="list-style-type: none"> • 600x600 DPI • 300x600 DPI • 150x600 DPI
1.5 m	<ul style="list-style-type: none"> • 600x300 DPI • 600x200 DPI • 600x150 DPI • 600x120 DPI • 600x100 DPI • 300x300 DPI • 300x200 DPI • 300x150 DPI • 300x120 DPI • 300x100 DPI • 150x300 DPI • 150x200 DPI • 150x150 DPI • 150x120 DPI • 150x100 DPI

5. [プリントヘッドの種類] を選択し、ラベルと互換性のあるプリントヘッドの種類を選択します。
 - GP
 - EXT
1. [作成] を選択します。

オブジェクトのラベルテンプレートへの追加

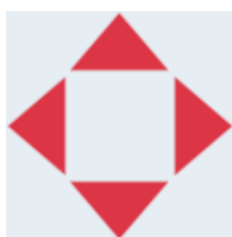
テキストオブジェクトの追加

テキストオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. [オブジェクト] アイコンを選択します:



2. [テキスト] を選択します。
3. 必要なテキストを入力します。
4. [OK] を選択します。
5. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



6. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

7. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。


設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 • 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリー	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。

設定名	説明
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ボールド • 斜体 • 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左 • 中央 • 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

8. キストを変更するには、[テキスト] タブを開きます。

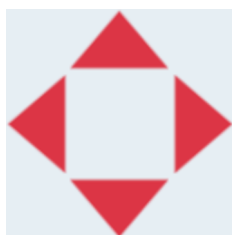
連番オブジェクトの追加


連番オブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. [オブジェクト] アイコンを選択します: 
2. [連番] を選択します。
3. オブジェクトデータを入力します。

名前	説明
開始値	連番オブジェクトの開始値を設定します。
終了値	連番オブジェクトの終了値を設定します。リセット値に到達すると、カウンタの値は開始の値に戻ります。
ステップ値	連番オブジェクトの増分値 / ステップ値を設定します。
繰り返し回数	各連番値が繰り返される回数を設定します。
プレフィックス	連番オブジェクトのプレフィックス値を設定します。
サフィックス	連番オブジェクトのサフィックス値を設定します。
パディング文字	埋め込み文字の数 (範囲: 1 ~ 10) を設定します。
ステップ	カウント方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 上へ • 下へ
標準桁数	数字のタイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ラテン語 • アラビア語
内容	連番オブジェクトのプレビューを表示します。

4. [OK] を選択します。
5. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



6. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します: 

注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

7. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリー	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ボールド 斜体 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 左 中央 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

8. [連番] タブで、以下の設定を使用して連番オブジェクトの設定を変更します。

名前	説明
開始値	連番オブジェクトの開始値を設定します。
終了値	連番オブジェクトの終了値を設定します。リセット値に到達すると、カウンタの値は開始の値に戻ります。
ステップ値	連番オブジェクトの増分値 / ステップ値を設定します。
繰り返し回数	各連番値が繰り返される回数を設定します。
プレフィックス	連番オブジェクトのプレフィックス値を設定します。
サフィックス	連番オブジェクトのサフィックス値を設定します。
パディング文字	埋め込み文字の数 (範囲: 1 ~ 10) を設定します。

操作

名前	説明
ステップ	カウント方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 上へ • 下へ
標準桁数	数字のタイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ラテン語 • アラビア語
内容	連番オブジェクトのプレビューを表示します。

データベースオブジェクトの追加

データベースオブジェクトを使用すると、ラベルの事前に定義された部分(データベースオブジェクト)に別のソースからのデータを入力することができます。

2種類のデータベースオブジェクトを作成できます。

- データベース - プリンタに接続されている USB メモリデバイスに保存されているデータベースファイルを使用します。
- VDC (可変データベース接続) - TCP/IP、COM (RS485)、INPUT、またはバーコードスキャナ (USB 経由で接続) 経由で外部デバイスから送信されるデータを使用します。

データベーステキストオブジェクト

このトピックでは、USB メモリデバイスに保存されているデータベースファイルを使用してデータベースオブジェクトを設定する方法について説明します。

有効なデータベースファイル形式:

- .txt
- .csv

データベースオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. データベースファイルを USB メモリデバイスに保存します。以下の画像は、例として使用する簡易ファイル(.csv)です。

	A	B	C
1	Number	Letter	
2	001	A	
3	002	B	
4	003	C	
5	004	D	
6	005	E	

2. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

3. [オブジェクト] アイコンを選択します:



4. [データベース] を選択します。
5. [データベースをロード] を選択します。

6. 以下に示す設定を行います。

設定名	説明
ファイルタイプ	データベースのファイルタイプを選択します (TXT または CSV)。
エンコード	データベースファイルのエンコードの種類を選択します。
分割文字	データベースファイル内の項目を分割するために使用される文字を選択します。
先頭行のヘッダー	データの最初の行を、ユーザーインターフェースでデータを識別するための見出しとして使用するかどうかを選択します。この設定が有効な場合、データの最初の行は印字されません。

7. [ファイルを選択] アイコンを選択します:



8. D:/ ドライブを開きます:



9. データベースファイルを選択し、チェックアイコンを選択します。

10. [次へ] を選択します。

Load database

File type

CSV
▼

Encoding

65001 - Unicode (UTF-8)
▼

Split char

Comma (,)
▼

First row header

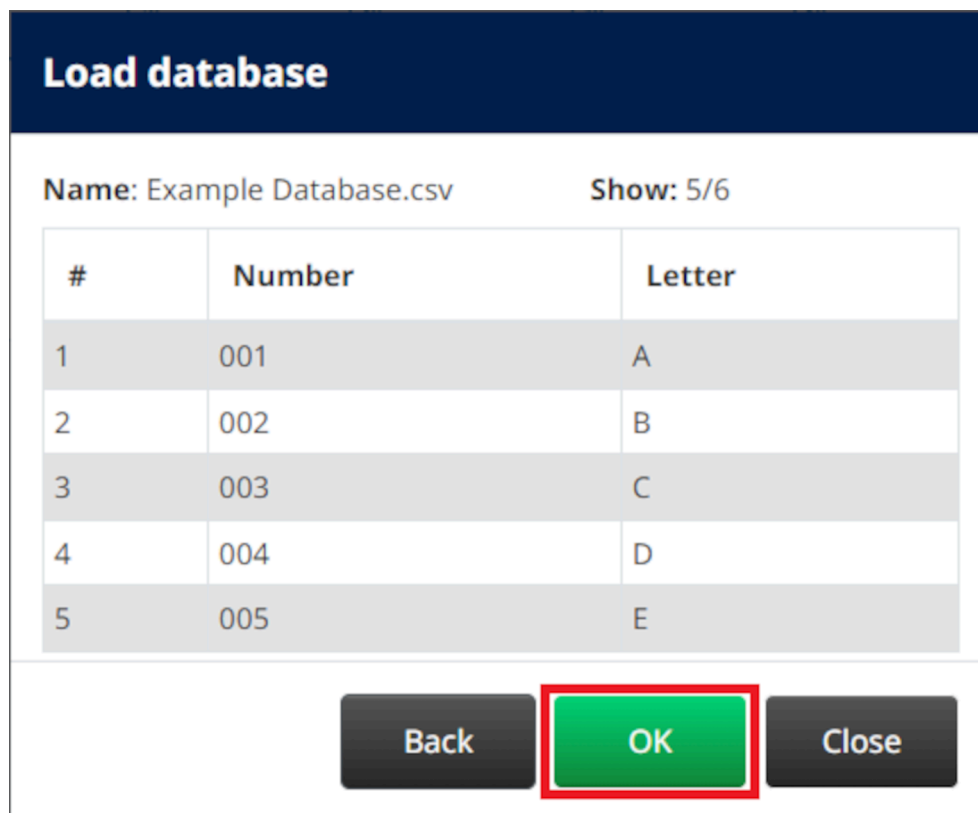
Select file:

Example Database.csv
...

Next

Close

11. データベース内の項目のリストが表示されます。[OK] を選択して続行します。



12. 印字するデータベースフィールドをソースリストから送信先リストに移動するには、矢印アイコンを使用します。

注記 1. ソースリストの項目は印字されません。

2. 以下の例では、データベース項目「数」と「文字」が印字されます。

Database

Remove source

Source		Destination
Datetime	➤	Number
Counter	➤	Letter
Shiftcode	➤	
Number	➤	
Letter	➤	

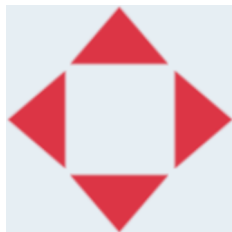
Text

001

OK

Close

13. また、オブジェクト内にテキスト、日時、カウンタ、シフトコードの要素を含めることも可能です。これらの要素を1つ以上含めるには、ソースリストから送信先リストに移動します。必要な要素を送信先リストに移動した後に、それらを選択して要素の設定を調整します。
14. [OK] を選択します。
15. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



16. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

17. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリー	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ボールド 斜体 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 左 中央 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

18. [データベース] タブで、以下の設定を使用してデータベースオブジェクトの設定を変更します。

名前	説明
ソースを削除	注記 データベースソースが選択されている場合に、この設定が表示されます。 オブジェクトを現在のデータベースソースから切断します。これにより、新しいデータベースソースを選択できます。
データベースをロード	接続した USB メモリデバイスからデータベースファイルをロードします。
VDC をロード	可変データベース接続ソースをロードして設定します。
ソース	データベースオブジェクトに追加できる項目の一覧です。項目をデータベースオブジェクトに追加するには、矢印アイコンを使用してアイテムを送信先リストに移動します。

操作


名前	説明
複製先	データベースオブジェクトに追加された項目の一覧です。項目をデータベースオブジェクトから削除するには、矢印アイコンを使用してアイテムをソースリストに移動します。
内容	データベースオブジェクトのプレビューを表示します。

VDC データベーステキストオブジェクト

このトピックでは、別のデバイスへの可変データベース接続を使用してデータベースオブジェクトを設定する方法について説明します。

データベースオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

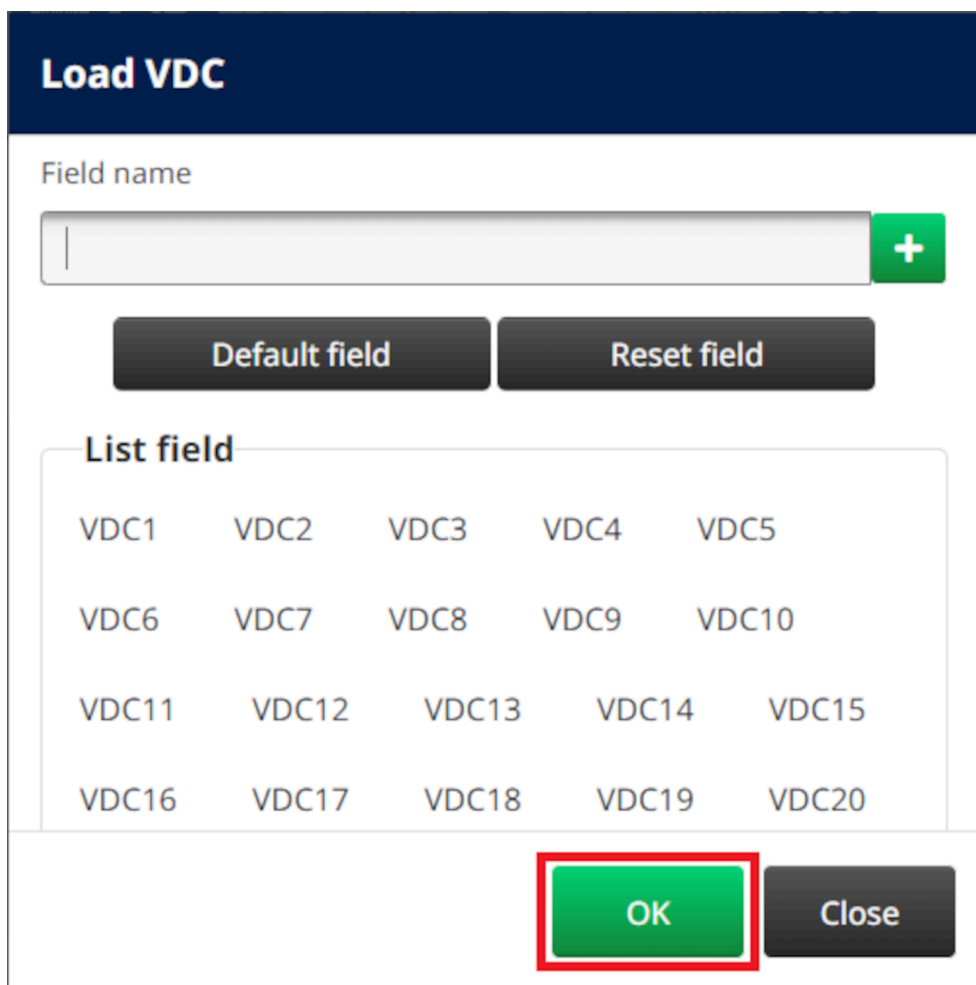
1. プリンタにデータを送信するデバイスへの接続を設定するには、[VDC 設定 ページ 85](#) を参照してください。

2. ラベルテンプレートデザイナーで、[オブジェクト] を選択します: 

3. [データベース] を選択します。

4. [VDC をロード] を選択します。

5. [OK] を選択します。



Load VDC

Field name

+

Default field Reset field

List field

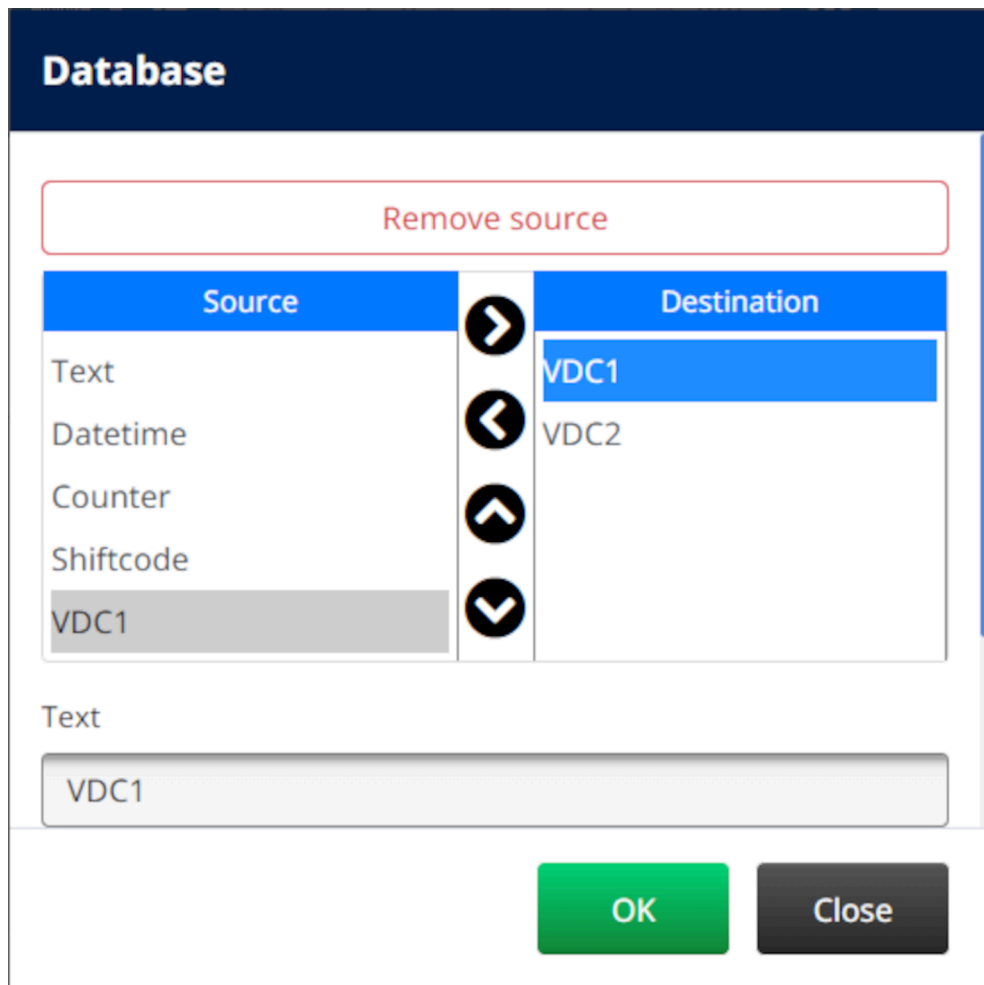
VDC1	VDC2	VDC3	VDC4	VDC5
VDC6	VDC7	VDC8	VDC9	VDC10
VDC11	VDC12	VDC13	VDC14	VDC15
VDC16	VDC17	VDC18	VDC19	VDC20

OK Close

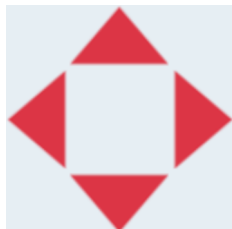
6. 印字するデータベースフィールドをソースリストから送信先リストに移動するには、矢印アイコンを使用します。最大 20 項目の VDC (VDC1 ~ VDC20) を選択できます。

注記 1. ソースリストの項目は印字されません。

2. 以下の例では、VDC1 と VDC2 が印字されます。



7. また、オブジェクト内にテキスト、日時、カウンタ、シフトコードの要素を含めることも可能です。これらの要素を1つ以上含めるには、ソースリストから送信先リストに移動します。必要な要素を送信先リストに移動した後に、それらを選択して要素の設定を調整します。
8. [OK] を選択します。
9. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



10. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

11. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリー	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ボールド 斜体 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 左 中央 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

12. [データベース] タブで、以下の設定を使用してデータベースオブジェクトの設定を変更します。

名前	説明
ソースを削除	注記 データベースソースが選択されている場合に、この設定が表示されます。 オブジェクトを現在のデータベースソースから切断します。これにより、新しいデータベースソースを選択できます。
データベースをロード	接続した USB メモリデバイスからデータベースファイルをロードします。
VDC をロード	可変データベース接続ソースをロードして設定します。
ソース	データベースオブジェクトに追加できる項目の一覧です。項目をデータベースオブジェクトに追加するには、矢印アイコンを使用してアイテムを送信先リストに移動します。

操作

名前	説明
複製先	データベースオブジェクトに追加された項目の一覧です。項目をデータベースオブジェクトから削除するには、矢印アイコンを使用してアイテムをソースリストに移動します。
内容	データベースオブジェクトのプレビューを表示します。

VDC データベーステキストオブジェクトへのデータの入力

注記 VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

VDC データベースオブジェクトにデータを入力するには、以下の手順を実行します。

1. ラベルテンプレートを保存するには、[保存] アイコンを選択します:



2. ホーム画面で、[フォルダ] アイコンを選択します:



3. ロードするラベルテンプレートを選択します。

注記 テンプレートのプレビューが表示されます。

4. [開く] を選択します。

5. 印字を開始するには、[運転開始] アイコンを選択します:



6. 外部デバイスからデータをプリンタに送信します。

7. データはホーム画面の一番下に表示されます。

バーコードオブジェクトの追加

バーコードオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. [オブジェクト] アイコンを選択します:



2. [バーコード] を選択します。

3. オブジェクトデータを入力します。

名前	説明
ソース	バーコードデータタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> テキスト - バーコードデータは静的テキストから生成されます。 カウンタ - バーコードデータはカウンタから生成されます。 日時 - バーコードデータはクロックから生成されます。 シフトコード - バーコードデータはシフトコードから生成されます。 Boxlot - バーコードデータは boxlot カウンタから生成されます。 データベース - バーコードデータはデータベースから生成されます。
バーコードタイプ	バーコードのタイプを選択します。

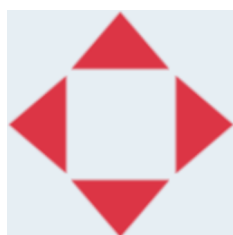
4. [次へ] を選択します。

5. 以下に示すバーコードソースデータを設定します。

ソースの種類	操作
テキスト	バーコードの生成に使用されるテキストを入力してください。
カウンタ	カウンタ設定を行うには、 連番オブジェクトの追加 ページ 110 を参照してください。
日時	クロック設定を行うには、 クロックオブジェクトの追加 ページ 138 を参照してください。
シフトコード	シフトコード設定を行うには、 Add a Shiftcode Object を参照してください。
Boxlot	boxlot カウンタ設定を行うには、 Boxlot オブジェクトの追加 ページ 146 を参照してください。
データベース	データベース設定を行うには、 Add a Database Object を参照してください。

6. [OK] を選択します。

7. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



8. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェイスが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

9. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリ	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ボールド 斜体 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 左 中央 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

10. [バーコード] タブで、以下の設定を使用してバーコードの設定を変更します。

名前	説明
名前	選択したバーコードタイプの名前です。
モジュールの幅	バーコードのモジュールサイズを設定します。
最適化	バーコードサイズを最適化します。
エンコードモード	データのエンコードモードを選択します。
コードページ	[エンコードモード] が [コードページ] に設定されている場合は、エンコード方式を選択します。
クワイエットゾーン	バーコードの周囲のクワイエットゾーン / 余白のサイズを定義するために使用される測定単位を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ピクセル • ミリメートル • ミル • インチ • パーセント
バーの幅の縮小 (%)	バーコードバーの幅を縮小して、印字面に広がるインクを補正します。
左余白	バーコードの左側に空白を追加します。
右余白	バーコードの右側に空白を追加します。
上余白	バーコードの上に空白を追加します。
下余白	バーコードの下に空白を追加します。
マストフィット	バーコードを四角形領域に収める必要があるかどうかを選択します。
エスケープシーケンス	バーコードデータでエスケープシーケンスを有効にします (Enter、Tab など)。

11. また、タブは選択したバーコードタイプとデータソースタイプの特定の設定の変更に使用できます。

静的なグラフィックオブジェクトの追加

有効な画像ファイル形式:

- .jpg
- .bmp
- .png
- .gif

静的なグラフィックオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. 画像ファイルが含まれている USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

2. [オブジェクト] アイコンを選択します:



3. [グラフィック] を選択します。
4. [画像タイプ] を [静的] に設定します。

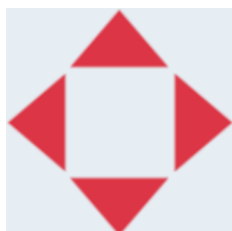
5. [画像を選択] アイコンを選択します:



6. D:/ ドライブを開きます:



7. USB メモリデバイスの画像ファイルを選択し、チェックアイコンを選択します。
8. [OK] を選択します。
9. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



10. オブジェクトのプロパティを調整するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

11. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。

設定名	説明
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none">スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。

12. 画像を変更するには、[グラフィック] タブを選択します。

動的なグラフィックオブジェクトの追加

動的グラフィックオブジェクトを使用すると、ラベルの事前に定義された部分 (動的グラフィックオブジェクト) に別の画像を入力することができます。

画像ファイルは、プリンタに接続されている USB メモリデバイスに保存されています。

有効な画像ファイル形式:

- .jpg
- .bmp
- .png
- .gif

2種類の動的グラフィックオブジェクトを作成できます。

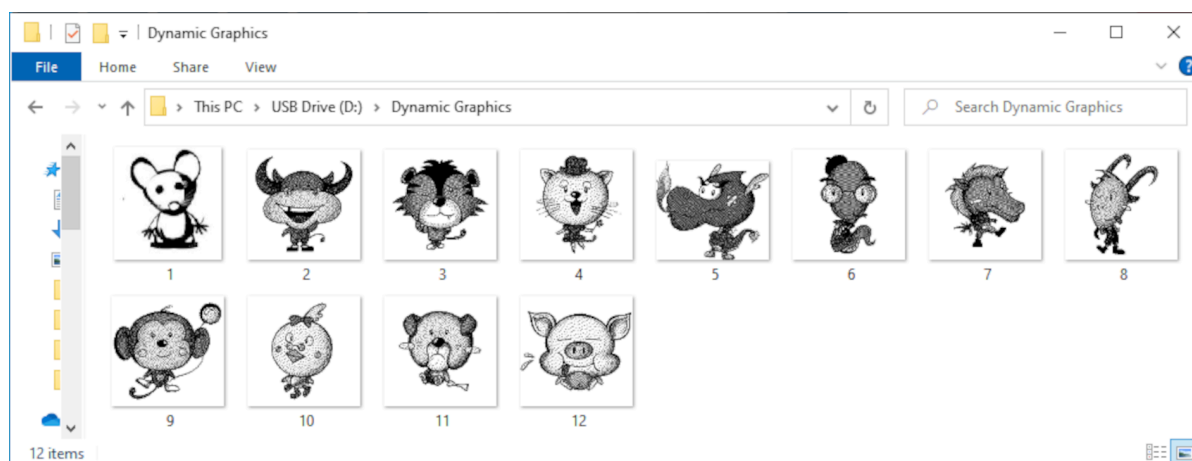
- データベース - プリンタに接続されている USB メモリデバイスに保存されているデータベースファイルを使用して、画像を選択します。
- VDC (可変データベース接続) - TCP/IP、COM (RS485)、または INPUT 経由で外部デバイスから送信されるデータを使用して、画像を選択します。

データベース動的グラフィックオブジェクト

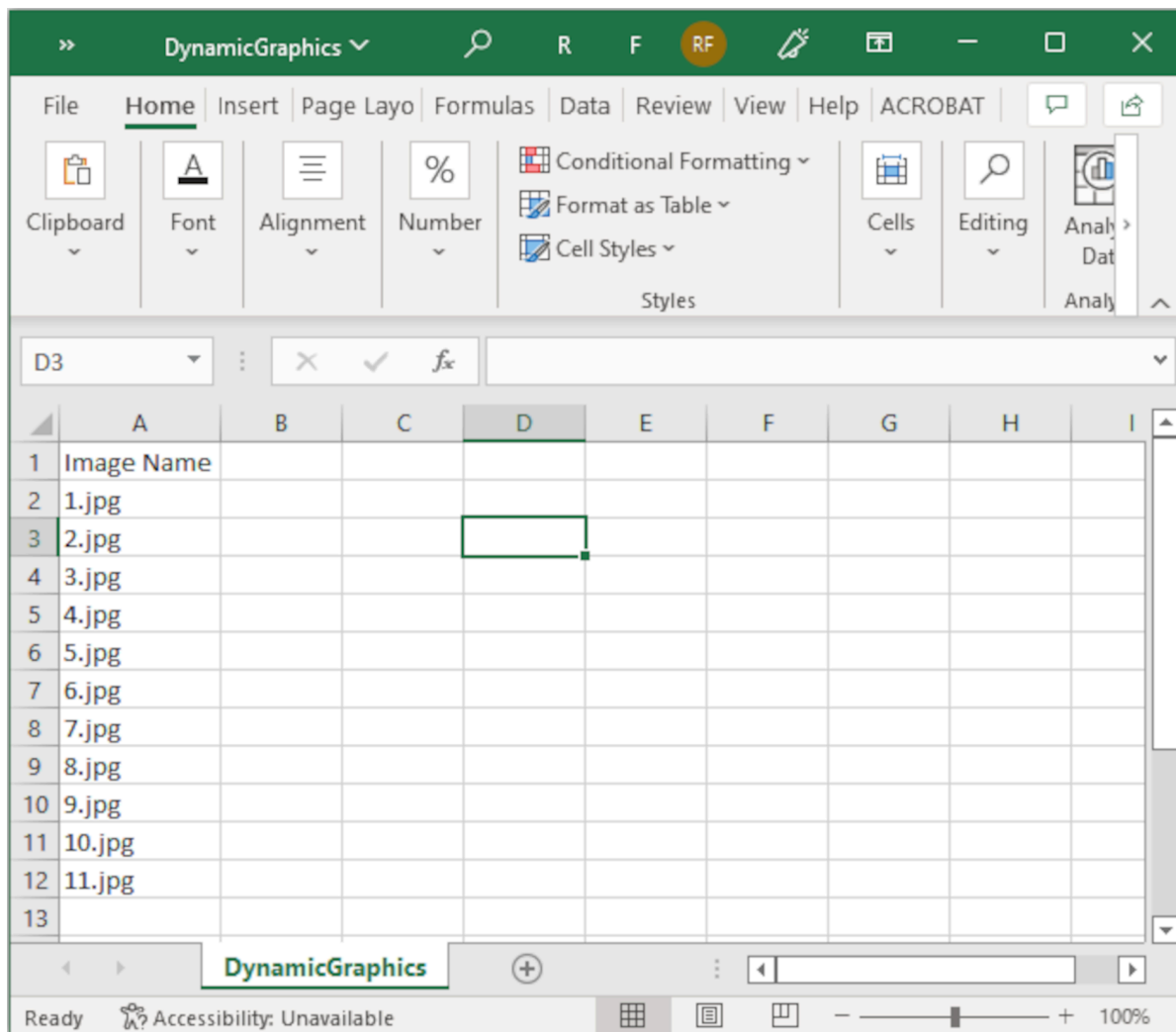
このトピックでは、画像を選択する場合に、USB メモリデバイスに保存されているデータベースファイルを使用する動的グラフィックオブジェクトを設定する方法について説明します。


動的なグラフィックオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. 画像ファイルを USB メモリデバイスのフォルダに保存します。



2. 画像のファイル名を印字される順番に配置した .CSV または .TXT ファイルを作成します。



3. .CSV または .TXT ファイルを、画像ファイルが含まれる同じ USB メモリデバイスに保存します。
4. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。
5. [オブジェクト] アイコンを選択します: 
6. [グラフィック] を選択します。
7. [画像タイプ] を [動的] に設定します。
8. [データベースをロード] を選択します。
9. 以下に示す設定を行います。

設定名	説明
ファイルタイプ	データベースのファイルタイプを選択します (TXT または CSV)。
エンコード	データベースファイルのエンコードの種類を選択します。
分割文字	データベースファイル内の項目を分割するために使用される文字を選択します。

設定名	説明
先頭行のヘッダー	データの最初の行を、ユーザーインターフェースでデータを識別するための見出しとして使用するかどうかを選択します。この設定が有効な場合、データの最初の行は画像ファイルの選択に使用されません。

10. [ファイルを選択] アイコンを選択します:



11. D:/ ドライブを開きます:



12. USB メモリデバイスのデータベースファイル (.CSV または .TXT) を選択し、チェックアイコンを選択します。

13. [次へ] を選択します。

Load database

File type

CSV
▼

Encoding

65001 - Unicode (UTF-8)
▼

Split char

Comma (,)
▼

First row header

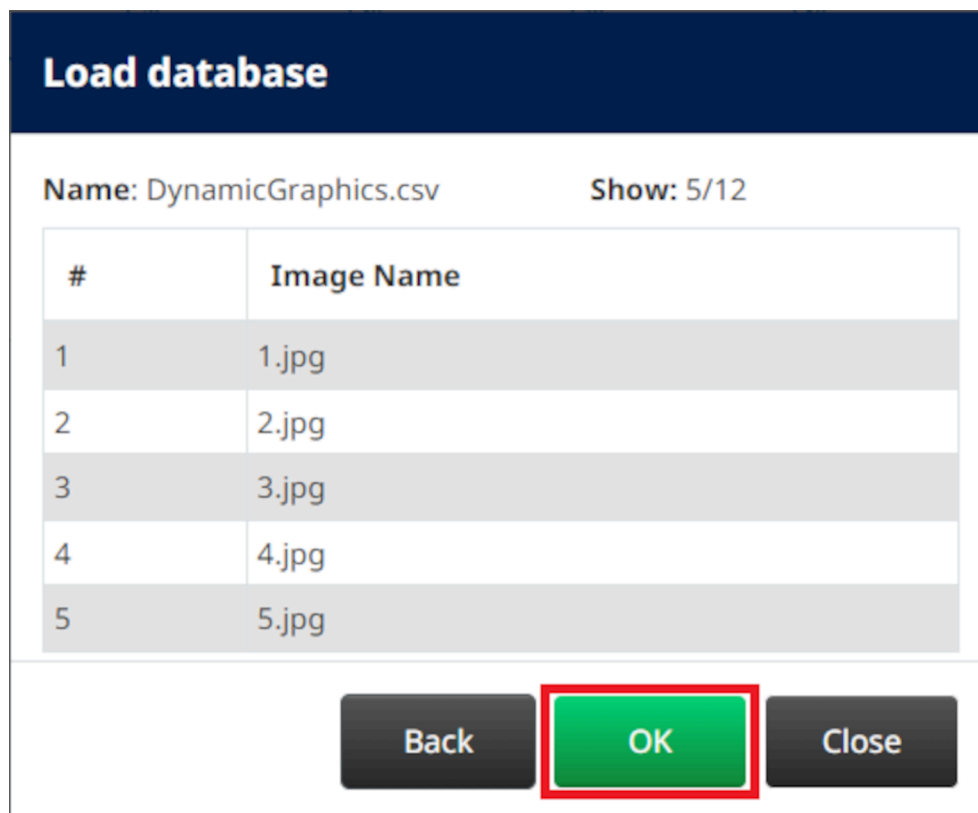
Select file:

DynamicGraphics.csv
...

Next

Close

14. データベース内の項目のリストが表示されます。[OK] を選択して続行します。



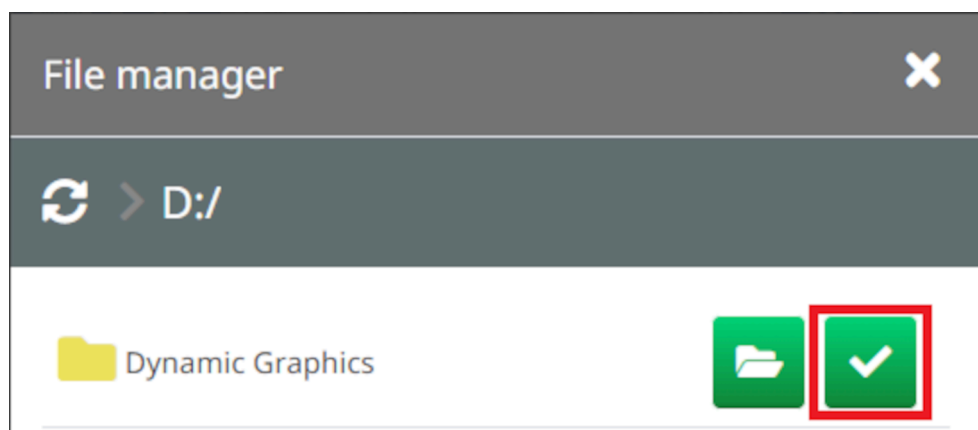
15. [フォルダを選択] アイコンを選択します:



16. D:/ ドライブを開きます:

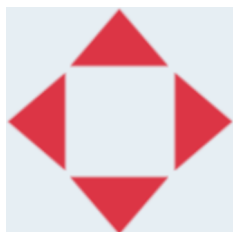


17. 画像ファイルが含まれているフォルダを検索し、緑色のチェックアイコンを選択します。



18. [OK] を選択します。

19. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



20. オブジェクトのプロパティを調整するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェイスが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

21. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。

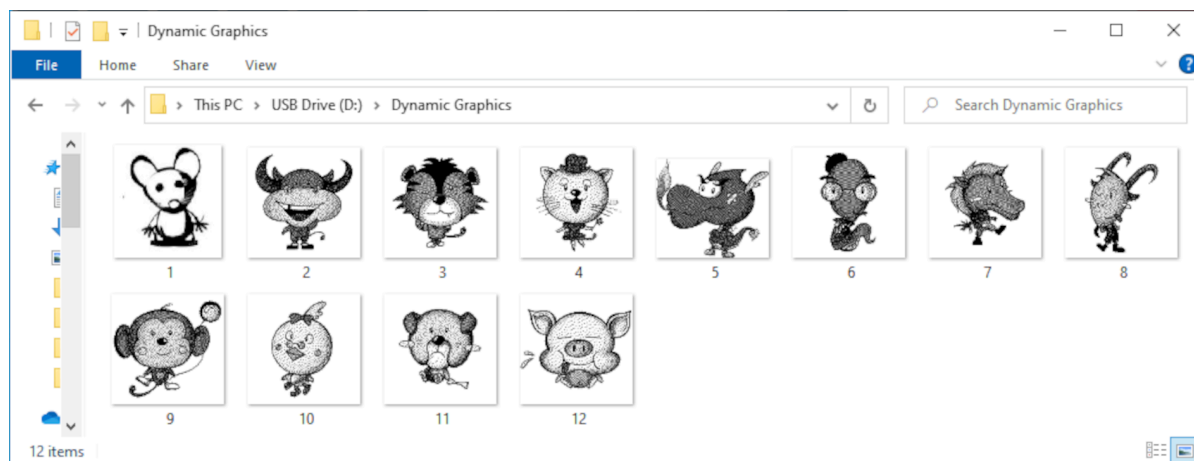
22. 画像データベースを変更するには、[グラフィック] タブを選択します。

VDC 動的グラフィックオブジェクト

このトピックでは、画像ファイルを選択する場合に、別のデバイスへの可変データベース接続を使用して動的グラフィックオブジェクトを設定する方法について説明します。

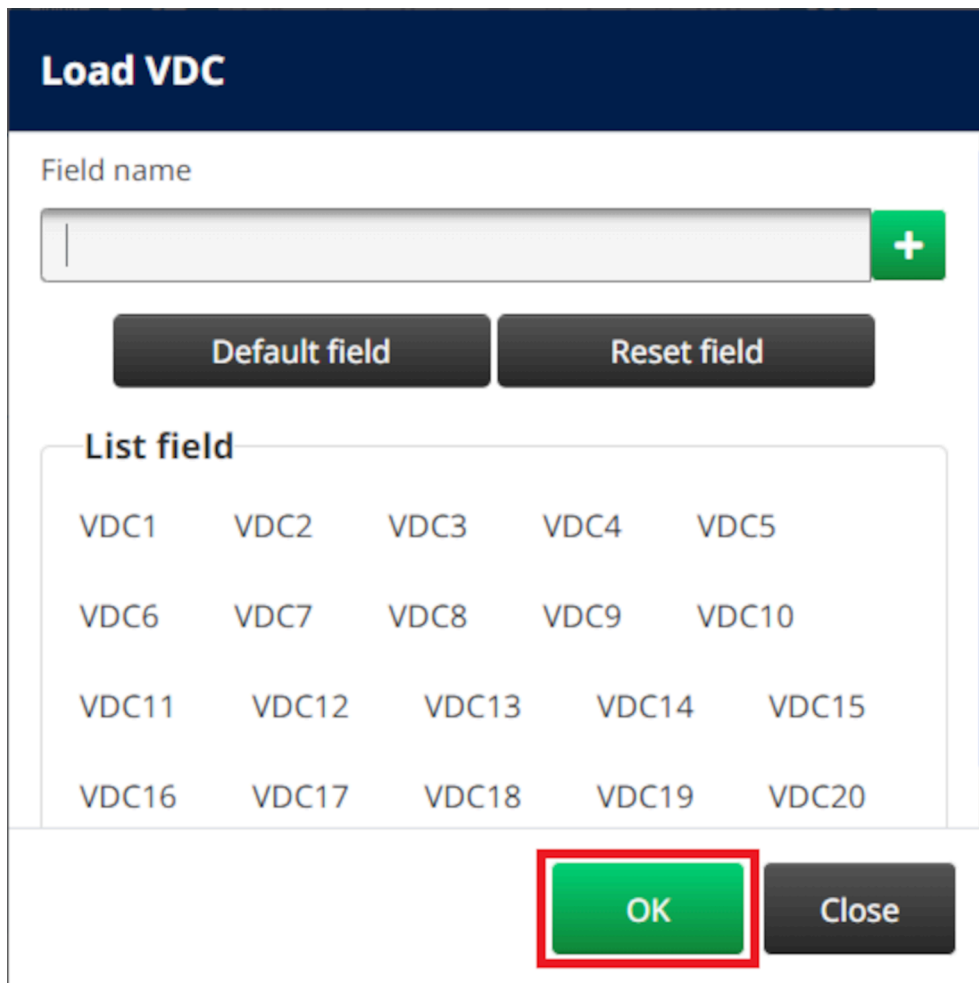
動的なグラフィックオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. プリンタにデータを送信するデバイスへの接続を設定するには、[VDC 設定 ページ 85](#) を参照してください。
2. 画像ファイルを USB メモリデバイスのフォルダに保存し、プリンタに接続します。



3. ラベルテンプレートデザイナーで、[オブジェクト] を選択します: 
4. [グラフィック] > [可変] > [VDC をロード] の順に選択します。

- [OK] を選択します。



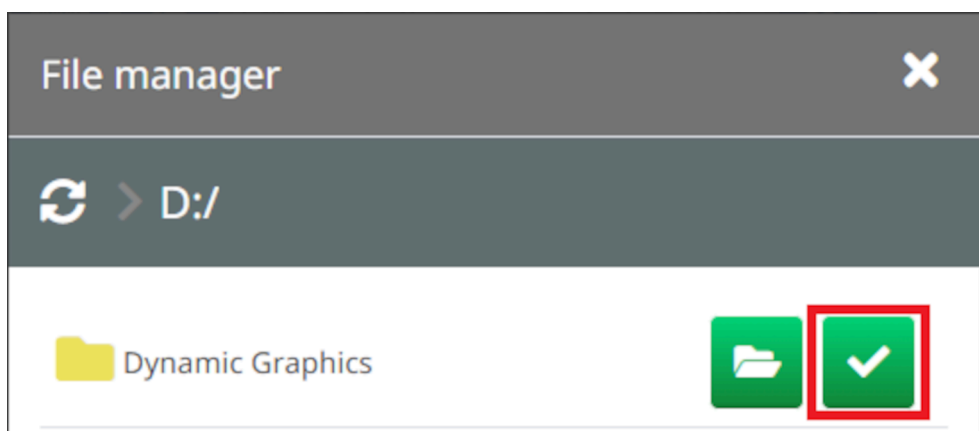
- [フォルダを選択] アイコンを選択します:



- D:/ ドライブを開きます:

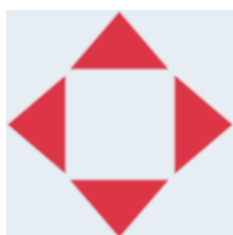


- 画像ファイルが含まれているフォルダを検索し、緑色のチェックアイコンを選択します。



- [OK] を選択します。

10. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



11. オブジェクトのプロパティを調整するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

12. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。

13. VDC 設定を変更するには、[グラフィック] タブを選択します。

14. オブジェクトにデータを入力するには、[VDC 動的グラフィックオブジェクトへのデータの入力 ページ 137](#) を参照してください。

VDC 動的グラフィックオブジェクトへのデータの入力

注記 VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

VDC 動的グラフィックオブジェクトにデータを入力するには、以下の手順を実行します。

1. ラベルテンプレートを保存するには、[保存] アイコンを選択します:



2. ホーム画面で、[フォルダ] アイコンを選択します:



3. ロードするラベルテンプレートを選択します。

注記 テンプレートのプレビューが表示されます。

4. [開く] を選択します。

5. 印字を開始するには、[運転開始] アイコンを選択します:



6. 外部デバイスからデータ (画像のファイル名) をプリンタに送信します。
7. 選択した画像の一覧がホーム画面の一番下に表示されるようになります。

クロックオブジェクトの追加

注記 正しい日付 / 時間を印字するには、システムクロックを設定する必要があります。[共通 ページ 83](#) を参照してください。

クロックオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

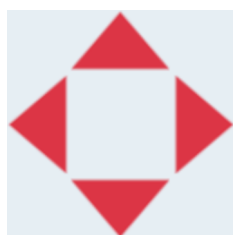


1. [オブジェクト] アイコンを選択します。
2. [クロック] を選択します。
3. 以下に示す設定を調整します。

名前	説明
形式	日付 / 時間形式を設定します。 クロックオブジェクトの形式 ページ 141 を参照してください。
有効期限日付	オブジェクト値に日数を追加します。 たとえば、日付が 1 月 1 日で、有効期限が 5 に設定されている場合、1 月 6 日の日付が印字されます。
ロールモード	この設定を使用すると、オブジェクトは一定期間、前日の日付を継続して印字したり、事前に翌日の日付を印字したりすることができます。 たとえば、これを [前の日] に設定し、[ロール時間] を 5 に設定したとします。1 月 2 日の午前 04:00 に、オブジェクトは 1 月 1 日の午前 04:00 を印字します。その後、午前 05:00 になると、オブジェクトは今日の日付に進み、1 月 2 日の午前 05:00 を印字します。 または、これを [次の日] に設定し、[ロール時間] を 5 に設定したとします。1 月 2 日の午後 18:00 に、オブジェクトは 1 月 2 日の午後 18:00 を印字します。その後、午後 19:00 に、オブジェクトは翌日の日付に進み、1 月 3 日午後 19:00 を印字します。 <ul style="list-style-type: none"> なし - 現在の日時を印字します。 前の日 - [ロール時間] 設定を使用して前日の日付を一定期間継続して印字します。 次の日 - [ロール時間] 設定を使用して事前に翌日の日付の印字を開始します。
ロール時間	注記 この設定を使用できるのは、[ロールモード] が [前の日]、または [次の日] に設定されている場合のみです。 オブジェクトの値に加算または減算する時間数を設定します。
範囲	地域の日付 / 時間を設定します。
大文字	月の名前の形式 (MMM および MMMM) に大文字または小文字のテキストを設定します。
内容	オブジェクトのプレビューを表示します。

1. [OK] を選択します。

2. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



3. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

4. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリ	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ボールド 斜体 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 左 中央 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

5. [クロック] タブで、以下の設定を使用してクロックオブジェクトの設定を変更します。

名前	説明
形式	日付 / 時間形式を設定します。 クロックオブジェクトの形式ページ 141 を参照してください。
有効期限日付	オブジェクト値に日数を追加します。 たとえば、日付が 1 月 1 日で、有効期限が 5 に設定されている場合、1 月 6 日の日付が印字されます。
ロールモード	この設定を使用すると、オブジェクトは一定期間、前日の日付を継続して印字したり、事前に翌日の日付を印字したりすることができます。 たとえば、これを [前の日] に設定し、[ロール時間] を 5 に設定したとします。1 月 2 日の午前 04:00 に、オブジェクトは 1 月 1 日の午前 04:00 を印字します。その後、午前 05:00 になると、オブジェクトは今日の日付に進み、1 月 2 日の午前 05:00 を印字します。 または、これを [次の日] に設定し、[ロール時間] を 5 に設定したとします。1 月 2 日の午後 18:00 に、オブジェクトは 1 月 2 日の午後 18:00 を印字します。その後、午後 19:00 に、オブジェクトは翌日の日付に進み、1 月 3 日午後 19:00 を印字します。 <ul style="list-style-type: none"> なし - 現在の日時を印字します。 前の日 - [ロール時間] 設定を使用して前日の日付を一定期間継続して印字します。 次の日 - [ロール時間] 設定を使用して事前に翌日の日付の印字を開始します。
ロール時間	注記 この設定を使用できるのは、[ロールモード] が [前の日]、または [次の日] に設定されている場合のみです。 オブジェクトの値に加算または減算する時間数を設定します。
範囲	地域の日付 / 時間を設定します。
大文字	月の名前の形式 (MMM および MMMM) に大文字または小文字のテキストを設定します。
内容	オブジェクトのプレビューを表示します。

クロックオブジェクトの形式

以下の表は、日時オブジェクトの有効な日付の形式を示しています。

日付形式の文字	説明
W	年の週番号を表示します。週の始まりは月曜日です (1 ~ 53)。
'N'	週の日付番号を 1 桁の数字 (1 ~ 7) で表示します。
'NN'	週の日付番号を 2 桁の数字 (01 ~ 07) で表示します。
'NO'	週の曜日を 1 文字のアルファベット (A ~ G) で表示します。
'ND'	曜日名の短縮形を 3 文字で表示します。 例: MON、TUE、WED など。
'JJJ'	年の日付番号を 3 桁の数字 (001 ~ 365) で表示します。 例: 1 月 1 日 = 001、2 月 1 日 = 032 など。
'y'	年を 1 桁で表示します。 例: 2025 = 5、2030 = 0 など
'M'	月の名前を 1 桁の英数字で表示します。 例: <ul style="list-style-type: none"> • 1 月 = 1 • 2 月 = 2 • 3 月 = 3 • 4 月 = 4 • 5 月 = 5 • 6 月 = 6 • 7 月 = 7 • 8 月 = 8 • 9 月 = 9 • 10 月 = 0 • 11 月 = N • 12 月 = D
dddd	曜日名です。 例: 月曜日、火曜日、水曜日など。
D	0 で始まらない日付 (1 ~ 31)。
DD	0 で始まる日付番号 (01 ~ 31)。
MM	0 で始まる年の月番号 (01 ~ 12)。
MMM	月の名前の短縮形です。 例: Jan、Feb、Mar など。
MMMM	月の名前です。 例: 1 月、2 月、3 月など。
YY	年を 2 桁の数字 (00 ~ 99) で表示します。

操作

日付形式の文字	説明
YYYY	年を 4 桁の数字で表示します。
h	0 で始まらない時間、12 時間表示 (1 ~ 12)。
hh	0 で始まる時間、12 時間表示 (01 ~ 12)。
H	0 で始まらない時間、24 時間表示 (0 ~ 23)。
HH	0 で始まる時間、24 時間表示 (00 ~ 23)。
mm	分 (00-59) を表示します。
ss	秒 (00-59) を表示します。
A	AM または PM を表示します。
,./-:<SPACE>	日付の区切りです。

シフトコードオブジェクトの追加

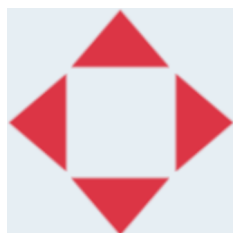
シフトコードオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには次の手順に従います。

1. [オブジェクト] アイコンを選択し、次のように操作します。
2. [シフトコード] を選択します。
3. 以下に示す設定を調整します。



名前	説明
コード	各シフトの名前を入力します (0 ~ 5 文字)。シフト名が印字されます。
時間 (24 時間)	各稼働時間帯の開始時間を入力します。時間は印字されません。
内容	オブジェクトのプレビューを表示します。

4. [OK] を選択します。
5. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



6. オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

7. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 • 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。

設定名	説明
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリー	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ボールド • 斜体 • 下線
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左 • 中央 • 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

8. [シフトコード] タブで、以下の設定を使用してシフトコードの設定を変更します。

名前	説明
コード	各シフトの名前を入力します (0 ~ 5 文字)。シフト名が印字されます。
時間 (24 時間)	各稼働時間帯の開始時間を入力します。時間は印字されません。
内容	オブジェクトのプレビューを表示します。

ラインオブジェクトの追加

シフトコードオブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

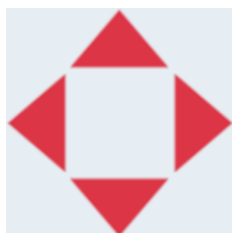
1. [オブジェクト] アイコンを選択します:



2. [線] を選択します。

3. [OK] を選択します。

4. テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



5. オブジェクトのプロパティを調整するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。


6. [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。

Boxlot オブジェクトの追加

デュアルカウンタである boxlot オブジェクトは、ボックスとボックス内の製品をカウントするために使用されます。

boxlot オブジェクトをラベルテンプレートに追加するには、以下の手順を実行します。

1. [オブジェクト] アイコンを選択します: 
2. [Boxlot] を選択します。
3. 以下に示す設定を変更します。

名前	説明
メインカウンタ	最初に印字するカウンタをメインカウンタとして選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • カウンタ 1 • カウンタ 2
区切る	2つのカウンタ間を区切るために、印字される文字を入力します。

4. [カウンタ 1] を選択します。
5. [カウンタ 1] の以下に示す設定を変更します。

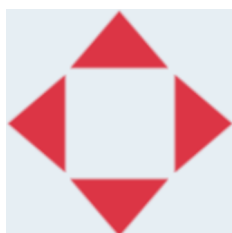
名前	説明
開始値	連番オブジェクトの開始値を設定します。
終了値	連番オブジェクトの終了値を設定します。
ステップ値	連番オブジェクトの増分値 / ステップ値を設定します。
繰り返し回数	各連番値が繰り返される回数を設定します。
パディング文字	埋め込み文字の数 (範囲: 1 ~ 10) を設定します。
ステップ	カウント方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 上へ • 下へ

6. [カウンタ 2] を選択します。
7. [カウンタ 2] の以下に示す設定を変更します。

名前	説明
開始値	連番オブジェクトの開始値を設定します。
終了値	連番オブジェクトの終了値を設定します。
ステップ値	連番オブジェクトの増分値 / ステップ値を設定します。
繰り返し回数	各連番値が繰り返される回数を設定します。
パディング文字	埋め込み文字の数 (範囲: 1 ~ 10) を設定します。

名前	説明
ステップ	カウント方向を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 上へ 下へ

- [OK] を選択します。
- テンプレート内の適切な場所にオブジェクトをドラッグするか、矢印アイコンを使用してオブジェクトの位置を変更します。



- オブジェクトの外観を変更するには、[プロパティ] アイコンを選択します:



注記 Web ブラウザインターフェースが使用されている場合は、プロパティアイコンは使用されません。

- [全般] タブで、以下の設定を使用してオブジェクトの一般的な外観を変更します。

設定名	説明
X (mm)	テンプレート内のオブジェクトの水平位置を設定します。
Y (mm)	テンプレート内のオブジェクトの垂直位置を設定します。
幅 (mm)	オブジェクトの幅を設定します。
高さ (mm)	オブジェクトの高さを設定します。
スケールモード	オブジェクトのスケールモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> スケール - オブジェクトの幅と高さは個別に設定されます。 自動サイズ - オブジェクトの幅と高さはフォントサイズによって制御されます。
角度	オブジェクトを回転します。
ロック	オブジェクトをロックして、編集できないようにします。
表示	オブジェクトを印字可能または印字不可にします。
フォントファミリ	フォントの種類を設定します。
サイズ (pt)	フォントサイズを設定します。
スタイル	以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ボールド 斜体 下線

設定名	説明
テキストの配置	オブジェクトに複数の行がある場合は、配置を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 左• 中央• 右
空白行を削除	オブジェクトから空白行を削除します。
先頭スペースを削除	オブジェクトから先頭スペースを削除します。

12. [boxlot] タブで、設定を使用して boxlot オブジェクトの設定を変更します。


ラベルテンプレートの保存

ラベルテンプレートを保存するには、[保存] アイコンを選択します:



ラベルテンプレートを別の名前で保存する

ラベルテンプレートを別の名前で保存するには、以下の手順を実行します。

1. [名前を付けて保存] アイコンを選択します: 
2. ラベルテンプレートの別の名前を入力します。
3. [保存] を選択します。

オブジェクトプロパティの編集

オブジェクトのプロパティを編集するには、以下の手順を実行します。

1. ラベルテンプレートデザイナーでラベルテンプレートを開きます。
2. オブジェクトを選択します。

3. [プロパティ] アイコンを選択します:



4. オブジェクトタイプに応じて、異なるプロパティ設定用のさまざまなタブが用意されています。

ラベルテンプレートの削除

注記 ラベルテンプレートは削除できません (印字用にロードされている場合)。

ラベルテンプレートを削除するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[フォルダ] アイコンを選択します:



2. テンプレートを選択します。

注記 テンプレートのプレビューが表示されます。

3. [削除] アイコンを選択します:



ラベルテンプレートのインポート

USB メモリデバイスからラベルテンプレートをインポートするには、以下の手順を実行します。

1. ラベルテンプレートファイルを USB メモリデバイスに保存します。
2. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

3. ホーム画面で、[デザイン] アイコンを選択します:



4. [詳細] アイコンを選択します:



5. [テンプレートをインポート] を選択します。

6. [ファイルを選択] アイコンを選択します:



7. D:/ ドライブを開きます:



8. ラベルテンプレートを選択します。
9. [次へ] を選択します。
10. [OK] を選択します。

ラベルテンプレートのエクスポート

ラベルテンプレートを USB メモリデバイスにエクスポートするには、以下の手順を実行します。

1. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

2. ホーム画面で、[デザイン] アイコンを選択します:



3. [詳細] アイコンを選択します:



4. [テンプレートをエクスポート] を選択します。

5. エクスポートするラベルテンプレートを選択します。

6. [次へ] を選択します。

7. [ファイルを選択] アイコンを選択します:



8. D:/ ドライブを選択するか、D:/ ドライブのフォルダを開きます:



9. [OK] を選択します。


ログ

G50i は、すべてのユーザーの操作のログを記録します。6 か月以上経過したログは自動的に削除されます。






ログ情報には以下が含まれます。

- アクションが記録された日付 / 時間
- ログインしたユーザー
- アクションのタイプ / カテゴリ
- アクションの説明

ログを表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[ログ] アイコンを選択します: 
2. 右上隅にある日付を調整し、表示する日付範囲を設定します。
3. 以下のアイコンを使用し、操作の種類別にログをフィルタします。


注記 複数のフィルタを同時に適用できます。

	「エラー」アクションをフィルタします。
	「警告」イベントをフィルタします。
	「情報」イベントをフィルタします。
	「印字停止」イベントをフィルタします。
	「印字開始」イベントをフィルタします。

ログのエキスポート

ログは、プリンタから USB メモリデバイスにエキスポートできます。エキスポートは、.txt ファイルを含む .zip ファイルです。

ログをエキスポートするには、以下の手順を実行します。


1. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。
2. ホーム画面で、[ログ] アイコンを選択します: 
3. 右上隅にある日付を調整し、エキスポートする日付範囲を選択します。
4. [エキスポート] を選択します。
5. 必要に応じて、エキスポートのファイル名を変更します。デフォルトのファイル名は、「log_00000000_99999999.zip」です。
 - 「00000000」は、エキスポート範囲で選択された最初の日付
 - 「99999999」は、エキスポート範囲で選択された最後の日付
1. USB メモリデバイスでエキスポートの保存先フォルダを選択します。
2. [OK] を選択します。

統計情報カウンタ

プリンタには、処理された印字回数を記録する統計情報カウンタが2つあります。


ユーザーは、いつでも1つのカウンタをリセットできます。もう一方のカウンタをリセットすることはできません。

統計情報カウンタを表示するには、以下の手順を実行します

1. ホーム画面で、[ログ] アイコンを選択します: 
2. [統計情報] タブを選択します。
3. 画面の[パラメータ] セクションで、2つのカウンタを表示します。
4. カウンタの名前を変更するには、カウンタ名を選択して新しい名前を入力します。
5. カウンタの1つをリセットするには、[リセット] を選択します。

また、カウンタ値の履歴を表示することもできます。

連番値の履歴を表示するには、以下の手順を実行します。

1. ホーム画面で、[ログ] アイコンを選択します: 
2. [統計情報] タブを選択します。
3. [フィルタ] オプションを使用して日付範囲を選択します。
4. 画面の[生産印字枚数合計] セクションで、カウンタ値の履歴を表示します。

章 5 保守とトラブルシューティング

エラーの説明

エラー	説明
印字停止 (通常イベント)	ユーザーインターフェースで、「停止」が選択されています。印字処理は停止されます。ライトは点灯しません。
無効なカートリッジ	インクカートリッジが、有効な / 純正のインクカートリッジではありません。
カートリッジなし	インクカートリッジが取り付けられていません。
インクレベル低い	カートリッジのインクレベルが 5 ml を下回っています。
インク残量なし	カートリッジのインクレベルが 0.4 ml を下回っています。
制限速度	エンコーダによる測定速度が速すぎます。プリンタはこの速度では印字できません。詳しくは [印字速度表] をご覧ください。
VDC / リアルタイム印字速度のオーバーロード	リアルタイムでの印字が有効になっている場合は、製品検出センサがトリガされると、ラベルテンプレートはただちにエンコードされ、コントローラからプリントヘッドに送信されます。ラベルデータをエンコードしてプリントヘッドに送信するまでの合計時間が、製品 / 印字面が製品検出センサからプリントヘッドに移動するまでの時間より長い場合、ラベルが印字されない可能性があります。このイベントが発生する場合、印字は停止し、このエラーが表示されます。 このエラーを解決するには、製造ラインの速度を遅くするか、製品検出センサとプリントヘッドとの距離を大きくします。

印字品質に関するエラー

問題	例	措置
印字面が印字対象物から遠すぎる		印字品質が妥当なレベルになるまでプリントヘッドを近づけてください
印字面が印字対象物と接触している		印字品質が妥当なレベルになるまでプリントヘッドを離してください
印字面が傾斜している		印字ノズルの各列が印字対象物の先端と平行になっていることを確認してください
印字ノズルが印字対象物の動きに対して平行に配置されている		印字ノズルを印字対象物の動きに対して垂直に配置してください
印字面のノズルが詰まっている		印字面を拭くか、マイクロパーズを実行してください。ノズルの詰まりが解消されない場合は、インクカートリッジを交換してください
テキストの上部分または下部分の印字がぼやける		印字ノズルは製品の動きに対して垂直になっています。ただし、印字面が印字対象物に対して平行になっていません
エンコーダがスリップするか、プリンタで設定されている内部速度が実際のライン速度と一致していません		エンコーダの取り付けを確認するか、プリンタの速度設定を確認してください
印字が薄すぎる		水平方向または垂直方向のDPIを増やしてください
印字対象物の印字が暗すぎる / 濃すぎるか、インクの消費量が多すぎる		水平方向または垂直方向のDPIを減らしてください

ソフトウェア / ファームウェアの更新

プリンタのソフトウェア / ファームウェアを更新するには、以下の手順を実行します。

1. 更新ファイルを USB メモリデバイスの最上位 (ルートフォルダ) に配置します。
2. 印字を停止します。
3. USB メモリデバイスをプリンタに接続します。

4. ホーム画面で、[更新] アイコンを選択します:



5. [ファイルを選択] アイコンを選択します:



6. D:/ ドライブを開きます:



7. 更新ファイルを選択し、「ステップ 1」を完了します。

注記 1. 更新ファイルの拡張子は、.io です。

2. 更新ファイルが表示されない場合は、[更新] アイコンを選択します。



8. [次へ] を選択してファイルをプリンタにアップロードし、「ステップ 2」を完了します。

注記 USB メモリデバイスは、ファイルがプリンタにアップロードされるまで取り外さないでください。

9. [次へ] を選択し、更新ファイルを確認して「ステップ 3」を完了します。





10. ファイルが確認されたら、[次へ] を選択し、更新ファイルをインストールして「ステップ 4」を完了します。

注記 1. 更新ファイルのインストールが完了するまでは、プリンタの電源を切ったり、プリンタを電源から切断したり、画面を変更したりしないでください。

2. 更新ファイルのインストールが完了すると、プリンタは自動的に再起動します。

11. プリンタが再起動すると、プリンタは使用可能な状態になります。

インクカートリッジの交換

警告 有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。	
  	<p>プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。</p> <p>化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。安全データシートを参照してください。</p>
注意 損傷しやすい電気接続部。 機器損傷のおそれ。	
	<p>カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。</p> <p>カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。</p>

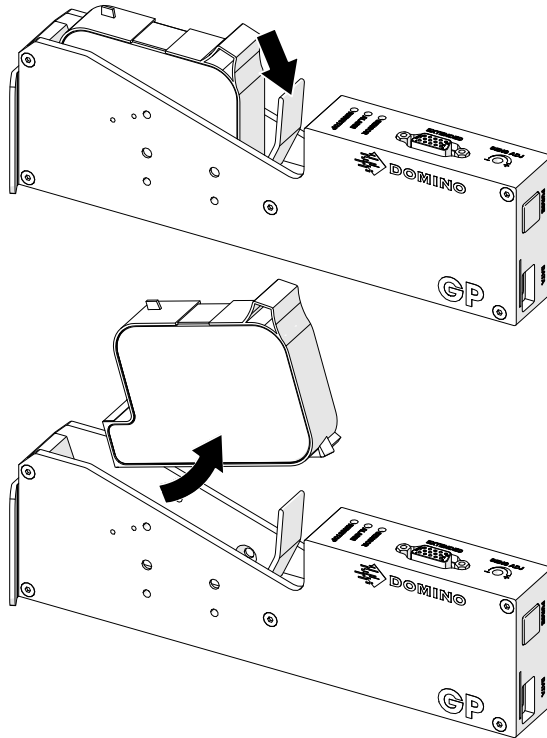
- 注記
1. インクカートリッジを速やかに交換して、印字不良の発生を防いでください。
 2. VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

必要なツールや機器には、クリーニング用エタノールワイプ、毛羽のないクロス / ティッシュ。インクカートリッジを交換するには、以下の手順を実行します。

1. 印字を停止するには、[運転停止] アイコンを選択し、次のように操作します。

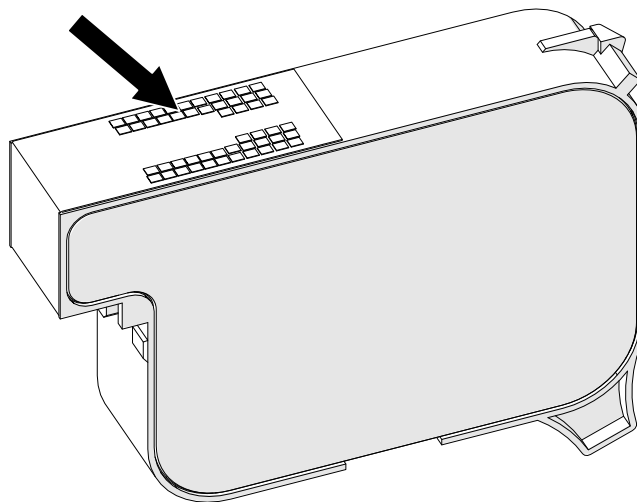


2. ラッチを開いて、インクカートリッジを取り外します。



3. 新しいインクカートリッジの保護カバーを外します。
4. カートリッジが新しい場合は、電気接続部をエタノールを含浸させた布巾で拭き、腐食防止コーティングを除去します。

注記 クリーニング用布巾の部品番号は EPT039697 です



5. 新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用し、45度の角度でインクカートリッジのノズルを拭きます。

注記 角度を 45 度にすると、特定ノズルの残骸などにより隣のノズルが汚れるのを防止できます。

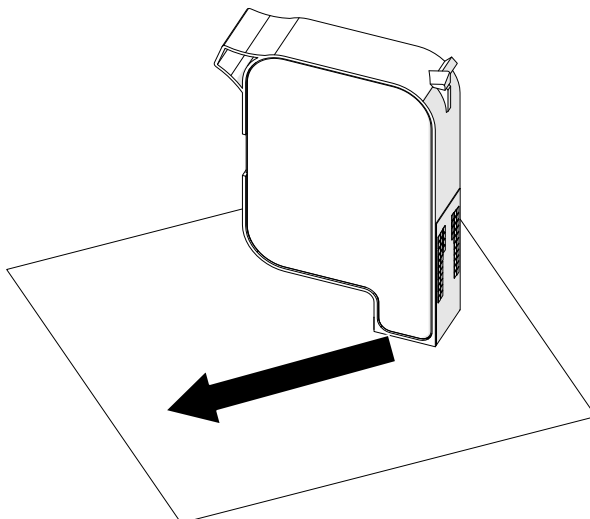
注意

繊細な機器。機器損傷のおそれ。



カートリッジのノズルを清掃する際に、エタノールまたはその他化学物質を含む布巾を使用しないでください。

新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用してください。化学物質を使ってカートリッジをクリーニングすると、ノズルが損傷するおそれがあります。



6. インクカートリッジをプリントヘッドに差し込み、プリントヘッドラッチを閉じます。

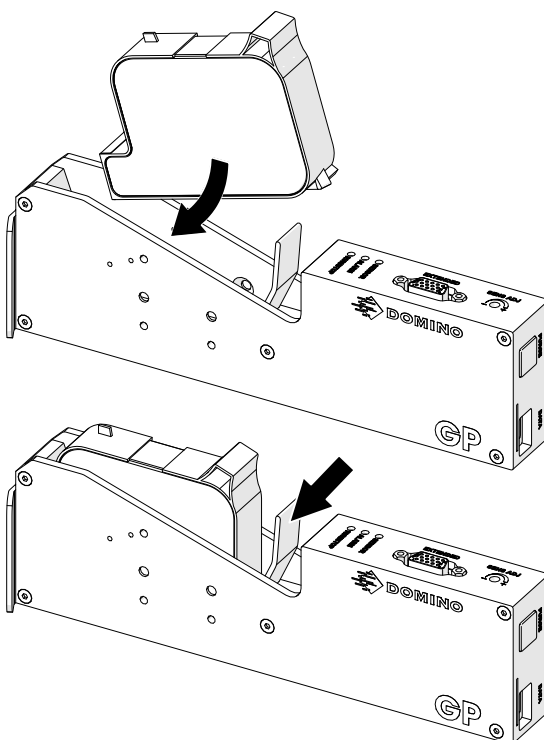
注意

損傷しやすい電気接続部。機器損傷のおそれ。



カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。

カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。



7. 使用済みのインクカートリッジを廃棄する場合は、地域の廃棄物処理に関する規制に従ってください。

カートリッジのノズル詰まりのパーズ

警告

有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。



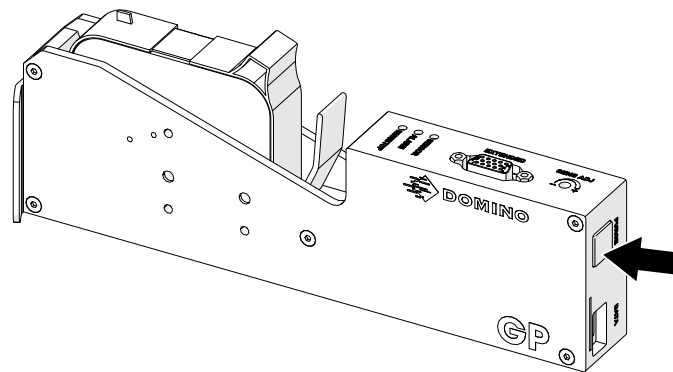
プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。

化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。
安全データシートを参照してください。




カートリッジのノズルが詰まった場合は、パーズを使用すると、カートリッジのノズルからごく少量のインクが排出されます。またこの実行中には、プリントヘッド付近の部品にインクが付着する場合があります。

パーズは、以下に示す異なる2つの方法で実行できます。

1. ホーム画面で、[パーズ] アイコンを選択し、次のように操作します。
2. あるいはプリントヘッドの [パーズ] ボタンを押し、次のように操作します。



カートリッジのノズルの洗浄

警告 有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。	
	<p>プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。</p> <p>化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。安全データシートを参照してください。</p>
警告 可燃性物質です。火災が発生する恐れがあります。	
	<p>製品を清掃する際には、可燃性物質を使用しないでください。</p> <p>可燃性物質を使用すると、火災の原因になる恐れがあります。毛羽のない乾いたクロスのみを使用してください。</p>
注意 損傷しやすい電気接続部。機器損傷のおそれ。	
	<p>カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。</p> <p>カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。</p>

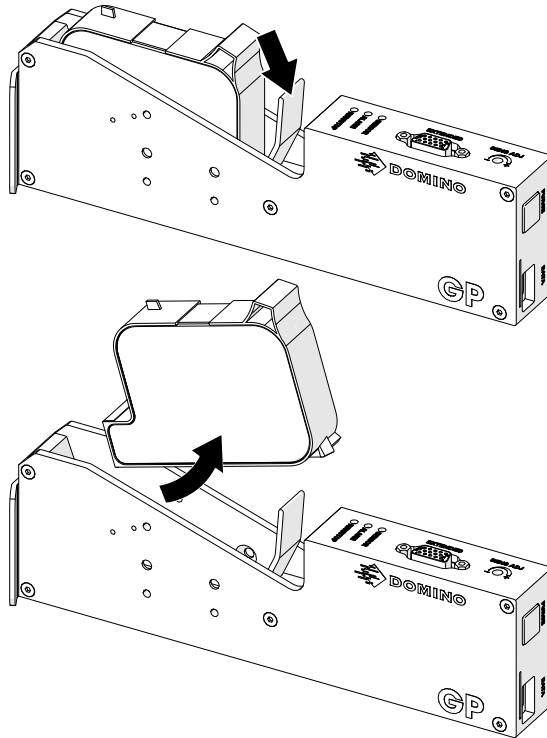
注記 VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

インクカートリッジのノズルを洗浄するには、以下の手順を実行します。

1. 印字を停止するには、[運転停止] アイコンを選択し、次のように操作します。




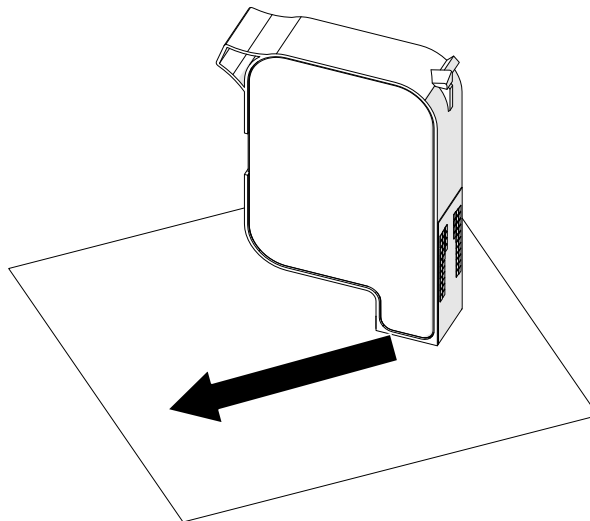
2. ラッチを開いて、インクカートリッジを取り外します。



3. 清潔で毛羽のない乾いた新しいクロスを使用して、45度の角度でインクカートリッジのノズルを清掃します。

注記 角度を45度にする、と、特定ノズルの残骸などにより隣のノズルが汚れるのを防止できます。

注意 繊細な機器。機器損傷のおそれ。	
	<p>カートリッジのノズルを清掃する際に、エタノールまたはその他化学物質を含む布巾を使用しないでください。</p> <p>新しい / 清潔で糸くずの出ない布巾を使用してください。化学物質を使ってカートリッジをクリーニングすると、ノズルが損傷するおそれがあります。</p>



4. インクカートリッジをプリントヘッドに差し込み、プリントヘッドラッチを閉じます。

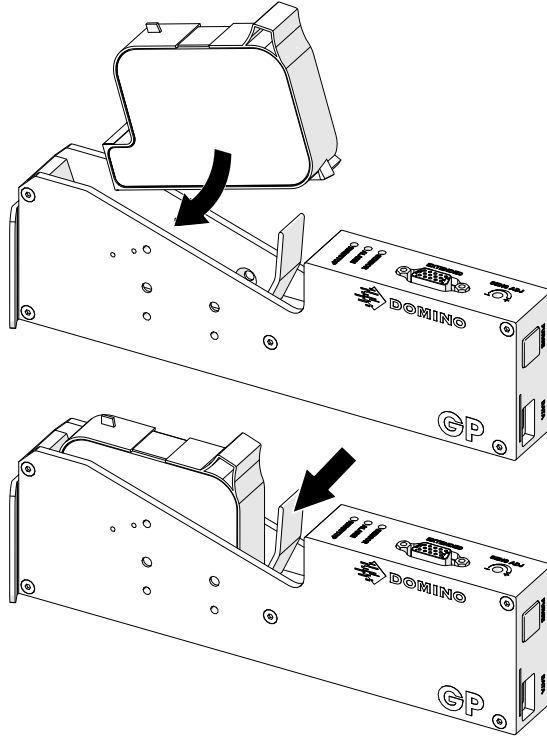
注意

損傷しやすい電気接続部。機器損傷のおそれ。







カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。

カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。



プリントヘッドのクリーニング

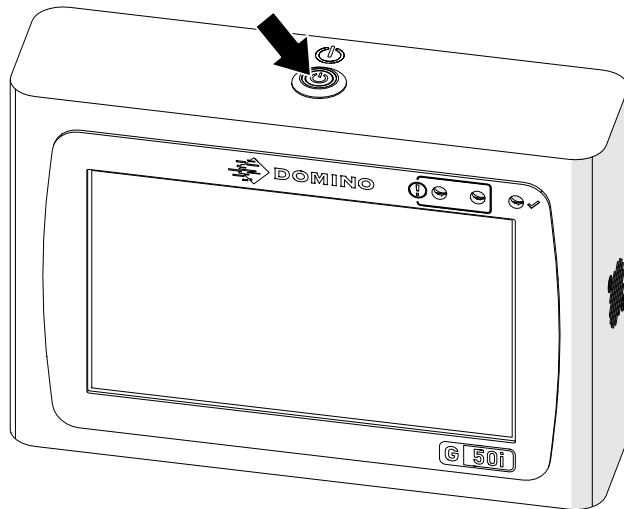
警告 有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。	
	<p>プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。</p> <p>化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。安全データシートを参照してください。</p>
警告 可燃性物質です。火災が発生する恐れがあります。	
	<p>製品を清掃する際には、可燃性物質を使用しないでください。</p> <p>可燃性物質を使用すると、火災の原因になる恐れがあります。乾いた毛羽のないクロス、または水を湿らせた毛羽のないクロスのみを使用してください。</p>
注意 電気。機器に損傷をもたらす恐れがあります。	
	<p>液体によって電気接続が短絡し、機器が損傷する可能性があります。液体が電気接続部に接触しないようにしてください。</p>
注意 低保護等級。機器損傷のおそれがあります。	
	<p>プリントヘッドは防水機能を備えていません。このため、プリントヘッドに液体を噴射すると、損傷するおそれがあります。プリントヘッドには液体を噴射しないでください。</p>

注記 VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

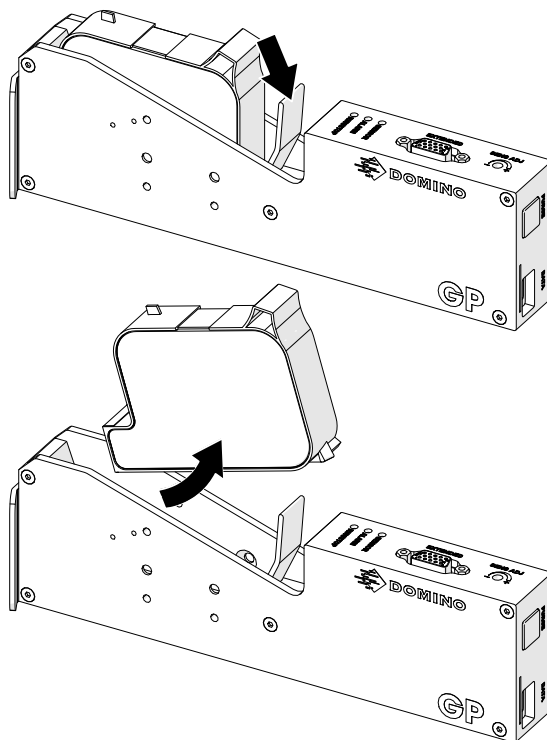
プリントヘッドをクリーニングするには次の手順に従います。

1. ホーム画面で、[スタンバイ] アイコン  を選択し、[シャットダウン] を選択します。あるいは、下図の [スタンバイ] ボタンを 2 秒間長押しします。

注記 [スタンバイ] アイコンを選択したり、[スタンバイ] ボタンを押したりしても、電源から切断されることはありません。



2. コントローラを電源から切断してください。
3. ラッチを開いて、インクカートリッジを取り外します。



4. 濡れた、糸くずのでない布巾を使用して、プリントヘッドを清掃します。
5. プリントヘッドと電気コネクタが乾いていることを確認してからインクカートリッジを再度挿入し、電源を再接続してプリンタの電源を入れます。

6. インクカートリッジをプリントヘッドに差し込み、プリントヘッドラッチを閉じます。

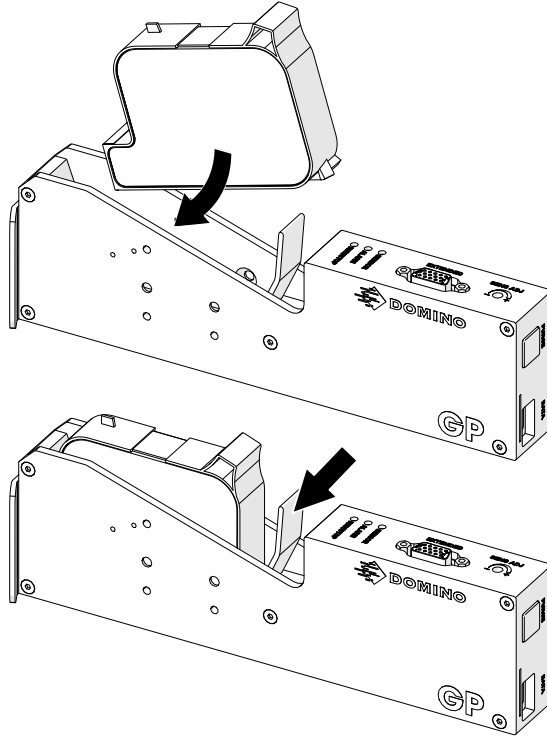
注意

損傷しやすい電気接続部。機器損傷のおそれ。



カートリッジを無理やりプリントヘッドに無理に押し込まないでください。

カートリッジを挿入するときは注意してください。カートリッジを電気接続部に無理やり押し込むと、プリントヘッドの回路基板上にある接続部が破損するおそれがあります。



コントローラの洗浄

警告 有害な化学物質です。目や皮膚を損傷する恐れがあります。



プリンターに近づいて作業する場合は、防護手袋や防護眼鏡などの保護具を着用してください。
化学物質に接触すると、皮膚や目を傷める恐れがあります。
安全データシートを参照してください。

警告 可燃性物質です。火災が発生する恐れがあります。



製品を清掃する際には、可燃性物質を使用しないでください。
可燃性物質を使用すると、火災の原因になる恐れがあります。乾いた毛羽のないクロス、または水を湿らせた毛羽のないクロスのみを使用してください。

注意 電気。機器に損傷をもたらす恐れがあります。



液体によって電気接続が短絡し、機器が損傷する可能性があります。液体が電気接続部に接触しないようにしてください。

注意 低い防水性能。機器に損傷をもたらす恐れがあります。



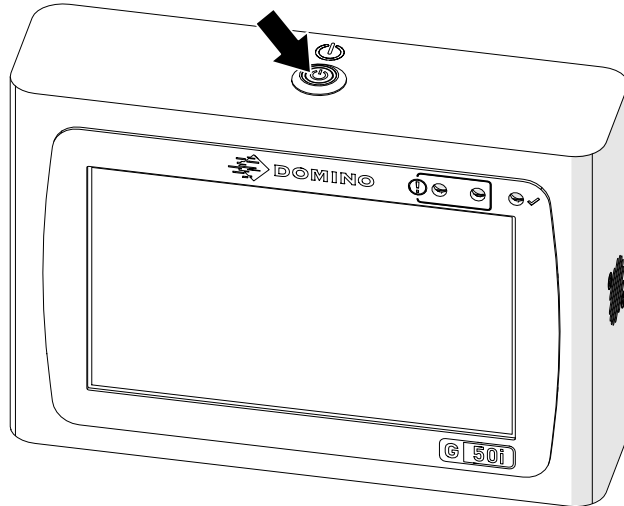
コントローラには防水性能がありません。コントローラに液体を噴射すると損傷する可能性があります。コントローラに液体を噴射しないでください。

注記 VDC の使用中に印字を停止すると、プリンタのデータバッファークューが空になります。データを再度プリンタに送信する必要があります。

コントローラをクリーニングするには次の手順に従います。

1. ホーム画面で、[スタンバイ] アイコン  を選択し、[シャットダウン] を選択します。あるいは、下図の [スタンバイ] ボタンを 2 秒間長押しします。

注記 [スタンバイ] アイコンを選択したり、[スタンバイ] ボタンを押したりしても、電源から切断されることはありません。



2. コントローラを電源から切断してください。
3. 水で湿らせた毛羽のない清潔なクロスを使用して、コントローラを清掃します。
4. コントローラを電源に接続してプリンタの電源を入れる前に、プリントヘッドとコントローラの電気コネクタが乾いていることを確認します。



Domino G-Series 製品マニュアル

弊社は、常に製品改良に努めるという方針に基づき、予告なく本書に記載されている仕様を変更する場合があります。

© Domino Printing Sciences plc 2023. All Rights Reserved.



別の言語で記載されたドキュメントなど、他のドキュメントを参照する場合は、QRコードをスキャンするか、<https://mydomino.domino-printing.com> にアクセスしてください

Domino UK Limited

Trafalgar Way
Bar Hill
Cambridge CB23 8TU
United Kingdom

Tel: +44 (0)1954 782551
Fax: +44 (0)1954 782874
Email: enquiries@domino-uk.com

ブラザーインダストリアル プリンティング株式会社

東京都大田区西蒲田 8-20-8
アゼル 3 号館

電話 : 03-3736-2731
FAX : 03-3736-2734